

千葉市基本計画

# 第 2 次 実 施 計 画 ( 案 )

令和 8 ~ 10 年 度 ( 2026 ~ 2028 年 度 )

令和 8 年 2 月



# 目次

## 総論

1	第2次実施計画について.....	2
1.	計画の位置づけ.....	2
2.	計画期間.....	3
2	計画の枠組み.....	4
1.	人口の見通し.....	4
2.	財政の状況と計画事業費.....	6
3	計画の基本的な考え方.....	7
1.	策定の視点.....	7
2.	計画事業の選定.....	8
3.	まちづくりの総合8分野における政策体系.....	9
4	計画の推進にあたって.....	12

## 各論

1	環境・自然.....	16
2	安全・安心.....	29
3	健康・福祉.....	45
4	子ども・教育.....	62
5	地域社会.....	80
6	文化芸術・スポーツ.....	86
7	都市・交通.....	94
8	地域経済.....	120

## 巻末資料

重要目標達成指標（KGI）・重要業績評価指標（KPI）について.....	136
用語解説.....	146

# 計画の総論

- 1 第2次実施計画について
- 2 計画の枠組み
- 3 計画の基本的な考え方
- 4 計画の推進にあたって

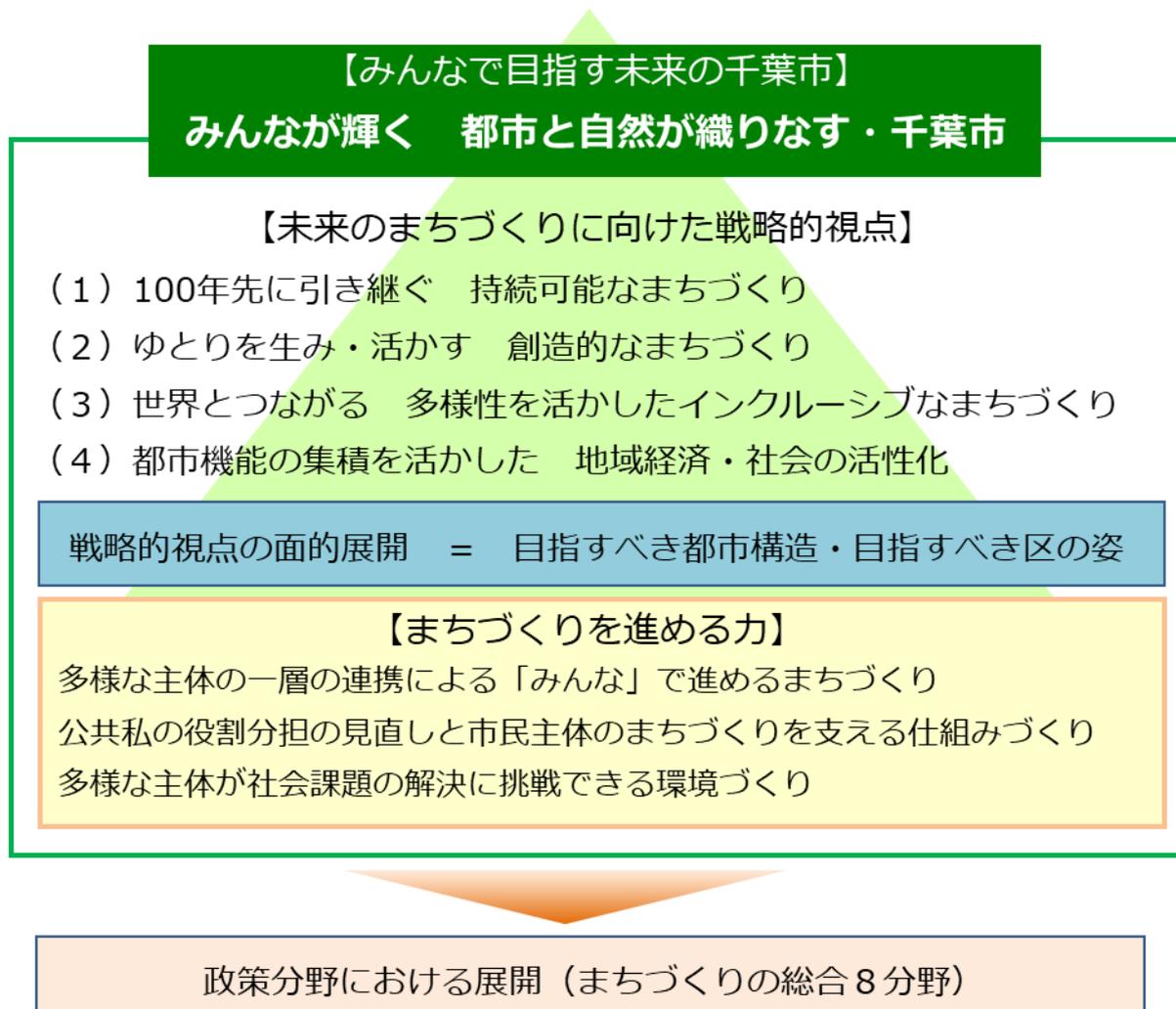
## 1. 計画の位置づけ

千葉市では、「千葉市基本構想」（平成11年〔1999年〕12月議決）で定める基本目標（人とまちいきいきと幸せに輝く都市）や望ましい都市の姿の実現を目指し、市政運営の中長期的な方針となる「千葉市基本計画（計画期間：令和5～14年度〔2023～2032年度〕）」を、市議会の議決を経て、令和4年（2022年）9月に策定しました。

このたびの第2次実施計画（計画期間：令和8～10年度〔2026～2028年度〕）は、基本計画のまちづくりを進める第2期の計画として、第1次実施計画の成果や課題とともに、計画期間中に開府900年の節目を迎えることを踏まえ、本市の特性を活かした更なる取組みを進め、基本計画に掲げる「みんなが輝く都市と自然が織りなす千葉市」の実現に向けた着実なステップとしての役割を担う計画です。

本計画は、基本計画と地方創生の取組みとの一体的な展開を図るため、千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を兼ねる計画として、総合的かつ戦略的なまちづくりを推進します。

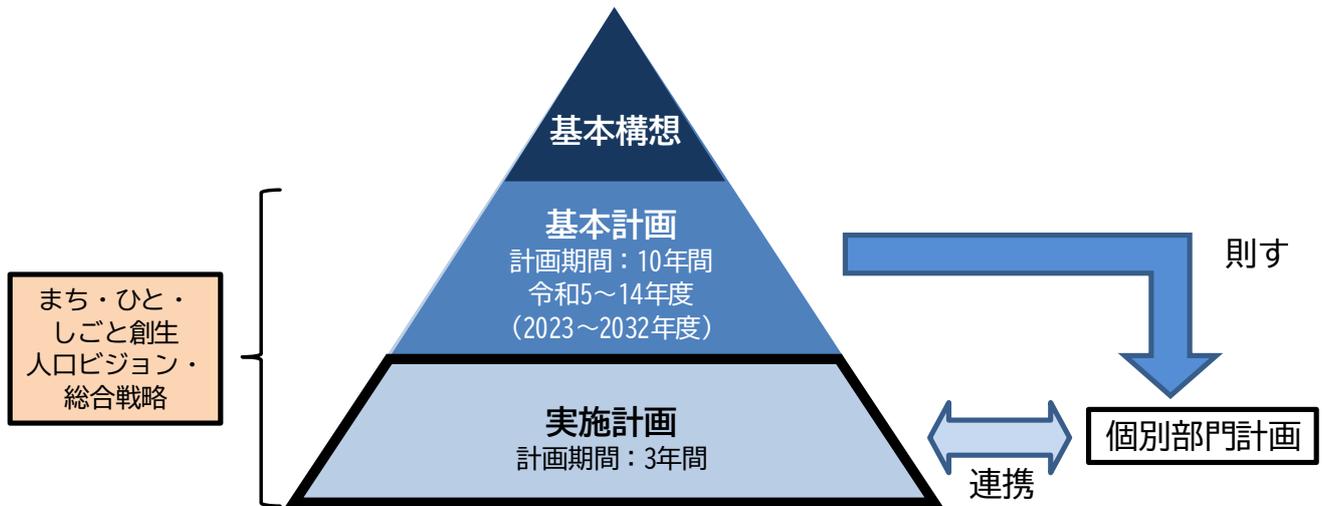
図表1 千葉市基本計画におけるまちづくりの基本方針



図表2 千葉市の計画行政

総合計画

まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための基本構想及びこれを具体化するための基本計画・実施計画



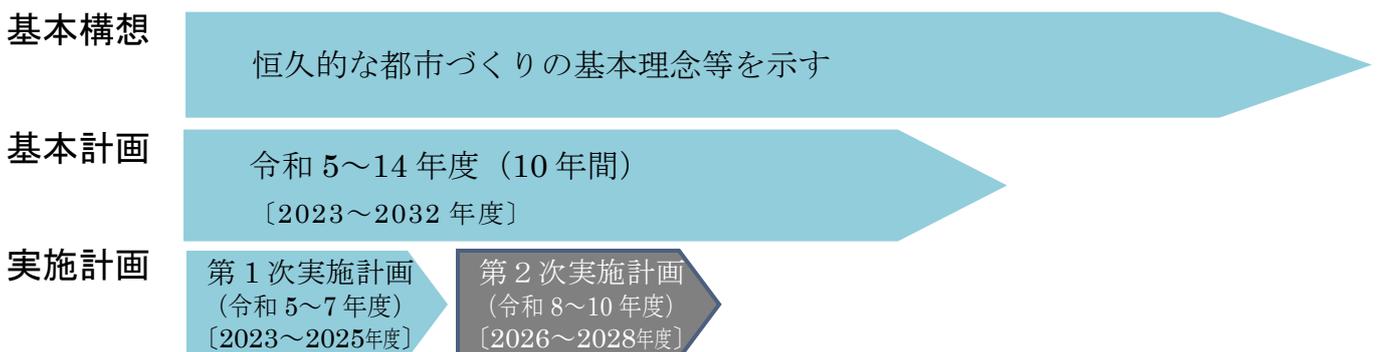
- 【基本構想】 市政運営の指針として、変化の激しい時代であっても変わることのない恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標及び望ましい都市の姿を示すものです。  
〔基本理念〕 人間尊重・市民生活優先  
〔基本目標〕 人とまち いきいきと幸せに輝く都市
- 【基本計画】 基本構想で定める基本目標等を実現するため、「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」や「まちづくりを進める力」などのまちづくりの基本方針や、今後の施策展開の方向性などを示すものです。
- 【実施計画】 基本計画に示すまちづくりの方向性を実現するため、どのような事業に計画的に取り組んでいくかなど、新たに開始する事業や、今までより拡充する事業を中心に具体的に示すものです。社会経済状況の変化等に柔軟に対応するため、計画期間は3年間としています。
- ◆【まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略】 目指すべき人口の将来展望とその達成に向けた取組みを示すものです。（2023年度から基本計画及び実施計画と統合しました。）

個別部門計画

市政の特定課題等に対応するため各部局が策定する方針・計画  
国土強靱化地域計画、中期財政運営方針、ちば・まち・ビジョン 等

2. 計画期間

令和8年度（2026年度）を初年度とし、10年度（2028年度）を最終年度とする3年間とします。



## 1. 人口の見通し

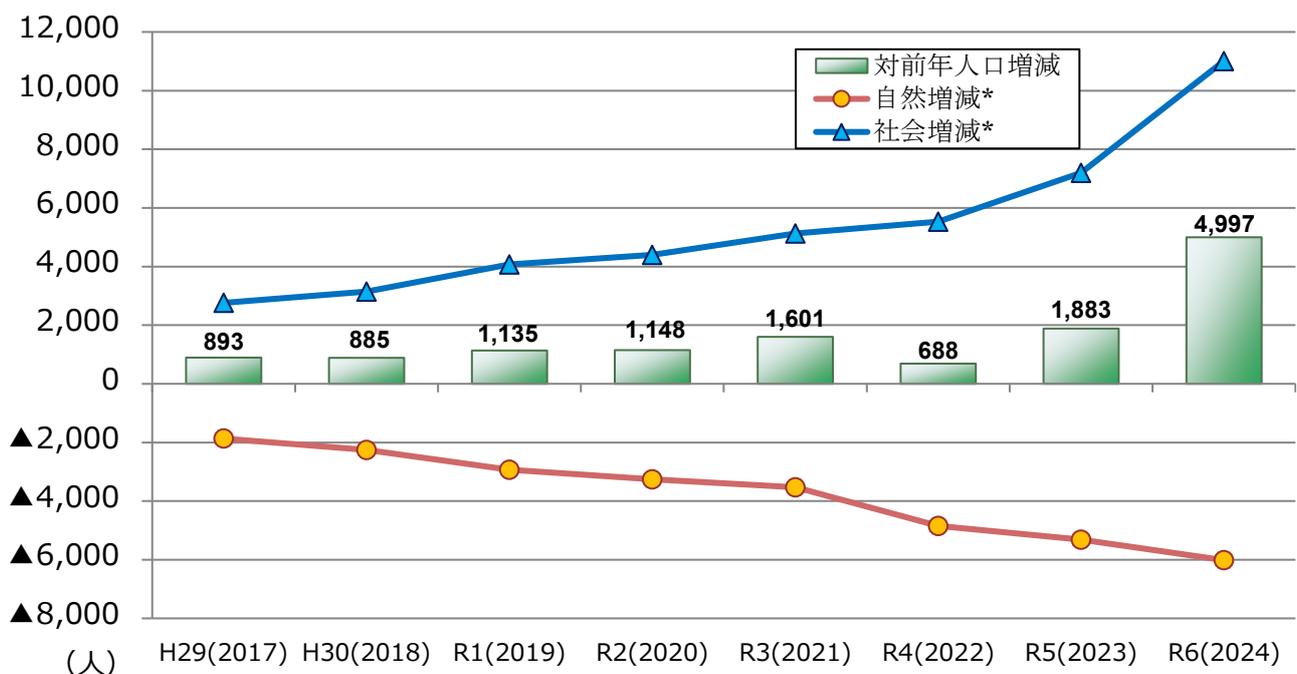
### (1) 人口の推移

千葉市の総人口は、令和2年（2020年）から令和5年（2023年）までは、毎年概ね1～2千人程度のペースで増加を続けていましたが、直近の令和6年（2024年）には約5千人増加しました。

出生数と死亡数の差である自然動態をみると、出生数が減少する一方、死亡数は高齢者人口の増により一貫して増加していることから、近年マイナスの状態が続いており、その幅が広がっています。

一方、転入数と転出数の差である社会動態をみると、近年、転入超過が継続しており、その幅も広がっています。また、令和3年（2021年）以降、コロナ禍の影響による働き方の変化（テレワーク）やライフスタイルの多様化、東京都心部の住宅価格の高騰などが背景にある中、東京都東部及び千葉県北西部からの転入超過数が増加しています。

図表3 千葉市人口の伸び（対前年比）の推移（平成29～令和6年）



出典：政策企画課

\*自然動態：出生数から死亡数を差し引いた数。

\*社会動態：転入数から転出数を差し引いた数。

### (2) 人口の見通し

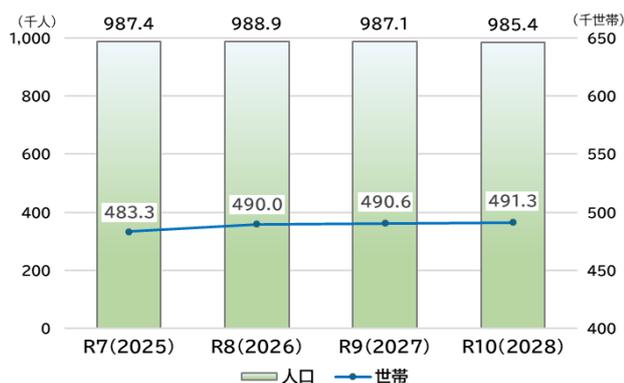
千葉市の総人口はこれまで増加を続けてきましたが、2020年代後半には減少に転ずる見通しです。

行政区別の人口は、中央区は増加となり、緑区は横ばい、花見川区、稲毛区、若葉区、美浜区では逡減する見通しです。

また、年齢3区分別の人口は、令和10年度（2028年度）までに65歳以上人口が約6,000人増加する見通しであり、高齢化が進行する見通しです。一方で、15歳未満人口は約1,400人、生産年齢人口である15～64歳は約6,600人、それぞれ減少する見通しです。

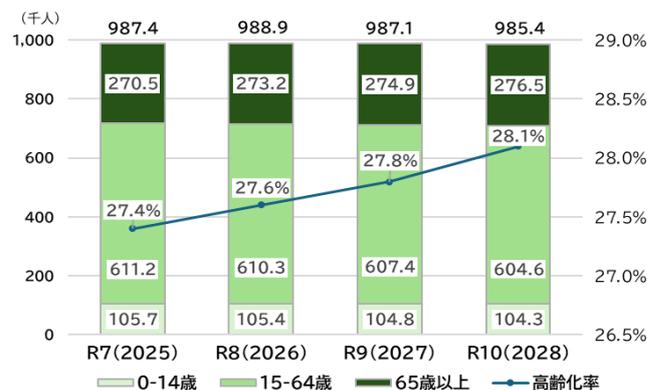
世帯数は、単身世帯の増加により、緩やかに増加する見通しです。

図表4 千葉市の将来人口推計・世帯数



出典：政策企画課

図表5 千葉市の年齢3区分別人口と高齢化率\*



出典：政策企画課

\*高齢化率：総人口に占める65歳以上人口の割合。

図表6 千葉市の将来人口推計

(単位：人)

区分	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
令和7年	987,400	221,200	177,300	160,800	144,200	128,200	155,700
令和8年	988,900	223,000	177,400	160,600	143,600	127,900	156,400
令和9年	987,100	223,500	176,800	160,100	142,500	128,000	156,200
令和10年	985,400	224,000	176,200	159,600	141,500	128,100	156,000

図表7 千葉市の年齢3区分別人口と構成比

(単位：人)

区分	15歳未満		15～64歳		65歳以上	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
令和7年	105,700	10.7%	611,200	61.9%	270,500	27.4%
令和8年	105,400	10.7%	610,300	61.7%	273,200	27.6%
令和9年	104,800	10.6%	607,400	61.5%	274,900	27.8%
令和10年	104,300	10.6%	604,600	61.4%	276,500	28.1%

図表8 千葉市の世帯数及び平均世帯人員

区分	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	
世帯数	令和7年	483,300	121,200	87,100	79,700	67,700	53,500	74,100
	令和8年	490,000	123,600	88,300	80,600	68,200	53,900	75,400
	令和9年	490,600	124,100	88,200	80,700	67,900	54,100	75,600
	令和10年	491,300	124,600	88,100	80,900	67,600	54,300	75,800
平均世帯人員	令和7年	2.04	1.83	2.04	2.02	2.13	2.40	2.10
	令和8年	2.02	1.80	2.01	1.99	2.11	2.37	2.07
	令和9年	2.01	1.80	2.00	1.98	2.10	2.37	2.07
	令和10年	2.01	1.80	2.00	1.97	2.09	2.36	2.06

## 2. 財政の状況と計画事業費

### (1) 財政の状況

千葉市では、平成 21 年度（2009 年度）に「脱・財政危機」宣言を発出した後、財政健全化プラン（計画期間 第 1 期：平成 22～25 年度〔2010～2013 年度〕、第 2 期：平成 26～29 年度〔2014～2017 年度〕、第 3 期：平成 30～令和 3 年度〔2018～2021 年度〕）に基づき、財政健全化に向けて取り組んできました。

その結果、実質公債費比率や将来負担比率が改善したことなどから、危機的状況を脱したと判断し、平成 29 年（2017 年）9 月に「脱・財政危機」宣言を解除しました。

その後は、令和 3 年度（2021 年度）に策定した中期財政運営方針（対象期間：令和 4～7 年度〔2022～2025 年度〕）に基づき、健全性を維持した財政運営に取り組んできましたが、物価高騰や金利の上昇など、本市を取り巻く環境が大きく変化しました。

このような状況下にあっても、令和 7 年度（2025 年度）に策定予定の現中期財政運営方針の後継となる財政計画のもと、第 2 次実施計画に掲げられた市民生活の向上や本市の発展につながる「千葉市ならではの」施策を力強く進め、「選ばれる」都市を目指すとともに、社会経済情勢の変化にも対応できるよう、将来にわたり持続可能な財政構造の確立を目指します。

### (2) 計画事業費

このような財政状況の下で、普通会計ベースでの財政収支見通しに基づく計画事業費は、959 億円と見込んでいます。

また、普通会計以外の会計を加えた第 2 次実施計画全体の計画事業費は 1,192 億円と見込んでいます。

図表 9 会計区分別計画事業費（単位：億円）

区 分	計画事業費
普通会計*	959
普通会計外*	233
総 額	1,192

\*普通会計：地方公共団体間の財政指標の比較をしやすいするために設けられた統一的な会計区分。千葉市では、一般会計に都市計画土地地区画整理事業特別会計、市街地再開発事業特別会計などを加えたもの。

\*普通会計外：普通会計に属さない企業会計（病院事業、下水道事業、水道事業）や介護保険事業特別会計など。

## 1. 策定の視点

計画の策定にあたっては、千葉市基本計画に掲げる4つの「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」と「まちづくりを進める力」を踏まえ、第1次実施計画に引き続き、計画期間に分野横断的かつ重点的に取り組むべき5つの視点（①100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり、②ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり、③世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくり、④都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化、⑤まちづくりを進める力を高める）を「策定の視点」として設定しました。

### （1）100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり

- 2050年カーボンニュートラル宣言を踏まえ、民間投資やイノベーションの喚起、再生可能エネルギーの活用、市民・事業者等の行動変容促進など、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めます。
- SDGsの達成に向け、市民・事業者等の行動変容を促進するとともに、環境・社会・経済の三側面が調和した取り組みを多様な主体の連携のもとで取り組みます。
- 災害に強いまちづくりとして、インフラやライフラインの強靱化・老朽化対策などを推進するとともに、多様な主体の連携による危機管理・防災体制の充実強化を図ります。

### （2）ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり

- 充実した都市機能が生み出す利便性の高さ（＝時間のゆとり）と、身近な海辺や内陸部の自然（＝空間のゆとり）を最大限に活かし、市民生活の質的向上を図ります。
- 市民一人ひとりが最適な暮らしを実感できるまちの基盤を創るため、事業の効果と効率性を最大化する観点からテクノロジー活用を進めます。
- 創造的で活力ある、質の高い暮らしの実現に向け、未来のまちづくりを力強く担う人材の育成を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の経験を踏まえつつ、多様な主体の参画により、他分野との連携も含めた文化芸術・スポーツの一層の充実を図ります。

### （3）世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくり

- 市民一人ひとりが多様性を認め合い、個性や能力を活かして活躍できる社会を実現するため、ソフト・ハード両面から取り組みを進めます。
- 「誰一人取り残さない」セーフティネットを構築するため、これまでに進めてきた取り組みの充実を図りつつ、既存制度の狭間にあるニーズを把握し、必要な支援・連携を行います。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとしてボランティア文化の醸成やパラスポーツの推進に取り組むとともに、外国人住民の地域社会への適応に向けた取り組みを進めます。

#### (4) 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

- 圏域経済の中心都市としての役割を果たすため、企業立地の促進や雇用の創出、国家戦略特区の活用、商業・観光機能の強化、農業の成長産業化などによる地域経済の活性化に取り組みます。
- 千葉市の特性はもとより、房総の多彩な魅力を活かすとともに、コロナ禍を契機に普及した多様な働き方を踏まえ、圏域としての価値向上に向けた取り組みを進めます。

#### (5) まちづくりを進める力を高める

- 地域活動やボランティア、支え合いの活性化に向け、新たなプラットフォームの構築に向けて取り組むとともに、テクノロジー活用も含めた担い手の発掘・育成、団体間の連携・発信力の強化などに取り組みます。
- 市民、団体、企業、大学等が社会課題の解決に主体的に取り組めるよう、各事業における参画機会の確保に努めるとともに、相互に連携できるようにするための環境整備に取り組みます。

## 2. 計画事業の選定

次の10年先、100年先の将来を見据えた中長期的な市政運営の基本方針である基本計画に基づく第2期の実施計画として、計画の実現に資する事業の立案及び選定を行いました。

なお、人件費や社会保障関係経費の増大、市有施設の老朽化対策のほか、物価高騰に伴う行政コストの増加など、多額の財政需要が見込まれ、かつ、労働人口の減少が進展する中、公的領域を含め社会全体の労働力の確保は一段と困難となることを見込まれるといった、現下の本市における行財政の状況に鑑みるとともに、そうした中で市の取組みの方向性をより明確にする観点から、市民生活への影響が大きく、政策的判断が必要となる新規性・拡充性のある事業を重点的に位置づけることとしました（内部事務の効率化や計画策定、計画事業費を計上しない事業は、原則、対象外としました）。

- 基本計画に掲げる、分野横断的かつ重点的に取り組むべき「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」及び多様な主体が連携する「まちづくりを進める力」を踏まえ、事業を展開します。
- 物価高騰や風水害・地震等の災害リスクなど、不透明かつ変化の激しい社会情勢を踏まえ、喫緊の課題への確に対応します。
- 市として目指す方向性をより明確にするとともに、効率的・効果的な行財政運営を図るため、緊急性や必要性はもとより、将来を見据えたまちづくりへの成果（インパクト）も考慮し、事業を厳選しました。

### 3. まちづくりの総合8分野における政策体系

まちづくりの基本方針に沿った政策に応じて取り組む分野を「まちづくり総合8分野」として整理し、それぞれの分野目標を設定するとともに、分野間の連携を図りながら、総合的かつ計画的なまちづくりを推進します。

政策体系		事業数
<b>1 環境・自然 気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します</b>		<b>30</b>
政策 1	脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	
政策 2	緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	
<b>2 安全・安心 災害など様々なリスクに対応し、安全・安心に暮らせるまちを実現します</b>		<b>31</b>
政策 1	災害に強いまちの基盤を整備する	
政策 2	多様な主体の連携による防災力を高める	
政策 3	消防・救急体制を充実・強化する	
政策 4	安全・安心な市民生活を守る	
<b>3 健康・福祉 みんながいいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します</b>		<b>18</b>
政策 1	健やかに暮らせる社会を創る	
政策 2	高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	
政策 3	障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	
政策 4	住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会	
<b>4 子ども・教育 夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子どもたちが育つまちを実現します</b>		<b>34</b>
政策 1	子どもを産み・育てやすい環境を創る	
政策 2	自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	
<b>5 地域社会 多様性を力に、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します</b>		<b>7</b>
政策 1	誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	
政策 2	多様な主体の連携によるまちづくりを進める	
<b>6 文化芸術・スポーツ 市民の文化芸術・スポーツ活動が広がる、創造性豊かなまちを実現します</b>		<b>15</b>
政策 1	文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	
政策 2	スポーツに親しむ環境を創る	
<b>7 都市・交通 市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します</b>		<b>32</b>
政策 1	持続可能で魅力あるまちづくりを進める	
政策 2	都市の力を底上げするネットワークを整備する	
政策 3	まちの発展にテクノロジーを活かす	
政策 4	暮らしを支える基盤を創る	
<b>8 地域経済 地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します</b>		<b>22</b>
政策 1	地域の産業を支え・育てる	
政策 2	観光の振興とM I C Eの推進によりまちの魅力を高める	
政策 3	農林業の持続的な発展を支える	
合計		<b>189</b>

※事業数は、重複を除く。

# 「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」等と計画事業の関係

千葉市基本計画では、「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」の実現に向け、分野横断的かつ重点的に取り組むべき4つの「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」と、多様な主体が連携する「まちづくりを進める力」を示しており、これらを第2次実施計画における「事業選定にあたり重視すべき5つの視点」として計画を策定しました。

本計画に位置付けた事業は、この「5つの視点」を踏まえて選定したものであり、主な計画事業としては、以下のものが挙げられます。

## 1 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり

### 【環境・自然】

脱炭素先行地域事業の推進、省エネルギー・再生可能エネルギー導入の推進  
環境性能の高い住宅・自動車の普及促進 など

### 【安全・安心】

浸水被害の軽減と対策の強化（雨水施設の整備）、土砂災害の予防  
避難所の環境整備、想定される最大規模の高潮に対する避難対策 など



## 2 ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり

### 【環境・自然】

河川を活用したまちづくり、身近な公園のトイレ快適化  
動物公園リスタート構想の推進 など

### 【子ども・教育】

アントレプレナーシップ教育の推進 など

### 【文化芸術・スポーツ】

アートのまちづくりの推進、市民会館の再整備 など

### 【都市・交通】

国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進 など



## 3 世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブ<sup>P191</sup>なまちづくり

### 【健康・福祉】

ひきこもり相談支援体制の充実、重度障害者の地域生活への支援、  
新東部児童相談所及び発達に係る相談支援機関等の整備 など

### 【子ども・教育】

外国語教育の推進、不登校対策の推進、学びの多様化学校の整備 など

### 【地域社会】

外国人住民の地域社会への適応、困難な問題を抱える女性への支援 など



## 事業選定にあたり重視すべき5つの視点

### 4つの戦略的視点

- 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり
- ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり
- 世界とつながる 多様性を活かした  
インクルーシブなまちづくり
- 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

### まちづくりを進める力を高める

市民をはじめとした多様な主体の一層の連携と公共私  
の役割分担の見直しにより、多様な主体がまちづくりに挑戦

## 4

### 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

#### 【都市・交通】

3都心のまちづくり推進、千葉マリスタジアムの再構築  
広域・市内ネットワークを構築する道路整備 など

#### 【地域経済】

企業立地の促進、創業及びイノベーション創出の支援、  
産業用地の整備、事業承継及び創業者への支援など



## 5

### まちづくりを進める力を高める

#### 【地域社会】

こども・若者の社会参画の推進、町内自治会業務の負担軽減の推進 など

#### 【都市・交通】

官民連携まちづくり（リノベーションまちづくり）の推進、  
千葉駅周辺の活性化推進 など



計画の推進にあたっては、以下の点に留意し、計画事業の効果的かつ着実な遂行に取り組みます。

#### (1) 市民、団体、企業、大学等、多様な主体との一層の連携

計画推進のためには、市民や団体、企業、大学など、まちづくりに関係する多様な地域の担い手の相互連携の強化を促進し、まちづくりに関わる「みんな」が主体的に地域・社会課題の解決に挑戦できる環境をつくる必要があります。

このため、多様な主体が連携する環境づくりを進めるとともに、各事業の実施においても積極的に連携するほか、計画の周知に努め、多様な主体とまちづくりに係る認識の共有を図ります。

#### (2) 行財政改革の取り組み

将来にわたり持続可能な行財政運営を行うため、令和7年度（2025年度）に策定予定の現中期財政運営方針の後継となる財政計画のほか、不断の事業見直し<sup>※</sup>をはじめとした行政運営の効率化や財政の健全性の維持を念頭に置きながら、デジタル化の推進や民間活用など時代の変化も的確に捉え、各事業を着実に進めます。

※事業見直し：社会状況等の変化を踏まえ、既存事業の必要性や効果を徹底的に検証し、事業そのものの廃止や整理・合理化、より効率的な手法への見直し等によりコスト削減を図ることで財源を確保し、本市の将来のために今必要な投資など、本市ならではの事業を進めていきます。

#### (3) 計画の進行管理及び評価

本計画に基づく取り組みの効果を高めるため、データに基づき、進行管理及び評価を適切に実施します。

具体的には、3年後に目指す事業量を明示するとともに、各年度の予算時・決算時に計画の事業量ベースの進行管理を行います。

また、千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を兼ねる計画であることを踏まえ、第2次実施計画では、千葉市基本計画で掲げる「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」の実現に向け、分野ごとに「ゴール(目標)」、「ゴール(目標)」の到達度を測る重要目標達成指標（KGI）と、その到達に資する要素を「構成因子」とし、重要業績評価指標（KPI）を設定しました。（指標などの詳細は巻末資料参照）

毎年度、市民と各分野の有識者により構成する千葉市新基本計画審議会において、重要目標達成指標（KGI）及び重要業績評価指標（KPI）などに基づき、取組状況の検証を行います。

さらに、本計画期間終了後に行う政策評価において、取組みの進捗状況やアンケートにより把握した市民の実感等を踏まえ、3年間の事業の振り返りを行い、課題を抽出するとともに、施策立案や事業の改善につなげます。

#### (4) 計画の弾力的な運用

計画事業の実施にあたっては、社会変化や施策推進上の課題を把握し、施策の検証、機動的な意思決定により、迅速かつ柔軟に必要な施策に取り組みます。

# 計画の各論

## 目次

1	環境・自然	16
2	安全・安心	29
3	健康・福祉	45
4	子ども・教育	62
5	地域社会	80
6	文化芸術・スポーツ	86
7	都市・交通	94
8	地域経済	120

## ●各論の見方

### 1 全体の構成

各論は、8つの「まちづくりの総合分野」、23の「政策」及び67の「施策」で構成し、施策ごとに「施策の展開」と「計画事業」を記載しています。



## 分野1 環境・自然

まちづくりの総合8分野

分野目標：気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します

各分野において  
実現すべき目標

### 政策体系

1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

政策 (23)

1-1-1 地球温暖化対策の推進

1-1-2 自然環境・生活環境の保全

1-1-3 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理

施策 (67)

1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

1-2-1 緑と水辺の活用と充実

1-2-2 緑の保全と創出

1-2-3 水辺環境の保全と活用

政策ごとに関連するSDGsのゴールを記載しています。

### 1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

【関連するSDGsの目標】



政策に関連する  
SDGsのゴール

## 2 計画事業

計画事業とは、千葉市基本計画に示す「まちづくりの基本方針」の実現に向けて、計画期間（令和8～10年度〔2026～2028年度〕）に実施する事業です。新たに取り組む事業や、今までより拡充する事業を位置づけています。

- ・【新規】は、第2次実施計画で新たに取り組む事業。
- ・【再掲】は、複数の施策に該当する事業。（主たる施策以外の施策に掲載する場合に表記。）
- ・担当課の名称は、令和8年（2026年）4月1日時点。

計画事業名		新規事業又はR7年度末実績等がない場合、現況は「－」と記載	
〇△の推進【新規・再掲】		〇〇課	
〇△のため、〇△〇△を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
〇△の調査	－	実施	完了
〇△〇△の支援	10団体/年	11団体/年	11団体/年

計画期間（令和8～10年度）に取り組む項目

計画期間終了時に実現している状態

### 事業量の見方

<取組み内容等を示す場合>

〇△の導入		〇〇課	
〇△のため、〇△〇△を導入します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
〇△〇△の導入	調査・検討	〇△〇△の導入	〇△〇△の導入

<各年度単位で事業量を示す場合>

〇△の推進		〇〇課	
〇△のため、〇△〇△を助成します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
〇△〇△の助成	10件/年	20件/年増	30件/年

計画前年度の年間事業量①      年間事業量の増加分②      計画終了時における年間事業量③  
(①+②=③)

<計画期間中の事業量を示す場合>

〇△の整備		〇〇課	
〇△のため、〇△〇△を整備するとともに、〇△〇△を設置します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
〇△〇△の整備	40箇所	30箇所	70箇所
〇△〇△の設置	20個	60個増	80個

計画前年度までの累積事業量①      計画期間中の事業量の増加分②      計画終了時における累積事業量③  
(①+②=③)

<計画期間中の事業量を示す場合（計画前年度までの累積事業量の記載になじまない場合）>

〇△の整備		〇〇課	
〇△のため、〇△〇△を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
〇△〇△の整備	15路線（令和7年度事業量）	12路線	12路線

計画前年度の事業量      計画期間中の事業量の増加分



## 分野1 環境・自然

分野目標：気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します

### 政策体系

1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

1-1-1 地球温暖化対策の推進

1-1-2 自然環境・生活環境の保全

1-1-3 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理

1-2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

1-2-1 緑と水辺の活用と充実

1-2-2 緑の保全と創出

1-2-3 水辺環境の保全と活用

【関連する SDGs の目標】



EV 充電設備

1-1-1 地球温暖化対策の推進

施策の展開

- 地球温暖化の進行により、災害の激甚化をはじめとした気候変動リスクが増大しています。千葉市においては、国による、いわゆる「2050年カーボンニュートラル宣言」を踏まえ、令和5年3月に「千葉市地球温暖化対策実行計画」を策定し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指しています。
- そこで、市の脱炭素化を進めるため、国から選定を受けた脱炭素先行地域事業として、令和12年（2030年）までに、市内対象エリア及び市有施設における電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出実質ゼロの達成を目指し、民間事業者と連携し、市有施設・民間施設への太陽光発電設備の導入など、脱炭素化に向けた取組みを推進します。また、引き続き市民や民間事業者の再生可能エネルギー設備の導入などを促進するとともに、下水道処理施設における下水汚泥固形燃料化施設の整備等を進めます。
- また、北谷津地域における環境学習拠点の形成やさらなる地域活性化を図るため、地域の担い手づくりを支援するとともに、拠点施設の整備を進めます。
- さらに、脱炭素社会の実現に向け、一人ひとりの意識醸成・行動変容を促すとともに、脱炭素に積極的に取り組む市内事業者等を支援する取組みを実施します。

計画事業

脱炭素先行地域事業の推進		脱炭素推進課	
市域の脱炭素化を推進するため、国から選定を受けた脱炭素先行地域事業として、市有施設・民間施設への太陽光発電設備等の導入や、市有施設の電力需要量と清掃工場廃棄物発電・太陽光発電における発電量を一元管理するシステムの運用等、民間事業者等と連携して脱炭素先行地域事業を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
市有施設の脱炭素化	太陽光発電設備等の導入 屋根置き 50件導入 農地 3件導入 調整池 1件調査・設計	屋根置き 37件導入 調整池 1件導入	屋根置き 87件導入 農地 3件導入 調整池 1件導入
	エリアエネルギーマネジメントシステムの導入	整備	運用
民間施設等への太陽光発電設備等の導入	エネルギーシェアリングの整備	整備	整備
	店舗の脱炭素化	調査・設計	整備 40件

省エネルギー・再生可能エネルギー導入の推進		脱炭素推進課	
省エネルギーの徹底・再生可能エネルギーの導入を推進するため、太陽光発電設備や省エネ設備の設置に係る費用を補助し、普及を促進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
事業者向け省エネルギー設備導入に係る補助	15件/年	10件増	25件/年
住宅向け再生可能エネルギー導入に係る補助	太陽光発電設備	20件/年増	240件/年
	蓄電池	20件/年増	500件/年

環境性能の高い住宅・自動車の普及促進		脱炭素推進課	
住宅や自動車から排出される二酸化炭素を削減するため、住宅の断熱性能を高める改修やEV充電設備導入に係る費用を補助し、環境性能の高い住宅・自動車の普及を促進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
窓の断熱改修補助	90件/年	10件/年増	120件/年
EV充電設備導入補助	1件/年	対象拡充 2件	対象拡充 2件/年

脱炭素社会の実現に向けた意識醸成・行動変容の促進		脱炭素推進課、教育指導課	
家庭における二酸化炭素排出量の削減のため、小・中学生向けに省エネルギー行動の実践・持続を促す教育プログラムを実施し、意識醸成・行動変容を促進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
省エネ教育プログラムの実施	モデル実施 (小学校1校)	効果検証 新たなプログラム実施	新たなプログラム実施

新清掃工場周辺整備（北谷津地域活性化）		廃棄物施設整備課、 廃棄物対策課、道路計画課	
北谷津地域において環境学習拠点の形成やさらなる地域の活性化を図るため、拠点施設の整備や担い手づくりなどを行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
環境学習拠点の形成に向けた地域連携の推進	検討	地域連携イベント3回 環境学習プログラム6回	地域連携イベント3回 環境学習プログラム6回
北谷津地域活性化に向けた拠点施設の整備	民間事業者の公募、 事業者決定	インフラ整備に係る 設計・工事	インフラ整備
わんぱくの森（プレーパーク）の運営体制づくり	検討	プレーパーク開催12回 ワークショップ12回	プレーパーク開催12回 ワークショップ12回
周辺道路の整備	大草交差点	詳細設計、用地取得	改良工事
	北谷津町入口交差点	詳細設計、用地取得	整備完了
	若葉いきいきプラザ前交差点	予備設計、用地測量、 路線測量	用地取得 詳細設計 改良工事

下水道の資源・エネルギー利用の推進		下水道施設建設課、 下水道経営課	
下水道処理施設の温室効果ガス排出量削減及び資源の有効利用を行うため、下水汚泥固形燃料化施設を整備するとともに、未利用資源やエネルギーの有効利用方法について検討を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
下水汚泥固形燃料化施設 の整備	1基目整備完了	設計・建設 1基	2基目整備完了
未利用資源・エネルギー 活用方法の検討	—	エネルギー利用効率化検討	検討
		地域バイオマス利活用検討	
		資源有効利用検討	

谷津田の森林整備		環境保全課	
谷津田の健全な水源を確保するとともに、二酸化炭素の吸収源対策としても谷津田の自然を活用するため、樹木の更新など斜面林の整備を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
谷津田の森林整備	4地区/年	4地区/年	4地区/年

## 1-1-2 自然環境・生活環境の保全

### 施策の展開

- 千葉市には、古来より続く豊かな自然が残されており、東京圏において貴重なこの自然を次世代に繋いでいく必要があります。
- そこで、市民や市民団体等の多様な主体と連携しながら、谷津田をはじめとした自然環境を保全するため、谷津田等の保全区域を拡大するとともに、引き続きその活用と保全活動を担うボランティアの育成を進めます。
- また、市内広範囲において、有害鳥獣による生活被害及び農作物被害が発生しており、地域一体となった対策を行う必要があります。そのため、捕獲従事者を確保するための取組みを進めるとともに、生息域の拡大等が見られる種を中心に、捕獲用わなの増設や近隣自治体との連携などにより捕獲を強化します。

### 計画事業

水環境・生物多様性の保全			環境保全課	
自然豊かな谷津田・ビオトープを保全し、市民の学習・啓発の場として活用するため、谷津田の保全区域を拡大します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
保全協定の締結	66.88ha	6ha 拡大	72.88ha	
有害鳥獣対策の推進			環境保全課、 農政センター農業経営支援課	
有害鳥獣による生活被害及び農作物被害を抑制するため、近隣市との連携した集中捕獲や捕獲用わなの台数を拡充し、生息域の拡大などが見られる獣種を中心に捕獲を強化します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
生活被害関係	捕獲わな	55 基	15 基増	70 基
	捕獲の強化 (イノシシ)	わな動作監視機器	10 基増	38 基
		出没地域周辺の調査の強化	試行実施	36 回/年
	(アライグマ等)	箱わな	85 基	15 基増
農業被害関係	捕獲従事者の確保に向けた実践研修	3 回/年 (基礎 1 回、実践 2 回)	内容拡充 2 回/年増	5 回/年 (実践 3 回、実践内容拡充版 2 回)
	捕獲の強化 (アライグマ等)	電気柵設置補助	8 件	7 件/年増
		箱わな	地域協議会用 27 基	地域協議会用 61 基増
生活・農業共通	周辺市との連携によるイノシシ集中捕獲	—	佐倉市・四街道市・市原市・大網白里市と連携実施	連携実施

## 1-1-3 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理

### 施策の展開

- 千葉市では、これまで家庭ごみ手数料徴収制度の導入や、古紙等の分別回収・再資源化など、市民及び事業者との協働により、ごみの減量・再資源化に取り組んできたことから、総排出量は減少傾向にあります。
- しかし、市民一人一日あたりの総排出量をみると、首都圏政令市の中では相対的に多い状況であり、さらなるごみの減量・再資源化を図る必要があることから、家庭系プラスチックの分別収集・再資源化を新たに実施します。
- また、将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、清掃工場及びリサイクル施設、最終処分場の整備を推進します。

### 計画事業

家庭系プラスチック資源の分別収集・再資源化【新規】		廃棄物対策課、収集業務課		
循環型社会・脱炭素社会を実現するため、家庭から排出されるプラスチック製容器包装及びプラスチック使用製品を回収し、再資源化を図ります。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
市民への周知啓発等	分別収集・再資源化事業計画策定	実施	実施	
分別収集・再資源化	指定袋の規格等検討 収集運搬事業者及び再商品化事業者の選定・契約	指定袋の製造・管理 分別収集・再資源化	分別収集・再資源化実施	
ごみステーション管理者に対する支援	補助制度内容の検討	ごみステーション管理用具の購入費補助実施	ごみステーション管理用具の購入費補助実施	
小型充電式電池・小型家電回収拠点の拡充	小型充電式電池回収拠点	12 か所	19 か所増	31 か所
	小型家電回収拠点	29 か所	2 か所増	31 か所
プラスチックごみの発生抑制・再資源化の推進		廃棄物対策課		
ごみの発生抑制・再資源化を推進するため、プラスチックごみの削減に資する啓発活動を行います。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
プラスチックごみ削減に向けた周知啓発	実施	動画による啓発実施	動画による啓発実施	

生ごみの減量・再資源化		廃棄物対策課	
生ごみの減量・再資源化を推進するため、生ごみ減量処理機購入費用の補助件数を拡充するとともに、乾燥野菜くず資源化事業の拠点を増設します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
生ごみ減量処理機購入費用の補助	480基/年	20基増	500基/年
乾燥野菜くず資源化事業の拠点整備	1か所	4か所増	5か所

3R教育・学習の推進		廃棄物対策課	
将来にわたる継続的なごみの減量化を図るため、学齢期の児童・生徒に対し、ごみの分別・再資源化などの重要性を啓発します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
ごみ分別スクール（小学4年生対象）の実施	107校/年実施	ごみ分別スクール用動画制作 107校/年実施	107校/年実施

学校給食残渣の再資源化		廃棄物対策課	
小学校から排出される事業系食品廃棄物を削減するとともに児童への環境教育を実施するため、学校給食の調理くずや食べ残しを再資源化する生ごみ処理機の設置校を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
生ごみ処理機の設置・運用	小学校6校設置	6校設置	小学校12校設置・運用

不法投棄・不適正排出抑制の推進		収集業務課	
不法投棄の未然防止及び対策を強化するため、インフォグラフィックを活用した視覚的に訴求する看板を作成し配布します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
不法投棄抑制の看板作成・配布	検討	作成・配布 2000枚	作成・配布 2000枚

高齢者等ごみ出し支援の充実強化【新規】		収集業務課 高齢福祉課	
高齢者等の在宅生活を支援するため、ごみ出し時間などの制約を受けない専用ストッカー等を貸与します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
支援団体への支援強化	検討	実施	実施
		効果検証	
許可業者による有料収集	検討	モデル実施	本格実施
		効果検証	
		本格実施	

廃棄物処理施設の整備推進		廃棄物施設整備課、 廃棄物施設維持課、 水道事業事務所、道路計画課	
将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、清掃工場、リサイクル施設、最終処分場の整備を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新港清掃工場の リニューアル整備	契約締結	工事 設計施工監理	工事 設計施工監理
新リサイクル施設の整備	基本計画策定 生活環境影響調査	PFI等導入可能性調査 劣化度診断等 アドバイザー契約	事業方式・事業者決定
最終処分場の整備	基本計画策定	用地測量、用地取得、 地歴調査	用地取得・地歴調査 完了
最終処分場の 周辺環境の 整備	上水道配水管 の整備	—	基本計画策定 実施設計 整備工事 2,120m
	道路整備 (搬入路・ 道路拡幅)	—	予備設計 路線測量 用地測量
	道路整備 (道路・橋梁)	—	予備設計 路線測量 土質調査

# 1-2

## 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

### 【関連する SDGs の目標】



動物公園（湿原ゾーン・ハシビロコウ展示場パース）

### 1-2-1 緑と水辺の活用と充実

#### 施策の展開

- 千葉市の市民一人当たりの都市公園面積は、9.96㎡（令和6年度末）と首都圏政令指定都市の中では第1位となっており、都市公園の魅力をもより向上させるとともに、市民の憩いの場として親しめる環境を創るため、民間活力を導入した公園整備等を進めています。
- 千葉公園については、魅力向上や周辺地域の活性化のため、やすらぎゾーンや生涯学習センター及び中央図書館から千葉公園へ続くアプローチやプールの再整備を進めます。泉自然公園及び昭和の森公園については、豊かな自然を活かした魅力的な空間にするため、サクラの再生などに取り組みます。
- 動物公園については、リスタート構想に基づき、集客性のある社会教育施設として、湿原ゾーン・森林ゾーンを整備するとともに、大池の再整備及び環境再生に取り組みます。
- 市役所本庁舎に近接するみなと公園については、子育て環境や防災機能の充実を図るため、民間活力の導入も含めた公園再整備の検討を進めます。
- 引き続き、身近な公園トイレの快適化を図るため、トイレの建替え等を行います。
- また、県立幕張海浜公園においては、民間活力の導入による広場やカフェ等の賑わい施設の整備を進めるとともに、民間事業者による、アルティマー千葉のホームアリーナ整備への支援を行います。

#### 計画事業

千葉公園の再整備		緑政課、公園建設課、生涯学習振興課、中央図書館管理課	
千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
やすらぎゾーン整備	やすらぎゾーン（第1期）整備	施設整備	やすらぎゾーン（第2期）施設整備完了
遊びゾーン整備	拡張区域整備	測量・基本設計	拡張区域整備完了
		実施設計	
	拡張用地引渡し	施設整備	
	—	実施設計	実施設計完了
水辺ゾーン整備	—	基本設計・実施設計	多目的広場実施設計完了 関係者との意見交換実施 サウンディング調査完了
		関係者との意見交換・調整	
		サウンディング調査	

身近な公園のエリアリノベーション			緑政課	
老朽化が進む身近な公園について、多様化するニーズに対応し、市民生活を豊かにするため、地域住民の意見を反映しながら、一定のエリア内にある複数の公園のエリアリノベーションを行います。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
モデル地区における身近な公園の機能再編	モデル地区(1)	機能再編計画の策定	整備設計・工事 利用調査	公園整備完了
	モデル地区(2)	—	機能再編計画策定	機能再編計画策定完了
みなと公園のリニューアル			公園管理課	
市庁舎に近接した、みなと公園の子育て環境や防災機能を充実するため、公園再整備に向けた検討を進めます。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
みなと公園の再整備		再整備に向けたワークショップ実施	再整備基本計画策定 基本設計 サウンディング調査	再整備基本計画策定 サウンディング調査
身近な公園のトイレ快適化			公園管理課	
身近な公園トイレの快適性の向上のため、便器の洋式化を進めるとともに、老朽化したトイレの建替えや設備などの改修を行います。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
老朽化対策	快適化改修	6棟	16棟	22棟
	建替え	2棟	6棟	8棟
ベースアップ対策	洋式化	138公園	15公園	153公園
	手洗いの自動水洗化	15棟	42棟	57棟
だれもが遊べる広場づくり			公園管理課	
障害のある人々への理解と社会の多様性への理解を促進させるため、公園におけるインクルーシブな環境の拡大を検討します。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
花島公園における事業検証		整備完了	事業検証	事業検証
泉自然公園のサクラの再生			若葉公園緑地事務所	
泉自然公園の魅力である豊かな自然を有する環境の質的向上を図るため、計画的に花（サクラ）の再生を行います。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
サクラの再生・充実		現状調査完了 生育不良枝等の除去	再生 200本/年	延べ600本

都川水の里公園の整備		公園建設課、道路計画課	
緑と水辺のレクリエーション拠点とするため、多目的遊水地の機能を備えた、都川水の里公園の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
用地取得	用地取得 89%	0.8ha	用地取得 94% (用地取得の概成)
施設整備	基本計画の修正	サウンディング調査	サウンディング調査

昭和の森における花の名所再生プロジェクトの推進		緑公園緑地事務所	
昭和の森を花の名所として魅力ある空間にするため、花（サクラ・ウメ）の環境整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
サクラ・ウメの再生	お花見広場サクラ、梅林 ウメの保育間伐	再生	再生

動物公園リスタート構想の推進		動物公園	
展示機能の充実を図り、集客性を高めるとともに社会教育施設としての存在価値の向上に繋げるため、環境整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
展示の リニューアル	湿原ゾーン	実施設計	整備工事 オープン式典
		—	基本設計・実施設計
	森林ゾーン (アフリカ)	—	整備工事
展示動物の導入	2頭増	12頭	12頭
アニマルウェルフェア 基準への適合	—	施設設計・工事 1基 動物治療器材導入	施設工事 1基 動物治療器材導入
全国技術者研究会開催	—	開催	開催
大池の再整備	測量・実施設計	工事	工事完了
大池の環境再生	—	外来生物の駆除及び水質 モニタリング 196回 ボランティア育成 20人 展示物整備・飼育管理	外来生物の駆除及び水質 モニタリング 196回 ボランティア育成 20人 展示物整備・飼育管理

アルティアリー千葉新アリーナの整備支援【新規・再掲】		スポーツ振興課	
スポーツ・文化芸術の良質な鑑賞・体感機会を創出し、県立幕張海浜公園の魅力向上を図るとともに、幕張新都心の防災機能の向上、回遊性・滞在快適性向上を図るため、アルティアリー千葉のホームアリーナ整備を支援します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
アリーナ整備	基本協定締結	アドバイザー業務委託	民間事業者による整備
		事業者選定	
		基盤整備負担金	
		民間事業者による整備	

## 1-2-2 緑の保全と創出

### 施策の展開

- 公有地の緑地が拡大している一方、生産緑地や保存樹林等の民有地における緑地は減少が続いており、市民が身近に緑を感じる環境の整備が必要なことから、市街地の緑を保全するため緑地保全制度の見直しを行います。
- また、市の花「オオガハス」を身近に感じ、都市に彩りを与える「花」との関りを通じてまちの魅力を高めるため、オオガハスが身近で観賞できる環境の整備を行います。
- さらに、谷津田の自然の重要な機能を担う斜面林の健全性を担保するため、谷津田の森林整備を推進します。

### 計画事業

オオガハスの魅力発信		緑政課		
市の花「オオガハス」をより身近に感じられるようにするとともに、魅力を世界へ発信するため、身近な観賞環境の整備や新たな都市へのオオガハスの分根、国際園芸博覧会への出展を行います。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
オオガハスの拠点整備	小さな拠点整備	3か所 (緑区・美浜区・若葉区)	3か所 (緑区・美浜区・若葉区)	
	観賞用アクセスルート整備	1か所	1か所	
オオガハスで繋がる都市間交流	実施	新たな分根・再分根先の開拓 6都市	新たな分根・再分根先の開拓 6都市	
国際園芸博覧会への出展によるオオガハスの情報発信	出展準備	実施	実施	
市街地の緑の保全の推進		公園管理課		
脱炭素化や生物多様性保全などに寄与する市街地の緑を保全するため、緑地保全制度の見直しを行うとともに、特別緑地保全地区内の用地取得を進めます。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
緑地保全制度の改正	緑地の現況調査 緑地保全方針骨子案作成	緑地保全方針の策定	新制度移行	
		条例改正		
特別緑地保全地区内の用地取得	地区内市有地面積 21.4ha	用地取得 0.7ha	地区内市有地面 22.1ha	
谷津田の森林整備【再掲】		環境保全課		
谷津田の健全な水源を確保するとともに、二酸化炭素の吸収源対策としても谷津田の自然を活用するため、樹木の更新など斜面林の整備を行います。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
谷津田の森林整備	4地区/年	4地区/年	4地区/年	

## 1-2-3 水辺環境の保全と活用

### 施策の展開

- 日本一の長さを誇る人工海浜（いなげの浜、検見川の浜、幕張の浜）の魅力を最大限に活かすため、平成28年（2016年）に策定した「海辺のグランドデザイン」に基づく取組みを、これまで進めてきました。
- 稲毛海浜公園においては、海辺の活性化を推進するため、引き続き、民間活力の導入によるリニューアルを進めるとともに、令和8年度（2026年度）にオープン50周年を迎えるいなげの浜で記念イベントを実施します。
- また、海辺と内陸部を繋ぐ川辺の魅力向上を図るため、花見川においては、花島公園及び花見川千本桜緑地での民間活力の導入に係る調査・検討や、千葉うみさとラインのブランディングを図るためのサイクリングコースへのサイン設置を進めるとともに、都川、鹿島川においても、それぞれの特性を活かした利活用社会実験等の取組みを進めます。

### 計画事業

河川を活用したまちづくり		都市政策課、緑政課	
新たな賑わいや活力を創出し、河川を市民にとって身近で開かれた空間とするため、河川を活用したまちづくりを推進し、河川空間とその周辺の地域資源を一体的に活用する取組みを進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
花見川の利活用	花見川千本桜緑地の活性化	利活用社会実験実施 トライアルサウンディング 民間活力導入可能性調査	利活用社会実験実施 利活用方針の策定
	花見川サイクリングコースの充実	サイン計画策定	サイン設置完了
都川の利活用	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施 かわまちづくり計画策定に係る調査検討	利活用社会実験実施 かわまちづくり計画策定・登録
鹿島川の利活用	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施
海辺の活性化		緑政課、中央・美浜公園緑地事務所	
やすらぎとにぎわいのある海辺の創出のため、いなげの浜における50周年記念イベントを実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
いなげの浜オープン50周年記念イベント等の実施	民間事業者との意見交換 記念イベントの方向性・推進体制決定	記念イベント等の実施	記念イベント等の実施



## 分野2 安全・安心

分野目標：災害など様々なリスクに対応し、安全・安心に暮らせる  
まちを実現します

### 政策体系

#### 2-1 災害に強いまちの基盤を整備する

2-1-1 風水害対策の推進

2-1-2 地震等に対応した生活インフラの適切な整備・管理

#### 2-2 多様な主体の連携による防災力を高める

2-2-1 災害対応体制の強化

2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上

#### 2-3 消防・救急体制を充実・強化する

2-3-1 消防力の充実・強化

2-3-2 救急需要への対応強化

2-3-3 火災予防の推進

#### 2-4 安全・安心な市民生活を守る

2-4-1 防犯対策の推進

2-4-2 交通安全の推進

2-4-3 消費生活の安定・向上

## 2-1 災害に強いまちの基盤を整備する

### 【関連する SDGs の目標】



無電柱化の推進

### 2-1-1 風水害対策の推進

#### 施策の展開

- 近年、地球温暖化等の影響により災害が激甚化しており、千葉市においても令和元年（2019年）の台風や大雨により、これまで経験したことのない多様で甚大な被害が発生しました。この経験を踏まえ、災害に強いまちづくりを推進する必要があります。
- 海に面した千葉市では、台風等に伴い発生する高潮の被害が予測されます。そこで、高潮に関して市民の安全と安心を確保するため、避難計画を策定し、広く周知するとともに、市民向けの避難訓練を実施します。
- また、土砂災害の予防及び被害軽減のため、急傾斜地の崩壊防止工事を進めるとともに、土砂災害（特別）警戒区域等の周辺住民にハザードマップや啓発チラシを配布して、防災情報を周知します。
- さらに、浸水被害軽減のため、地域における浸水リスクの高さに応じて、雨水管渠や排水路の整備及び河川の改修を進めるとともに、河川氾濫時等の災害時に一定の下水道機能を確保し影響を最小限にするため、下水道施設の耐水化を進めます。

#### 計画事業

想定される最大規模の高潮に対する避難対策			危機管理課、防災対策課
想定される最大規模の高潮から市民の命を守るため、避難計画を策定し、広く周知するとともに、市民向けの避難訓練を実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
避難計画の策定及び周知・啓発	高潮対策に係る基本方針策定	高潮避難計画の策定 市民向け周知啓発 避難訓練の実施 2地区	高潮避難計画策定 避難訓練の実施 2地区
土砂災害の予防			防災対策課
土砂災害に対する被害を最小限に抑えるため、新たに指定された土砂災害（特別）警戒区域等の周辺住民に、ハザードマップを配布します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
土砂災害ハザードマップの作製及び配布	ハザードマップの作製・配布 3,600世帯	ハザードマップの作製・配布 9,224世帯	ハザードマップの作製・配布 12,824世帯

流域治水の推進			総合治水課	
近年の大雨などの影響により頻発化する浸水被害を軽減するため、雨水管や排水路の流末となる河川の改修などを実施します。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
河川の整備	支川都川	河道築造 1,400m	河川整備 1,820m	河道築造 3,220m
	坂月川	—	管理用通路外実施設計	管理用通路外実施設計
河川の予防保全	坂月川	堤防舗装工事	堤防舗装外工事 900m 河川環境調査	堤防舗装 900m 河川環境調査

急傾斜地崩壊対策の推進			総合治水課	
急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を保護するため、崩壊防止施設の整備を進めます。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
急傾斜地崩壊防止施設の整備		2,200m	390m	2,590m

斜面緑地の崩壊防止対策の推進			公園管理課、 花見川・稲毛公園緑地事務所	
公園緑地の安全性を確保するため、法面の崩壊防止対策を推進します。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
法面崩壊防止対策		—	地形測量、地質調査、 安定解析 2か所	地形測量、地質調査、 安定解析 2か所

浸水被害の軽減と対策の強化（雨水施設の整備）			雨水対策課、総合治水課、 下水道施設建設課、下水道経営課	
近年の局地的な大雨などに対し、浸水被害を軽減するため、地域の状況に応じた効率的な雨水施設の整備を推進します。さらに、河川氾濫等の災害時においても一定の下水道機能を確保し、下水道施設被害による社会的影響を最小限にするため、下水道施設の耐水化を推進します。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
雨水管渠等の整備 （重点地区）	整備	6施設	6施設	12施設
	設計	8施設	6施設	14施設
雨水管渠等の整備 （一般地区）	整備	8施設	13施設	21施設
	設計	17施設	12施設	29施設
処理場の耐水化		3か所	1か所	4か所

浸水対策の推進			雨水対策課、総合治水課	
近年の台風や局地的な大雨の影響により、市内各地に発生する浸水被害を軽減させるため、排水施設の能力拡充や新規整備を推進します。				
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
一般排水路の整備	幹線整備	0.62km	1.18km	1.80km
	面的整備	0.47km	0.69km	1.16km
	設計業務委託等	2.76km	4.51km	7.27km
都市下水路の整備	管理用通路整備	—	0.61km	整備完了

## 2-1-2 地震等に対応した生活インフラの適切な整備・管理

### 施策の展開

- 千葉市は、首都直下地震によりマグニチュード7クラスの地震が発生する可能性が高いとされており、例えそのような災害が起こったとしても、生活に必要なインフラを維持するため、計画的な整備と適切な維持管理を行う必要があります。
- そこで、地震に強く、持続可能な公共インフラを確保するため、路面下空洞調査や防草対策など、効率的な道路の維持管理を行うとともに、橋梁や上下水道施設等の耐震化や道路の無電柱化を進めます。
- また、住宅の倒壊等の被害を防ぐため、住宅の耐震化を促進します。

### 計画事業

住宅耐震診断・改修費補助事業		建築指導課	
地震発生時における住宅の安全性向上を図るため、木造戸建の耐震診断及び耐震改修に係る費用を助成します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
耐震診断費用助成	6件/年	5件/年増	11件/年
耐震改修費用助成	19件/年	11件/年増	30件/年

市民生活に密着した道路の維持管理		土木保全課、土木管理課	
将来にわたり安全・安心な道路を確保していくため、路面下空洞調査や道路の防草対策など、効率的・効果的な維持管理を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
亥鼻橋の架替	橋梁下部工	橋梁上部工	新橋供用開始
		橋梁下部工	
		道路整備工事	
のぞみ橋の架替	土質調査・設計	用地取得	工事着手
		整地工事	
		仮栈橋設置	
路面下空洞調査	72km	60km	132km
道路の防草対策	17,000 m <sup>2</sup>	28,400 m <sup>2</sup>	45,400 m <sup>2</sup>

災害に強い道路の整備		土木保全課、路政課		
災害に強いまちづくりを推進するため、計画的に橋梁の耐震化や無電柱化などを行い、道路の防災力を強化します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
無電柱化の推進	青葉町地区	本体工事、引込連系管路工事	舗装復旧工事	完了
	椿森地区	測量・設計、本体工事	本体工事、引込連系管路工事、舗装復旧工事	完了
	新規地区	—	検討	検討
橋梁耐震補強	設計	1橋完了	8橋	9橋
	工事	一部実施	5橋	5橋
地籍調査 (美浜区)	現況測量	—	6.0 km <sup>2</sup>	6.0 km <sup>2</sup>
	境界立会等	1.0 km <sup>2</sup>	6.0 km <sup>2</sup>	7.0 km <sup>2</sup>
	閲覧等	1.0 km <sup>2</sup>	4.0 km <sup>2</sup>	5.0 km <sup>2</sup>

地震時における下水道機能の確保（下水道施設の耐震化）		下水道整備課、下水道経営課、下水道施設建設課		
大規模地震発生時においても、下水道の流下機能や処理機能を確保するため、管渠、処理場・ポンプ場の耐震化およびマンホール浮上防止対策、マンホールトイレの整備を推進します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
管渠の耐震化	742.2km	工事 9.0km	751.2km	
処理場・ポンプ場の耐震化	3か所	工事 9か所	12か所	
マンホールトイレの整備	172か所	工事 26か所	198か所	

地震時における水道機能の確保（水道施設の耐震化）		水道事業事務所		
地震発生時の安定給水を確保するため、水道施設の耐震化を進めます。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
管路の耐震化	耐震管率 72.6%	整備 5.84km	耐震管率 79.2%	
		管網計算、実施設計		
施設の耐震診断 (大木戸浄水場)	—	耐震詳細診断	耐震詳細診断	

## 2-2

# 多様な主体の連携による防災力を高める

### 【関連する SDGs の目標】



避難所開設訓練

## 2-2-1 災害対応体制の強化

### 施策の展開

- 多様化、激甚化する災害に対応するためには、地域の防災力を総合的に支える行政の防災体制の強化を図る必要があります。
- そこで、避難所における良好な生活環境を確保するため、マンホールトイレや非常用電源の整備を進めるとともに、防災備蓄品を適切に保管するための備蓄倉庫を整備します。
- また、児童・生徒の健康と安全を守るとともに、災害時の避難所の環境改善のため、避難所となる小中学校体育館の冷暖房整備を進めます。
- さらに、大規模災害を被災した際に、早期に復興まちづくりに着手するため、市街地の復興に関する事前準備を推進します。

### 計画事業

避難所の環境整備		防災対策課	
指定避難所における良好な生活環境を確保するため、マンホールトイレ、蓄電池、備蓄倉庫を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
マンホールトイレの整備	上部設備	29 か所	32 か所
	パネル上屋	29 か所	198 か所
備蓄倉庫の整備	127 か所	51 か所	178 か所
蓄電池の整備	51 か所	20 か所	71 か所

市街地復興の事前準備の推進		都市安全課	
大規模な災害が発生した際、早期に復興まちづくりに着手するため、市街地の復興に関する事前準備を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
市街地復興の事前準備の検討	復興体制・手順の現状把握及び課題整理	検討	方針公表
		方針公表	

市立学校の体育館冷暖房設備の整備【再掲】		学校施設課	
近年の猛暑や災害の発生状況を踏まえ、児童生徒の熱中症対策及び避難所としての環境整備の観点から、市立学校の体育館に冷暖房設備を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
市立学校の体育館冷暖房設備の整備	実施設計 59校	基本設計・実施設計 108校	実施設計 全校完了
	整備工事 30校	整備工事 110校	整備工事 140校完了

## 2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上

### 施策の展開

- 災害に強いまちをつくるためには、市民一人ひとりの防災意識と、地域における防災力の向上を図る必要があります。
- 災害発生時の避難にあたり、支援が必要な高齢者や障害者の安全を確保するため、それぞれの状況に応じた避難計画の作成および更新を進めるとともに、訓練を実施します。

### 計画事業

避難行動要支援者の支援体制の強化		防災対策課	
災害発生時における高齢者や障害者などの避難行動要支援者の安全を確保するため、一人ひとりの状況に応じた個別避難計画の作成を進めるとともに、計画の更新や訓練を行うことで実効性を高めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
個別避難計画の作成	1,071件	300件	1,371件
個別避難計画の更新	63件	600件	663件
個別避難計画を活用した避難訓練の実施	6件 (各区1件/年)	12件/年 (各区2件/年)	12件/年 (各区2件/年)

## 2-3

# 消防・救急体制を充実・強化する

### 【関連する SDGs の目標】



スクラップヤード火災

## 2-3-1 消防力の充実・強化

### 施策の展開

- 近年、災害の大規模化・複雑化が進んでおり、気候変動による気象災害の激甚化や、最近では充電池が原因となる火災が増加するなど、今後も様々な形による災害リスクの発生が見込まれています。そのような中でも、市民の命や財産を守るための体制の強化・充実を図る必要があります。
- そこで、リチウムイオン電池を原因としたスクラップヤード火災などの早期終息・被害軽減を図るため、新たな消火戦術を導入します。
- また、より効果的・効率的に消防・救急救助活動を行うため、情報共有アプリケーションの拡充や電子黒板を導入します。
- さらに、千葉港における消防体制を強化するため、消防艇を計画的に更新します。
- 加えて、地域の防火・防災力を強化するため、消防団員の負担軽減及び活動環境の改善を行い、消防団活動に参加していただけるよう、消防団業務のDXを進めます。

### 計画事業

消防団業務のDX推進【新規】		消防局総務課	
消防団員の負担軽減及び活動環境の改善を行うため、消防団業務のDXを推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
消防団アプリの導入	—	仕様検討、試行運用 導入・運用	運用
海上における消防体制の充実（消防艇の更新）【新規】		消防局施設課	
海上における消防体制の充実のため、消防艇の更新を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
消防艇の更新	—	更新	新消防艇運航開始

スクラップヤード火災等における消火戦術の構築【新規】		警防課	
リチウムイオン電池を原因としたスクラップヤード火災などの早期終息・被害軽減のため、泡水溶液消火用資機材を導入して、新たな消火戦術を構築します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
泡水溶液消火用資機材の整備	—	必要資材の導入・運用	運用

大規模震災を見据えた消防力の強化		警防課	
震災時の消防力向上のため、消防水利及び資器材を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
耐震性貯水槽の増設	7基	3基	10基
防火水槽の 長寿命化	調査設計 補強工事	3基	3基
		2基	2基
可搬型小型動力ポンプ及び 防災器具収納庫の整備	81か所	3か所	84か所

ICT技術を用いた情報共有資器材の充実		警防課		
大規模災害発生時の効率的な災害対応体制の構築のため、映像伝送により情報共有を行うアプリケーションの拡充や電子黒板を導入します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
映像伝送 システム	配信用 (同時通信)	7アカウント	継続	7アカウント
	視聴用	8アカウント	6アカウント増	14アカウント
	配信可能	26アカウント	29アカウント増	55アカウント
電子黒板のリース	—	4基	4基	

## 2-3-2 救急需要への対応強化

### 施策の展開

- 千葉市の救急出動件数（R3：55,564件→R6：69,429件）は増加を続けており、同時に救急隊の現場滞在時間（R3：23.6分→R6：27.3分）も伸び続けています。今後も、高齢化の進展等により、さらに滞在時間の増加が見込まれることから、救急業務の効率化を図る必要があります。
- そこで、傷病者の正確な情報を迅速に取得し、搬送先医療機関での診療準備、早期治療開始につなげるために、マイナ保険証を活用した救急業務であるマイナ救急を推進します。

### 計画事業

救急業務のDX推進（ICTを活用した救急業務の推進）		救急課	
救急業務の効率化を図るため、マイナ救急を運用するための端末を未配備の救急車に導入します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
マイナ救急の運用（救急車）	27台	7台増	34台

## 2-3-3 火災予防の推進

### 施策の展開

- 地震により発生する火災の出火原因においては、電気火災の占める割合が大きいことから、密集住宅市街地等での延焼拡大を防ぐため、地震の揺れを感知し電気を止める感震ブレーカーの設置を推進します。
- 消防法では、一定規模以上の防火対象物には防火・防災管理者の選任が求められ、選任するためには市町村の消防長等が開催する講習を受講し、資格を取得する必要があります。
- そこで、受講者の負担軽減・利便性向上を図るため、法令で義務付けられている各種防火管理講習のオンライン化を進めます。

### 計画事業

感震ブレーカーの設置推進			予防課
大規模地震時などにおける電気火災の発生や延焼を防止するため、密集住宅市街地などの特に危険性の高い地域に対して、感震ブレーカーの設置に係る費用を助成します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
感震ブレーカー設置費用の助成	1,678世帯	80世帯/年増	2,818世帯 (380世帯/年)

防火管理講習等のオンライン化			予防課
受講者及び行政の負担軽減・利便性向上を図るため、防火管理講習などを対象にオンライン講習システムを導入します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
オンライン講習システムの導入・運用	Web会議方式による一部講習の実施	導入検討	オンライン運用
		導入・運用	

## 2-4

# 安全・安心な市民生活を守る

### 【関連する SDGs の目標】



通学路の安全対策

## 2-4-1 防犯対策の推進

### 施策の展開

- 市内の刑法犯認知件数は、平成 26 年（2014 年）から令和 3 年（2021 年）にかけて半減していましたが、令和 4 年と令和 5 年は増加に転じているなど、引き続き、さらなる防犯対策を推進する必要があります。
- 市民が身近な場所での安全・安心を実感できるよう、町内自治会等が設置する防犯カメラへの助成を行うとともに、主要な鉄道駅周辺や繁華街への防犯カメラの設置を進めます。
- 中央区富士見地区及び JR 海浜幕張駅地区において、来街者の安全・安心な歩行環境を確保するため、「千葉市客引き行為等の防止に関する条例」に基づき、引き続き指導員等による巡回指導を強化します。

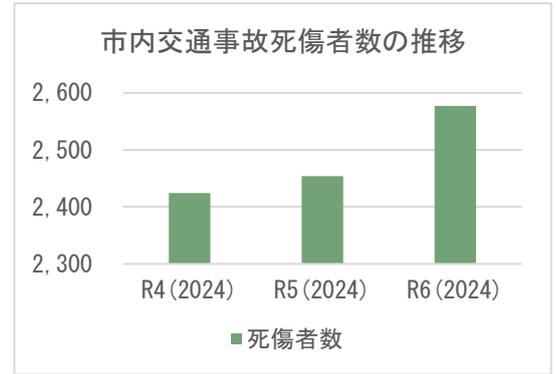
### 計画事業

駅周辺及び繁華街への防犯カメラ設置		地域安全課	
不特定多数が通行する地域における犯罪を抑止し、安全・安心な市民生活を守るため、JR 駅周辺及び繁華街への防犯カメラなどを設置します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
JR 駅への防犯カメラの設置の推進	59 台	24 台	83 台
繁華街への防犯カメラ設置（富士見地区）	32 台	2 台	34 台
自治会等に対する防犯カメラ設置費助成		地域安全課	
地域の安全を確保するため、町内自治会などが設置する防犯カメラへの助成を行います。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
防犯カメラ設置費助成	50 台/年	20 台/年増	70 台/年
繁華街客引き対策		地域安全課	
市民や来街者が安心して通行できる環境を確保するため、客引き防止指導員による指導を引き続き実施するとともに、警備員による巡回指導を強化します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
巡回指導の強化	警備員 4 人による巡回指導	海浜幕張地区の巡回強化 富士見地区の巡回強化	警備員 6 人による巡回指導

## 2-4-2 交通安全の推進

### 施策の展開

- 千葉市の交通事故死傷者数は増加（R4 死傷者数 2,424 名、R5 死傷者数 2,454 名、R6 死傷者数 2,577 名）傾向にあり、引き続き、道路交通環境の改善や、市民の交通安全意識の向上を図る必要があります。
- 市民が安全・安心に通行できる環境を整えるため、歩道の整備や踏切道の改良等を進めます。また、児童生徒の通園・通学時等の安全を確保するため、通学路における路肩のカラー化等を進めます。
- 市民の交通ルールの遵守やマナー向上を図るため、中高生を対象としたスケアードストレート交通安全教室等を実施します。



### 計画事業

交通安全の推進		地域安全課	
悲惨な交通事故を減少させるため、交通安全教育を実施します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
スケアードストレート交通安全教室	5 校/年	1 校/年増	6 校/年
安全で安心な道路環境の整備		土木保全課	
道路利用者の安全性・利便性の向上及び交通の円滑化を図るため、交通安全施設等の整備や道路のバリアフリー整備などを行います。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
安全施設の整備	区画線・防護柵等の整備	整備	区画線・防護柵等の整備
通学路の安全対策	通学路交通安全対策プログラムに基づく合同点検及び対策の実施	実施	通学路交通安全対策プログラムに基づく合同点検及び対策の実施
バリアフリー整備	段差解消	整備	整備
	視覚障害者誘導用ブロック	整備	整備
	都賀駅東口エレベーター	設置協議	設置完了
駅前広場の改良	整備	整備	整備
ベンチ設置	整備	120 基	120 基

<b>踏切道の改良</b>	<b>道路計画課、街路建設課</b>
---------------	--------------------

踏切道における歩行者などの安全性を確保するため、踏切道の改良を実施します。

取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
生浜踏切	—	詳細設計、工事	工事
第一鎌取踏切	詳細設計	工事	工事
明大前踏切	基礎資料収集	調査・設計	調査・設計

<b>歩道の整備</b>	<b>道路建設課、道路計画課、街路建設課</b>
--------------	--------------------------

歩行者の安全性を確保するため、歩きやすい歩道を整備します。

取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
調査・設計	4 路線 (令和 7 年度事業量)	4 路線	4 路線
用地取得	3 路線 (令和 7 年度事業量)	9 路線	9 路線
整備	4 路線 (令和 7 年度事業量)	5 路線	5 路線 (供用開始 1 路線)

<b>交差点の改良【再掲】</b>	<b>道路計画課、道路建設課</b>
-------------------	--------------------

交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交通の整流化を図る交差点改良を実施します。

取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
調査・設計	5 か所 (令和 7 年度事業量)	6 か所	6 か所
用地取得	4 か所 (令和 7 年度事業量)	7 か所	7 か所
整備	1 か所 (令和 7 年度事業量)	5 か所	5 か所 (供用開始 1 路線)

## 2-4-3 消費生活の安定・向上

### 施策の展開

- 高齢化の進行や成年年齢の引き下げ、社会のデジタル化の急速な進展などを背景とした、脆弱な消費者などを狙う悪質事業者の増加や、手口の巧妙化など、消費者被害の増加が懸念されています。近年では生成 AI や SNS が悪用され消費者被害につながるなど、デジタル社会特有の新たなトラブルも増加しています。
- そのような中でも、市民の消費生活の安定と向上を図るため、消費生活相談の Web フォームによる受付を開始し、相談体制を整えます。
- また、世界共通の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献する取組みとして、公正で持続可能な取引の仕組みであるフェアトレードの普及・啓発を進めます。

### 計画事業

消費生活相談の充実		消費生活センター	
消費生活の安定・向上のため、相談員を増員し、消費生活相談の体制を強化します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
Web フォーム受付による消費生活相談	—	実施	実施

フェアトレードの推進【新規・再掲】		国際交流課、農政課、障害者自立支援課	
開発途上国の生産者の生活改善、地産地消による地域の農業・産業の振興、障害者の自立や社会参加の支援を図るため、公正で持続可能な取引の仕組みであるフェアトレードの普及・啓発を推進します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
フェアトレードタウンの認定取得	認定申請に向けた準備	認定申請	認定取得
フェアトレード産品取扱店の周知	フェアトレード産品取扱店の調査	ポスター・ステッカー・のぼり作成	ポスター・ステッカー・のぼり作成
組織・団体内でのフェアトレードの普及	—	出前講座 3 回/年 販売会 2 回/年	出前講座 3 回/年 販売会 2 回/年
千葉県フェアトレード推進員制度（仮称）の設置	—	制度創設 推進員認定 20 人	推進員認定 20 人



## 分野3 健康・福祉

分野目標：みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します

### 政策体系

- 3-1 健やかに暮らせる社会を創る
  - 3-1-1 健康づくりの促進
  - 3-1-2 医療提供体制の充実
  - 3-1-3 安全・安心な生活衛生環境の整備
- 3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る
  - 3-2-1 生きがいつくりと社会参加の促進
  - 3-2-2 地域で安心して暮らせる環境の整備
  - 3-2-3 認知症とともに生きる社会の構築
  - 3-2-4 介護保険サービス提供体制の整備
- 3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る
  - 3-3-1 障害のある方への理解促進と社会参加の促進
  - 3-3-2 地域で自立して暮らせる環境の整備
  - 3-3-3 障害のある子どもとその家族への支援の充実
  - 3-3-4 心の健康づくりへの相談・支援体制の充実
- 3-4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる
  - 3-4-1 とともに支え合い、活力ある地域づくりの推進
  - 3-4-2 包括的な支援体制の構築

# 3-1

# 健やかに暮らせる社会を創る

## 【関連する SDGs の目標】



新病院完成パース図

## 3-1-1 健康づくりの促進

### 施策の展開

- 千葉市では、市民の健康の保持・増進を総合的・効果的に推進するため、令和6年度（2024年度）に健やか未来都市ちばプラン（第3次健康増進計画）を策定し、市民や行政、関係機関・団体等が一体となって健康づくりに取り組んでおります。
- そうした中で、令和2年（2020年）の本市の平均寿命は、男性が81.45歳、女性が88.10歳となっており、「人生100年時代」を見据えると、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が、一層重要となっております。
- そこで、幼少期からの健康づくりを促進し、生涯の健康につなげるため、予防接種費用の助成や保育施設、幼稚園及び小学校でむし歯予防の取組みを行います。
- また、健康に関心を持つことが難しい青年期・壮年期等の健康な生活習慣の定着・維持のため、食生活に関する啓発等を行います。

### 計画事業

子どものむし歯予防の推進		健康推進課、保健体育課	
子どものむし歯を予防し、口腔の健康格差の縮小を図るため、保育施設や幼稚園、小学校におけるフッ化物洗口の実施を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
保育施設等におけるフッ化物洗口の導入	8園	36園	44園
公立小学校におけるフッ化物洗口の導入	7校	30校増	37校
青年期・壮年期等の健康な食習慣づくり		健康推進課	
青年期・壮年期等の誰もが健康な食習慣を獲得するよう促すため、産学官などが協働し効果的な啓発を検討・実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
健康な食習慣づくりに資する商品化や啓発	—	媒体作成 2回/年	媒体作成 2回/年

<b>おたふくかぜ予防接種費用の助成【新規・再掲】</b>		<b>医療政策課</b>	
おたふくかぜの発症及び重症化を予防するため、予防接種に要する費用を助成します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
おたふくかぜ予防接種の費用助成	—	実施	実施

<b>R S ウイルス母子免疫ワクチン予防接種の実施【新規・再掲】</b>		<b>医療政策課</b>	
新生児・乳児のR S ウイルス感染症発生及びまん延を予防するため、R S ウイルス感染症予防接種の定期接種化に伴い、妊婦を対象に予防接種を実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
定期接種	—	実施	実施

## 3-1-2 医療提供体制の充実

### 施策の展開

- 千葉市ではこれまで、地域における必要な医療提供体制を確保するため、青葉病院・海浜病院それぞれにおいて特色ある医療の充実・強化を図ってきたところですが、市民の安全・安心を守るため、引き続き医療提供体制の充実に取り組んでいく必要があります。
- そこで、小児・周産期医療の強みを活かしながら、地域で発生する救急要請を積極的に受入れるため、救急医療の充実を図るとともに、高齢化に伴って増加するがんの診療体制を強化するなど、高齢化社会に求められる、市民に安心して質の高い医療を持続的に提供するため、（仮称）幕張海浜病院の整備を進めます。

### 計画事業

（仮称）幕張海浜病院の整備		経営企画課	
将来にわたって市民に安心して質の高い医療を提供するため、海浜病院に代わる新病院を整備します。 （令和8年秋開院予定）			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
海浜病院移転	—	実施	移転完了

### 3-1-3 安全・安心な生活衛生環境の整備

#### 施策の展開

- 千葉市では、人と動物が共生できる社会づくりに取り組んでおり、ボランティアの協力も得ながら、収容動物の譲渡などを行っています。今後も動物を取り巻く社会情勢の変化や動物愛護管理行政の課題に対応するため、動物保護指導センターを再整備するとともに、動物ボランティアの発掘・育成を進めます。
- また、引き続き斎場周辺の環境整備に取り組むとともに、高齢化社会の到来に伴う市民の墓地需要の変化に対応するため、平和公園の拡張整備や墓園整備計画の修正設計等を行うとともに、新たな斎場の整備を進めることにより、今後の火葬需要の増大に対応します。

#### 計画事業

動物愛護の推進		生活衛生課	
動物を取り巻く社会情勢の変化や動物愛護管理行政の課題に対応するため、動物保護指導センターを再整備するとともに、市独自の動物愛護推進員制度を創設し、動物ボランティアの発掘や育成を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
動物保護指導センターの再整備	基本設計 測量・境界確定 土質調査	実施設計	移転完了
		工事 センター移転	
市独自の動物愛護推進員制度の創設	—	制度創設・運営	制度創設・運営
斎園周辺（斎場・平和公園）環境の整備		生活衛生課、 道路建設課、公園建設課	
斎場や平和公園周辺の良好な環境づくりのため、道路、公園緑地などの整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	道路整備 4路線	道路整備 4路線	2路線供用開始 1路線冠水対策工事完了 1路線用地取得完了、道路整備
親水広場整備	基盤整備工事、設計等	工事	供用開始
緑地の整備	用地境界立会測量	継続	用地境界立会測量
平和公園の拡張・整備		生活衛生課、 公園建設課	
市民ニーズに応えた安定的な墓地供給を行うため、平和公園を拡張整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
墓園の整備	工事	工事・一部供用開始	工事・一部供用開始 トイレ設置
		トイレ新築工事	
墓園整備修正設計	墓地需要予測調査	設計	設計完了
都市計画の延長	検討	申請・認可	認可

新たな斎場の整備【新規】		生活衛生課	
今後の火葬需要の増大に対応するため、新たな斎場の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新たな斎場の整備	方針決定	基本計画策定	都市計画決定
		環境アセスメント実施	
		都市計画決定	
旧衛生センター(一部)の解体	—	解体実施設計	解体実施設計
		解体工事	

## 3-2

# 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る

### 【関連する SDGs の目標】



あんしんケアセンター

## 3-2-1 生きがいづくりと社会参加の促進

### 施策の展開

- 千葉市の高齢者人口は、令和 7 年（2025 年）9 月末時点で 258,766 人、高齢化率が 26.2%となっており、今後も増加していくことが見込まれます。
- 少子高齢化が一層進行する中においては、シニア世代もまちづくりの一員として、健康で生きがいのある生活が送れる環境をつくることが重要です。
- そのため、住民主体の通いの場が地域で広がるよう活動を支援するとともに、老朽化した土気公民館・土気市民センター・土気いきいきセンターの一体的な整備などを行い、地域の活動拠点の利便性向上を図ります。

### 計画事業

土気公民館・土気市民センター・土気いきいきセンターの再整備【再掲】		生涯学習振興課、 緑区総務課、高齢福祉課	
地域の活動拠点の利便性向上を図るため、老朽化した土気公民館・土気市民センター・土気いきいきセンターの一体的な整備を進めます。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
新複合施設の建設	—	基本設計	建築工事
		実施設計	
		建築工事	
土気市民センターの解体工事	—	解体設計	解体工事完了
		解体工事	
地域介護予防活動支援の強化		高齢福祉課	
市民の身近な地域で介護予防活動を広げるため、住民主体の通いの場などにいきいきプラザ・センターの専門職を継続的に派遣して地域による活動を支援します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
アウトリーチの実施	—	実施	実施

## 3-2-2 地域で安心して暮らせる環境の整備

### 施策の展開

- 千葉市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるまちの実現を目指し、あんしんケアセンターの機能拡充や、地域住民や地域団体による支え合い活動の促進に取り組んできたところです。
- そうした中で、今後更なる高齢者人口の増加が見込まれおり、限られた資源の中でも人口構造の変化とそれに伴うニーズの多様化に的確に対応していくため、効果的かつ効率的に高齢者が長く安心して地域で生活できる環境づくりを進めていく必要があります。
- そこで、ごみ出し支援の充実を図るとともに、高齢者人口の分布に応じてあんしんケアセンターの職員を増員するほか、帯状疱疹ワクチン予防接種費用を助成するなど体制強化を図ります。

### 計画事業

あんしんケアセンターの機能強化と介護人材の育成【再掲】		地域包括ケア推進課	
地域における高齢者やその家族への相談体制の充実を図るため、地域包括ケアシステムの中心的役割を担うあんしんケアセンターの体制を強化するとともに、介護人材の育成を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
プランナーの配置	—	6か所	6か所
高齢者等ごみ出し支援の充実強化【新規・再掲】		収集業務課 高齢福祉課	
高齢者等の在宅生活を支援するため、ごみ出し時間などの制約を受けない専用ストッカー等を貸与します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
支援団体への支援強化	検討	実施	実施
		効果検証	
許可業者による有料収集	検討	モデル実施	本格実施
		効果検証	
		本格実施	
帯状疱疹ワクチン予防接種費用の助成【新規】		医療政策課	
帯状疱疹の発症及び重症化を予防するため、定期接種対象外の高齢者等を対象とした任意予防接種費用の一部を助成します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
任意接種助成	—	実施	実施

### 3-2-3 認知症とともに生きる社会の構築

#### 施策の展開

- 千葉市では、認知症になっても、本人やその家族が希望を持って暮らし続けられるよう、認知症に対する社会の理解を深め、認知症の人も社会の一員として活躍できる地域共生社会を目指してきました。
- また、令和6年1月には「認知症基本法」が施行され、認知症の人を含めた国民一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する社会の実現を推進することが求められています。
- 認知症損害賠償補償制度の創設など、認知症の人が安心して外出できる環境づくりを推進することを通じ、認知症の人も社会の一員として活躍ができる共生社会を目指します。

#### 計画事業

認知症の人の社会参加の促進【新規】		地域包括ケア推進課	
認知症の人が社会の一員として活躍ができる共生社会をめざし、認知症の人や家族の外出への不安を軽減し、認知症の人の社会参加を促進するため、認知症損害賠償補償の仕組みを創設します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
認知症損害賠償補償制度の創設	—	制度創設・運用	制度創設・運用

### 3-2-4 介護保険サービス提供体制の整備

#### 施策の展開

- 本市では、高齢化の進行に伴う要介護者の増加に対応するため、介護保険施設を計画的に整備するなど、介護保険サービスの充実に取り組んでいます。
- 今後も継続的に要介護者の増加が見込まれることから、人件費や資材価格の高騰に対応しつつ、特別養護老人ホームの整備や、老朽化した高齢者施設への修繕助成を行い、介護需要への対応に取り組めます。
- また、住み慣れた地域で暮らし続けたいというニーズに対応するため、（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備を進めます。
- さらに、安定した介護サービスを持続的に提供するため、引き続き介護人材の確保や定着支援に取り組めます。

#### 計画事業

介護人材の確保・定着の支援		介護保険管理課	
慢性化している介護人材不足に対応するため、介護の仕事の魅力向上や人材の確保・資質向上に向けた支援を行い、介護人材確保・定着に努めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
学生等を対象とした新たな介護分野への参入支援策の検討・実施	市内中学校へのパンフレット配布	検討・実施	実施
介護事業所における新たな人材育成支援策の検討・実施	管理者対象のDX研修等 中堅職員向け研修	検討・実施	実施
高齢者施設の整備・修繕への助成		介護保険事業課	
介護などが必要な高齢者の増加に対応するため、高齢者施設の整備・修繕に要する費用を助成します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
特別養護老人ホームの整備	61 か所	3 か所増 補助単価増額	64 か所
（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備	19 生活圏域	3 生活圏域増	22 生活圏域
養護・軽費老人ホームの大規模修繕	8 施設実施	3 施設実施	11 施設実施
あんしんケアセンターの機能強化と介護人材の育成		地域包括ケア推進課	
地域における高齢者やその家族への相談体制の充実を図るため、地域包括ケアシステムの中心的役割を担うあんしんケアセンターの体制を強化するとともに、介護人材の育成を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
プランナーの配置	—	6 か所	6 か所

### 3-3

## 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る

### 【関連する SDGs の目標】



パラアスリート学校訪問

### 3-3-1 障害のある方への理解促進と社会参加の促進

#### 施策の展開

- 千葉市では、障害のある人もない人も一緒に活躍できる共生社会の実現に向けて取り組んでおり、引き続き、障害のある人への更なる理解促進と社会参加の促進に取り組んでいく必要があります。
- そこで、障害者の就労や社会参加とともに農業の担い手不足の解消にもつながる農福連携の取り組みを支援します。
- また、共生社会の実現に向けた取組みとして、パラスポーツを身近で体験・体感できる機会を創出するとともに、障害者が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。
- さらに、障害のある人が生産する製品やサービスを適正な価格で購入することで、社会参加や自立を支援する「チャレンジド・フェアトレード」を含む、公正で持続可能な取引の仕組みであるフェアトレードの普及・啓発を推進します。

#### 計画事業

農福連携の推進		障害者自立支援課、 農政センター農業経営支援課	
障害のある人が、担い手が不足する農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持った社会参画を実現するため、障害者施設と農業者を支援し、農福連携を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
農福連携を行う障害者施設への支援	—	奨励金 5件/年	奨励金 5件/年
農福連携を行う農業者への支援	—	奨励金 5件/年	奨励金 5件/年
パラスポーツの推進【再掲】		スポーツ振興課	
パラスポーツを推進し、障害の有無に関わらずスポーツに親しむことができるようにするため、パラスポーツを身近で体験・体感できる機会の創出や環境づくりを進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
ワールドトライアスロンパラカップ千葉開催支援	—	開催支援	開催支援
パラスポーツ指導員フォローアップ研修会	1回/年	2回/年	2回/年

フェアトレードの推進【新規・再掲】		国際交流課、農政課、 障害者自立支援課	
開発途上国の生産者の生活改善、地産地消による地域の農業・産業の振興、障害者の自立や社会参加の支援を図るため、公正で持続可能な取引の仕組みであるフェアトレードの普及・啓発を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
フェアトレードタウンの認定取得	認定申請に向けた準備	認定申請	認定取得
フェアトレード産品取扱店の周知	フェアトレード産品取扱店の調査	ポスター・ステッカー・のぼり作成	ポスター・ステッカー・のぼり作成
組織・団体内でのフェアトレードの普及	—	出前講座 3回/年 販売会 2回/年	出前講座 3回/年 販売会 2回/年
千葉県フェアトレード推進員制度（仮称）の設置	—	制度創設 推進員認定 20人	推進員認定 20人

## 3-3-2 地域で自立して暮らせる環境の整備

### 施策の展開

- 千葉市では、障害のある人もない人も一緒に活躍できる共生社会の実現を目指し、一人ひとりに寄り添う相談体制の整備など、社会全体で障害のある人を支える体制の構築を進めています。
- また、医療技術の進歩に伴い医療的ケアが必要となる重度の障害者は今後も増加することが見込まれるため、更なる支援体制の強化が必要となっています。
- そこで、重度障害者であっても住み慣れた地域で継続して生活できるよう、重度障害者の支援を行う障害福祉サービス事業への参入を促進します。

### 計画事業

重度障害者の地域生活への支援【新規】		障害福祉サービス課	
<p>重度障害者が安心して生活が送れるようにするため、医療的ケア者及び重症心身障害者が利用する生活介護事業所の報酬に対し上乗せを実施するとともに、グループホームなどの整備に要する費用を助成します。</p>			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
医療的ケア者等を受け入れる生活介護事業所への加算	—	利用日ごとの加算	各加算の実施
		入浴実施への加算	
		送迎実施への加算	
重度障害者グループホーム等への施設整備助成	—	3施設	3施設

### 3-3-3 障害のある子どもとその家族への支援の充実

#### 施策の展開

- 障害のある子どもの支援にあたっては、本人の最善の利益を考慮しながら、健やかな育成を支援するため、障害のある子どものライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育、就労支援等の関係機関が連携を図り、一人ひとりに合った切れ目のない支援を提供する体制を構築することが必要です。また、障害の中には、その特性上、周囲に気付かれにくいものもあるため、適切な時期に適切な療育を受けられるよう、障害の早期発見・早期療育体制を充実することも求められています。
- そこで、発達障害のある人やその家族などが、安心して暮らせるよう、強度行動障害など発達障害支援を推進します。
- また、特別な教育的ニーズのある児童生徒への支援の充実を図るため、特別支援教育に係る専門職等の配置を拡充します。
- さらに、発達相談を含む子育てに関する相談体制や一貫した支援体制の充実を図るため、必要となる機能を複合した施設を整備します。

#### 計画事業

発達障害支援の推進		障害者自立支援課	
発達障害のある人やその家族などが、地域で安心して暮らせるようにするため、強度行動障害など発達障害支援の充実や強化を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
ライフサポートファイルの見直し及び利用促進	—	実施	実施
強度行動障害への理解や支援に関する研修の実施	—	2回/年	2回/年
特別支援教育の充実【再掲】		養護教育センター	
特別な教育的ニーズのある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育に係る各専門職の配置を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
専門職（理学療法士）の配置	—	新規配置	新規配置
心理判定員の配置の拡充	56時間/週	配置拡充	配置拡充
特別支援教育指導員の配置の拡充	47人	配置拡充	配置拡充
新東部児童相談所及び発達に係る相談支援機関等の整備【再掲】		東部児童相談所、養護教育センター、障害者自立支援課	
東部児童相談所における老朽化や一時保護児童の増加などの対応及び、ライフステージに合わせた切れ目のない子育てに関する相談支援体制の充実を図るため、児童相談所及び発達に係る様々な相談支援機関等の機能を集積した新たな複合施設の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新東部児童相談所等の整備	基本設計完了 実施設計着手	実施設計	本体工事完了
		機能移転検討	
		新築工事	

### 3-3-4 心の健康づくりへの相談・支援体制の充実

#### 施策の展開

- 千葉市では、「ひきこもり地域支援センター（ひなた）」を設置し、ひきこもりの状態にある本人や家族等への相談支援を実施していますが、相談件数は増加傾向にあり、引き続き専門性の高い相談支援体制を充実させていく必要があります。
- 国の調査結果に基づく試算では本市におけるひきこもりの推計人数は約 12,700 人ですが、センターの令和 7 年度（9 月末現在）の実利用者数は 419 人であり、相談に繋がっていないケースが潜在的に多く存在していると考えられます。
- そこで、SNS 相談やメタバース相談を開始するなど、相談体制の充実を図ることで、悩みを持つ方が相談するきっかけを増やします。

#### 計画事業

ひきこもり相談支援体制の充実		精神保健福祉課	
ひきこもり本人の社会参加や自立を促進するため、SNS 相談を開始するなど本人やその家族への相談支援体制を強化します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
SNS 相談の実施	—	SNS 相談実施	SNS 相談実施
メタバースを活用した支援体制の整備	—	メタバース実証実施	メタバース実証運営開始

# 3-4

## 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる

### 【関連する SDGs の目標】



高齢者見守り活動

### 3-4-1 ともに支え合い、活力ある地域づくりの推進

#### 施策の展開

- 近年、少子高齢化・核家族化の進行、価値観の多様化、共働き世帯・働く高齢者の増加などにより、地縁・血縁で支え合う機能が低下し、人と人とのつながりの希薄化が進んでいるとされています。その一方で、個々が抱える生活課題は複雑化・多様化し、複合的な課題を抱える世帯が顕在化、増加していることから、市民が世代や分野を超えてつながり、支え合う地域共生社会を構築することが必要になっています。
- そこで、活力ある地域づくりを推進するため、市から依頼している業務の棚卸しやデジタル技術の活用などにより、町内自治会事務の負担を軽減し、担い手の確保を図るとともに、町内自治会と多様な主体との連携を促進する等、地域活動の持続可能性を高めます。
- また、動物愛護施策においては、市独自の動物愛護推進員制度を創設し、推進員との関わりを契機として「多様な主体」のメインである動物ボランティアの発掘、育成につなげます。

#### 計画事業

町内自治会業務の負担軽減の推進【再掲】		市民自治推進課	
地域活動への参加のしやすさを向上し、担い手確保を支援するため、業務の棚卸しやデジタル技術の活用などにより、町内自治会の負担軽減を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタルツール展示・相談会	検討	1回/年	1回/年

動物愛護の推進【再掲】		生活衛生課	
動物を取り巻く社会情勢の変化や動物愛護管理行政の課題に対応するため、動物保護指導センターを再整備するとともに、市独自の動物愛護推進員制度を創設し、動物ボランティアの発掘や育成を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
動物保護指導センターの再整備	基本設計 測量・境界確定 土質調査	実施設計	移転完了
		工事 センター移転	
市独自の動物愛護推進員制度の創設	—	制度創設・運営	制度創設・運営

## 3-4-2 包括的な支援体制の構築

### 施策の展開

- 8050問題やダブルケア、ヤングケアラーなど、地域住民の抱える生活課題は複雑化・複合化しています。そのような中においても誰一人取り残さない社会を実現するためには、属性や世代を問わず、あらゆる相談を受け止め、適切な支援につなげる体制を構築する必要があります。
- そのため、様々な事情により生活に困難を抱えている方や周囲のサポートを受けられずに困っている方の生活を立て直し、自立して生活することができるよう、一人ひとりの状況に合わせて、家計の立て直しの支援などを強化します。

### 計画事業

生活困窮者への支援の充実		保護課	
生活に困窮している人の自立を促進するため、相談支援員を増員し、家計改善の支援を強化するとともに、生活保護受給世帯の子どもに対する学習及び生活支援を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
家計改善支援の充実	家計改善支援員7人	2人増	9人
生活保護世帯に対する学習・生活支援の拡充	中学生2・3年生対象	中学生全学年対象	中学生全学年対象
あんしんケアセンターの機能強化と介護人材の育成【再掲】		地域包括ケア推進課	
地域における高齢者やその家族への相談体制の充実を図るため、地域包括ケアシステムの中心的役割を担うあんしんケアセンターの体制を強化するとともに、介護人材の育成を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
プランナーの配置	—	6か所	6か所



## 分野4 子ども・教育

分野目標：夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子どもたちが育つ  
まちを実現します

### 政策体系

#### 4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る

- 4-1-1 妊娠前から子育て期までの支援の充実
- 4-1-2 子育てしやすい保育環境の充実
- 4-1-3 困難な状況にある子どもや家庭への支援の充実
- 4-1-4 児童虐待防止対策の強化
- 4-1-5 障害のある子どもとその家族への支援の充実（再掲）

#### 4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する

- 4-2-1 未来につながる学びの充実
- 4-2-2 学びを支える教育環境の充実
- 4-2-3 学校生活支援の充実
- 4-2-4 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実
- 4-2-5 子ども・若者が社会で考え、行動する力の育成

# 4-1

## 子どもを産み・育てやすい環境を創る

### 【関連する SDGs の目標】



保育所での保育の様子

### 4-1-1 妊娠前から子育て期までの支援の充実

#### 施策の展開

- 千葉市の年少人口（15歳未満）は減少を続けており、2030年には、2020年比で約1万1,800人の減少が見込まれています。未来の社会・地域を担う人材が徐々に減っていくことは、地域社会における魅力や活力の低下につながります。
- そこで、こどもを望む人が、安心して産み育てられる環境をつくるため、在宅の子育て家庭に対する育児・家事の支援内容等を拡充します。
- また、ライフステージに合わせたこどもの発達に関する相談・支援体制の充実を図るため、新たに様々な相談支援機関を集積した複合施設の整備を進めます。

#### 計画事業

在宅の子育て家庭への支援		幼保支援課	
在宅の子育て世帯を支援するため、利用条件の緩和や多胎児を妊娠・出産した一部の家庭に対して利用期間の延長を行い、子育て支援サービスの拡充を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
エンゼルヘルパー派遣事業の支援サービス拡充	実施	多胎児を妊娠・出産し、かつ早産となった家庭を対象にした利用期間の延長 利用条件の緩和（子の入院時の利用/外出支援）	支援拡充
おたふくかぜ予防接種費用の助成【新規】		医療政策課	
おたふくかぜの発症及び重症化を予防するため、予防接種に要する費用を助成します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
おたふくかぜ予防接種の費用助成	—	実施	実施

<b>RSウイルス母子免疫ワクチン予防接種の実施【新規】</b>		<b>医療政策課</b>	
<p>新生児・乳児のRSウイルス感染症発生及びまん延を予防するため、RSウイルス感染症予防接種の定期接種化に伴い、妊婦を対象に予防接種を実施します。</p>			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
定期接種	—	実施	実施

<b>乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の拡充【再掲】</b>		<b>幼保支援課</b>	
<p>全てのこどもの健やかな成長を支援するため、こども誰でも通園制度の実施施設を拡充します。</p>			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
こども誰でも通園制度認可施設数の拡充	26施設	18施設増	44施設

<b>新東部児童相談所及び発達に係る相談支援機関等の整備【再掲】</b>		<b>東部児童相談所、養護教育センター、障害者自立支援課</b>	
<p>東部児童相談所における老朽化や一時保護児童の増加などの対応及び、ライフステージに合わせた切れ目のない子育てに関する相談支援体制の充実を図るため、児童相談所及び発達に係る様々な相談支援機関等の機能を集積した新たな複合施設の整備を進めます。</p>			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新東部児童相談所等の整備	基本設計完了 実施設計着手	実施設計	本体工事完了
		機能移転検討	
		新築工事	

<b>屋内型遊び場の整備【新規・再掲】</b>		<b>幼保支援課</b>	
<p>安全・安心にこどもが遊べる環境を整備するため、未就学児を主な利用対象とした屋内型遊び場整備を進めます。</p>			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
(仮称)子育てひろばの整備 (新東部児童相談所等複合施設内)	基本設計・実施設計 遊び場の内容検討	整備	整備

## 4-1-2 子育てしやすい保育環境の充実

### 施策の展開

- 千葉市では、保育園等の待機児童ゼロを令和2年度（2020年度）から6年連続で達成していますが、施設の老朽化、局所的な保育需要の増加、保育ニーズの多様化など、保育を取り巻く様々な課題に対応する必要があります。
- そこで、良好な保育環境を確保するため、公立保育所の建替え・改修を進めるとともに、民間保育園等の改築・改修を支援します。
- また、潜在的な保育需要に対応するため、民間保育園の整備や幼稚園の認定こども園への移行などの支援を実施するとともに、一時預かりや病児・病後児保育の実施施設の拡充、保育所等に通っていない子どもでも月一定時間まで通園できる制度の拡充など、地域の実情や多様化する保護者のニーズに応じた保育の選択肢の拡充を図ります。
- さらに、保育の質の向上と保護者の負担軽減を図るため、全公立保育所において、主食提供を実施するとともに、紙おむつのサブスクリプションサービスを導入します。
- 加えて、増加する保育需要に対応し、市内で働く保育人材を確保するため、保育士等の修学資金貸付の貸付上限額に市単独の上乗せを行うとともに、新たな返済免除制度を導入します。

### 計画事業

保育施設の建替え・改修		幼保支援課、幼保指導課	
良好な保育環境を確保するため、老朽化した施設の建替えや大規模修繕を支援します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
民間認定こども園による建替え等への助成	6か所	3か所	9か所
民間保育園等改築・改修の助成	改築 5か所 改修 3か所	改築 6か所 改修 1か所	改築 11か所 改修 4か所
ニーズに応じた保育の受け皿の確保		幼保支援課	
潜在的な保育需要に対応し、将来にわたって待機児童ゼロを達成するため、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、認定こども園への移行支援等による保育の受け皿を確保します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
認定こども園への移行支援	54か所	5か所増	59か所
認可外保育施設の認可化移行支援	—	4か所	4か所
小規模保育事業の開設支援	57か所	4か所増	61か所
事業所内保育事業の認可支援	19か所	2か所増	21か所
民間保育園の整備	183か所	16か所増	199か所
開園前及び開園後の賃借料補助	開園前	1件	2件/年
	開園後	2件	2件/年

屋内型遊び場の整備【新規】		幼保支援課	
安全・安心に子どもが遊べる環境を整備するため、未就学児を主な利用対象とした屋内型遊び場整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
(仮称)子育てひろばの整備 (新東部児童相談所等複合施設内)	基本設計・実施設計 遊び場の内容検討	整備	整備
乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の拡充		幼保支援課	
全てのこどもの健やかな成長を支援するため、こども誰でも通園制度の実施施設を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
こども誰でも通園制度 認可施設数の拡充	26 施設	18 施設増	44 施設
多様な需要に対応した保育の充実		幼保運営課、幼保支援課	
多様化する保育ニーズに対応するため、一時預かりや市病児・病後児保育を実施する施設を拡充するとともに、市病児・病後児保育を行う保育士に対して給料加算を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
一時預かりの拡充	77 か所 (一般型 33 か所、 余裕活用型 44 か所)	9 か所増	86 か所 (一般型 36 か所、 余裕活用型 50 か所)
病児・病後児保育の拡充	10 か所	2 か所増	12 か所
市病児・病後児保育を行う 保育士への保育給料加算	—	実施	実施
教育・保育人材の確保及び質の向上		幼保運営課	
増加する保育需要に対応するとともに保育の質を向上させるため、保育士などの修学資金貸付の貸付上限額に市単独上乘せを行い、併せて新たな返済免除制度を導入することで、市内施設で働く保育士を確保します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
修学資金貸付の貸付上限額 への市単独上乘せ	—	実施	実施
民間保育園等における巡回指導員の拡充		幼保指導課	
要配慮児童にとって安全な保育環境を確保するとともに、保育の質を向上させるため、要配慮児童巡回指導員の配置を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
要配慮児童巡回指導員の 配置拡充	2 人	配置拡充	配置拡充

<b>医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備</b>		<b>幼保指導課</b>	
医療的ケアが必要な子どもの多様な保育ニーズに対応するため、公立保育所において医療的ケア児受入に必要な看護師を配置し、受入体制を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
看護師の配置	実施	実施	実施

<b>公立保育所における主食提供</b>		<b>幼保指導課</b>	
保育の質の向上と保護者の負担軽減を図るため、全公立保育所での3歳以上児への主食提供を実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
公立保育所における主食提供の実施	48か所	1か所増	49か所 (全公立保育所)

<b>公立保育所における紙おむつのサブスクリプション（定額利用）の導入</b>		<b>幼保指導課</b>	
保護者、保育者双方の負担軽減を図るため、全公立保育所において、紙おむつのサブスクリプションサービスを導入します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
紙おむつサブスクリプション（定額利用）の導入	27か所	22か所増	49か所 (全公立保育所)

<b>在宅の子育て家庭への支援【再掲】</b>		<b>幼保支援課</b>	
在宅の子育て世帯を支援するため、利用条件の緩和や多胎児を妊娠・出産した一部の家庭に対して利用期間の延長を行い、子育て支援サービスの拡充を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
エンゼルヘルパー派遣事業の支援サービス拡充	実施	多胎児を妊娠・出産し、かつ早産となった家庭を対象にした利用期間の延長  利用条件の緩和 (子の入院時の利用/外出支援)	支援拡充

## 4-1-3 困難な状況にある子どもや家庭への支援の充実

### 施策の展開

- 少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加等、子育て世帯を取り巻く環境が変化する中、家庭環境や経済的な状況等、子ども達が置かれた環境に左右されることなく、健やかに、夢や希望を持って成長できる環境をつくる必要があります。
- そこで、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者に対する相談・支援のさらなる充実を図るため、子ども・若者総合相談センター（Link）の相談員を増員するなど、支援体制の拡充を図ります。
- また、小児がんなど小児慢性特定疾病のある子どもやその家族の孤立感をなくし、社会とのつながりを深めるため、子どもや家族が交流するイベントを開催します。

### 計画事業

子ども・若者総合相談センター（Link）の相談体制の充実		健全育成課	
社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者への相談者支援の更なる充実を図るため、専門職員の配置拡充等により、支援体制を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
相談員の配置拡充	4人	配置拡充	配置拡充
相談体制の整備	固定電話1機	携帯端末導入1機	固定電話1機 携帯端末1機
小児慢性特定疾病児童等の支援		健康支援課	
小児がんなどの小児慢性特定疾病のある子どもやその家族が、他の子どもや家族と交流することで、孤立感をなくし、社会とのつながりを深めるイベントを実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
子どもや家族の交流イベントの実施	—	9回	4回/年

## 4-1-4 児童虐待防止対策の強化

### 施策の展開

- 千葉市における児童虐待対応件数は増加傾向にあり、また、案件の複雑化・困難化が進んでいます。このような中で、虐待を早期に発見し、的確かつ迅速に対応するためには、市全体の虐待対応体制の強化を図る必要があります。
- これまで、児童相談体制を強化するため、新たな児童相談所の整備を進めるとともに、全ての妊産婦や子育て家庭に対し、一体的支援を強化するための仕組みとして、区健康課の母子健康包括支援センターと、区子ども家庭課の子ども家庭総合支援拠点の両機能を統合した、子ども家庭センターを全区に設置し、児童相談所など関係機関との連携のもと、虐待への対応を強化してきました。
- 今後は、児童相談所の体制強化とライフステージに合わせた切れ目のない相談支援体制の充実を図るため、東部児童相談所、養護教育センター、子ども発達相談室、発達障害者支援センター、（仮称）子育て広場、及び地域交流スペースが集積した複合施設の整備を進めるとともに、こどもの権利擁護に配慮した一時保護所を併設した西部児童相談所の整備を進めます。

### 計画事業

西部児童相談所の大規模改修		東部児童相談所	
児童虐待相談対応の件数増加及び複雑・困難化に対応するため、既存施設を改修し、必要な諸室を確保することで、こどもの権利擁護に配慮した一時保護所を併設する西部児童相談所の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
西部児童相談所大規模改修	—	改修整備計画策定	実施設計完了
		基本設計	
		実施設計	
		機能移転検討	
新東部児童相談所及び発達に係る相談支援機関等の整備		東部児童相談所、養護教育センター、障害者自立支援課	
東部児童相談所における老朽化や一時保護児童の増加などの対応及び、ライフステージに合わせた切れ目のない子育てに関する相談支援体制の充実を図るため、児童相談所及び発達に係る様々な相談支援機関等の機能を集積した新たな複合施設の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新東部児童相談所等の整備	基本設計完了 実施設計着手	実施設計	本体工事完了
		機能移転検討	
		新築工事	

## 4-1-5 障害のある子どもとその家族への支援の充実（再掲）

### 施策の展開

- 障害のある子どもの支援にあたっては、本人の最善の利益を考慮しながら、健やかな育成を支援するため、障害のある子どものライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育、就労支援等の関係機関が連携を図り、一人ひとりに合った切れ目のない支援を提供する体制を構築することが必要です。また、障害の中には、その特性上、周囲に気付かれにくいものもあるため、適切な時期に適切な療育を受けられるよう、障害の早期発見・早期療育体制を充実することも求められています。
- そこで、発達障害のある人やその家族などが、安心して暮らせるよう、強度行動障害など発達障害支援を推進します。
- また、特別な教育的ニーズのある児童生徒への支援の充実を図るため、特別支援教育に係る専門職等の配置を拡充します。
- さらに、発達相談を含む子育てに関する相談体制や一貫した支援体制の充実を図るため、必要となる機能を複合した施設を整備します。

### 計画事業

発達障害支援の推進【再掲】		障害者自立支援課	
発達障害のある人やその家族などが、地域で安心して暮らせるようにするため、強度行動障害など発達障害支援の充実や強化を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
ライフサポートファイルの見直し及び利用促進	—	実施	実施
強度行動障害への理解や支援に関する研修の実施	—	2回/年	2回/年
特別支援教育の充実【再掲】		養護教育センター	
特別な教育的ニーズのある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育に係る各専門職の配置を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
専門職（理学療法士）の配置	—	新規配置	新規配置
心理判定員の配置の拡充	56時間/週	配置拡充	配置拡充
特別支援教育指導員の配置の拡充	47人	配置拡充	配置拡充
新東部児童相談所及び発達に係る相談支援機関等の整備【再掲】		東部児童相談所、養護教育センター、障害者自立支援課	
東部児童相談所における老朽化や一時保護児童の増加などの対応及び、ライフステージに合わせた切れ目のない子育てに関する相談支援体制の充実を図るため、児童相談所及び発達に係る様々な相談支援機関等の機能を集積した新たな複合施設の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新東部児童相談所等の整備	基本設計完了 実施設計着手	実施設計	本体工事完了
		機能移転検討	
		新築工事	

## 4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する

### 【関連する SDGs の目標】



ICT 端末を活用した授業の様子

### 4-2-1 未来につながる学びの充実

#### 施策の展開

- 千葉県では、令和 5 年度（2023 年度）に第 3 次学校教育推進計画を策定し、「夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子ども」の育成に向けて、様々な施策に取り組んできたところですが、少子高齢化や ICT を含むテクノロジーの進展など、子どもたちを取り巻く社会環境は変化が著しく、将来の予測が困難で、不確かな時代となっています。このような時代においては、子どもや若者一人ひとりが自ら考え、学び、行動し、将来の生き方を選択していくために必要な力を育むとともに、多様な子どもたちそれぞれの可能性を引き出す効果的な学びや、個々の理解度に応じた教育の提供、安全・安心で質の高い教育環境の充実を図っていく必要があります。
- そのため、子どもたちの興味・関心を引き出し、自分の進路や将来を主体的に考える力を育成するため、民間企業による出前講座などのキャリア教育を推進するとともに、デジタル技術の活用による教育の充実を図るため、GIGA スクール構想に基づく取組みを推進してきました。
- 引き続き、このような取組みを推進するとともに、国際的な場で活躍できるよう基礎的な英語能力の向上を図るため、外国の文化や生活習慣に親しむ体験的な外国語活動と外国語科の充実を図ります。
- また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定校である市立千葉高校において、学校の持つ特色・魅力を更に磨き上げるため、世界で活躍できる科学技術人材を育成するための取組みを実施します。

#### 計画事業

市立高等学校教育の充実		教育改革推進課	
「科学都市ちば」の実現のため、スーパーサイエンスハイスクール指定校である市立千葉高校において、科学の分野に精通した ILT を新たに配置し、外国語指導体制を強化・整備することにより、生徒の外国語運用能力の育成並びに、世界で活躍できる科学技術人材を育成します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
外国人講師（ILT）の配置	—	配置	配置

外国語教育の推進		教育指導課	
児童生徒の英語によるコミュニケーション能力を育成するため、教職員向けに小中学校における英語教育の基本方針を策定することで、授業の質の向上を図るとともに、生成 AI スピーキングソフトの導入により、外国語活動並びに外国語教育の充実を図ります。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
「（仮称）千葉県英語教育スタンダード」の策定・運用	試行版に基づく授業実施 課題整理	試行版に基づく授業実施	全校運用実施
		全校運用実施	
生成 AI スピーキングソフト導入・活用方法検討	実証事業 2 校	実証事業 3 校	全中学校へ導入
		研究発表	
		全中学校へ導入	

## 4-2-2 学びを支える教育環境の充実

### 施策の展開

- 千葉市はこれまで、国に先駆けて少人数学級及び少人数指導の実現や、専科指導の充実を進めてきたところですが、引き続き、更なる教育の質の向上に向けた教職員の資質・指導力の向上と、教職員の働き方改革の両立を図ることが重要です。特に、意欲と資質の高い教員を確保するためにも、教員が真に必要な業務に専念することができる環境の構築に取り組む必要があります。
- そこで、教職員の負担軽減と外国語教育の充実を図るため、外国語の専科指導講師を全小学校に配置します。
- また、個別最適な学びや協働的な学びなど、新しいスタイルの教育を確立するため、軽量端末の導入や学習支援ソフトの採用など、ギガタブの活用を一層推進します。
- さらに、児童生徒の熱中症対策を図るため、市立学校の体育館へ冷暖房設備整備を進めます。
- 加えて、子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の充実を図るため、小・中学校の規模の適正化及び適正配置を推進します。

### 計画事業

教職員の働き方改革		教育職員課	
教職員の負担軽減を図るとともに、児童生徒の教育環境充実のため、学校における働き方改革を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
外国語専科指導のための非常勤講師の配置	20人	配置拡充	配置拡充
スクール・サポート・スタッフの配置	167人	配置拡充	配置拡充
市立学校の体育館冷暖房設備の整備		学校施設課	
近年の猛暑や災害の発生状況を踏まえ、児童生徒の熱中症対策及び避難所としての環境整備の観点から、市立学校の体育館に冷暖房設備を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
市立学校の体育館冷暖房設備の整備	実施設計 59校	基本設計・実施設計 108校	実施設計 全校完了
	整備工事 30校	整備工事 110校	整備工事 140校完了
第4次CABINETの整備		教育改革推進課	
GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒がギガタブを最大限に活用できる最適なネットワーク環境を構築するため、次期CABINET整備計画の策定を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
CABINET整備計画の策定	—	技術動向や現状の問題点等の調査・分析 整備計画策定	CABINET調達契約完了

<b>学校教育における ICT 活用推進</b>		<b>教育センター</b>	
学校教育における ICT 活用の新たなニーズや課題に対応するため、教育センターに専門的な知見を持つ人材を配置します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
ICT 活用教育アドバイザーの配置	—	配置	配置
<b>千葉県少年自然の家における学習環境の整備</b>		<b>健全育成課</b>	
児童・生徒の学習環境の確保及び災害時の連絡手段の確保のため、インターネット環境を強化します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
Wi-Fi 環境の強化・拡充	工事内容決定	アクセスポイント取付工事	工事完了
<b>学校適正規模・適正配置</b>		<b>教育委員会企画課</b>	
子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の充実を図るため、小・中学校の規模の適正化及び適正配置を推進します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
学校適正規模・適正配置の推進	実施方針改訂	実施方針改訂等の周知	実施
		実施	
<b>部活動指導体制の充実【再掲】</b>		<b>保健体育課、教育指導課</b>	
教職員の働き方改革における教員の負担軽減とともに、生徒のスポーツ・文化芸術活動の充実を図るため、部活動へ専門的な指導ができる指導員を配置します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
部活動指導員の配置拡充	50 人	配置拡充	配置拡充

## 4-2-3 学校生活支援の充実

### 施策の展開

- 千葉市ではこれまでも、様々な悩みや課題を抱えた児童生徒への支援を行ってきましたが、社会経済情勢の変化により、子どもや家庭の抱える課題は、一層複雑化しており、一人ひとりに寄り添ったきめ細かい対応が必要です。
- そこで、不登校児童生徒それぞれの実態に応じた学びの場を確保するため、「学びの多様化学校」の開校に向けた取組みを進めるとともに、開校に先立って、学びの多様化学校の教育課程の一部を試行的に実施します。
- また、本市の不登校児童生徒数はこれまでの取組みにより減じているものの、依然として高い状況にあります。
- そこで、保護者にも相談しやすい体制づくりを進めるため、スクールカウンセラー等の専門の相談員を拡充するとともに、不登校生徒児童一人ひとりの実態に応じた学びの場を確保するため、教育支援センター「ライトポート」の機能強化や、フリースクールとの連携強化を進めるほか、新たにフリースクール利用者への支援を実施します。
- ライフステージに合わせた切れ目のない支援体制を構築するため、養護教育センターをはじめ、発達に係る様々な相談支援機関等の機能を集積した新たな複合施設の整備を進めます。また、特別な支援を必要とする子どもたちへの支援を充実させるとともに、多様化・複雑化する相談内容に迅速に対応するため、特別支援教育に係る専門職の配置を拡充するなど、相談体制を整えます。
- 外国にルーツを持つ児童生徒が安心して学校生活に適應できるように支援するため、引き続き、日本語指導通級教室などの支援を実施するとともに、一定期間集中的に日常生活のガイダンスや初期の日本語指導を実施するプレクラスを新たに設置するなど、初期段階における日本語指導体制の充実を図ります。

### 計画事業

学びの多様化学校の整備		学校施設課	
様々な理由で登校することが出来ない生徒に対し、学習機会の保障と社会的自立を目指す、学びの多様化学校を新規に設置するため、教育センターの移転を含めた複合施設として、必要な施設改修を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
既存施設の一部解体 (プール、武道場ほか)	実施設計	解体工事	解体工事完了
校舎及び体育館の改修	—	基本設計	大規模改造工事
		実施設計	
		大規模改造工事	

不登校対策の推進		教育支援課、教育センター	
不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、各種相談員の配置の拡充や、教育支援センター「ライトポート」の機能強化を行うとともに、新たにフリースクール等利用者への支援を実施し、多様な学びの場の確保や教育相談体制の一層の充実を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
スクールカウンセラーの配置時間拡充	小学校：18,800時間 中学校：15,880時間 高等学校：480時間 特別支援学校：420時間	配置時間拡充	配置時間拡充
小学校ステップルームティーチャーの配置拡充	13人	配置拡充	配置拡充
スクールソーシャルワーカーの配置拡充	13人	配置拡充	配置拡充
教育支援センター「ライトポート」の機能強化	教室	小学部6室・中学部6室	小学部7室・中学部7室
	ライトポート指導員	36人	配置拡充
	ライトポートカウンセラー	6人	配置拡充
フリースクール等民間施設利用者への支援	—	実施	実施

外国人児童生徒等への支援体制の充実【新規】		教育指導課	
外国にルーツを持つ児童生徒の増加に伴い、安心して学校生活に適應できるように支援するため、初期段階における日本語指導体制の充実を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
プレクラスの設置	検討	検討・1校実施	1校実施
初期指導のカリキュラムの整備	検討・作成	作成・実施	実施

特別支援教育の充実		養護教育センター	
特別な教育的ニーズのある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育に係る各専門職の配置を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
専門職（理学療法士）の配置	—	新規配置	新規配置
心理判定員の配置の拡充	56時間/週	配置拡充	配置拡充
特別支援教育指導員の配置の拡充	47人	配置拡充	配置拡充

新東部児童相談所及び発達に係る相談支援機関等の整備【再掲】		東部児童相談所、養護教育センター、障害者自立支援課	
東部児童相談所における老朽化や一時保護児童の増加などの対応及び、ライフステージに合わせた切れ目のない子育てに関する相談支援体制の充実を図るため、児童相談所及び発達に係る様々な相談支援機関等の機能を集積した新たな複合施設の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新東部児童相談所等の整備	基本設計完了 実施設計着手	実施設計	本体工事完了
		機能移転検討	
		新築工事	

## 4-2-4 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実

### 施策の展開

- 千葉市では、保護者の仕事と子育ての両立支援及び放課後に子どもが安全・安心に過ごせる環境の整備に取り組んでおり、子どもルーム（放課後児童クラブ）の受入れ枠の拡大等を進めてきた結果、令和6年度から2年連続待機児童数ゼロを達成しています。
- しかし、共働き家庭等の増加に伴い、子どもルームの利用率は年々増加しており、特に、小学校の夏季休業期間などを中心に子どもルームの利用希望者が多い傾向にあることから、引き続き、需要が高い地域に的を絞った施設整備や夏季休業期間中の受入れ枠拡大などに取り組みます。
- また、保護者の就労状況等にかかわらず、希望するすべての児童に安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会を提供するため、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営するアフタースクールを原則として全小学校に導入することを目指して、引き続き、子どもルーム及び放課後子ども教室からアフタースクールへの移行を進めます。
- さらに、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、休日の部活動の地域展開を推進するとともに、部活動の活動内容の充実を図るため、専門的な指導ができる部活動指導員の配置を拡充します。

### 計画事業

子どもルームの受入れ枠の充実		健全育成課	
子どもルームの利用を必要とするすべての児童を受け入れるため、子どもルームの整備・拡充を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
空き教室を活用した子どもルームの整備	—	5か所	5か所
テナントを活用した子どもルームの整備	—	3か所	3か所
学校敷地内への子どもルームの新設	—	1か所	1か所
部活動の地域展開		保健体育課、教育指導課、スポーツ振興課	
将来にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる環境を確保するため、中学校における部活動の地域展開を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
休日における部活動の地域クラブ活動への移行	実証事業実施 課題整理・在り方検討	本格実施	本格実施
部活動指導体制の充実		保健体育課、教育指導課	
教職員の働き方改革における教員の負担軽減とともに、生徒のスポーツ・文化芸術活動の充実を図るため、部活動へ専門的な指導ができる指導員を配置します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
部活動指導員の配置拡充	50人	配置拡充	配置拡充

アフタースクールの充実		生涯学習振興課	
<p>希望するすべての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を通じて社会性や自主性、創造性を育むことができる環境を整備するため、子どもルームと放課後子ども教室を一体的に運営するアフタースクールの導入を進めるとともに、アフタースクールの導入が困難な学校や、導入までに一定以上の期間を要する学校においても、体験・活動の機会の充実を図ります。</p>			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
アフタースクール導入校の拡充	54校	30校増	84校
放課後子ども教室運営の民間委託	3校	6校増	9校
放課後子ども教室の活動支援	20校	4校増	14校 (アフタースクール10校移行)

## 4-2-5 子ども・若者が社会で考え、行動する力の育成

### 施策の展開

- 千葉市では、全ての子どもや若者が、権利を保障され、自分らしくいきいきと健やかに成長し自立することができる社会を実現するため、子どもや若者の意見形成の支援、意見表明機会の確保及びその意見の施策等への反映、社会参画の促進等を定めた「千葉市子ども・若者基本条例」を制定しました。
- そうした中で、令和6年度（2024年度）の全国学力・学習状況調査によると、「地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思いますか」と回答した児童生徒の割合は、小学生6年生が83.5%に対して中学3年生が76.0%となっており、年齢が上がるにつれて割合が低下しています。
- そのため、子どもや若者に対して、社会の一員としての自覚と自立を促し、将来の地域や社会の担い手として成長できるよう、引き続き、「子ども・若者のカワークショップ」や「子ども・若者市役所」など、子どもや若者の社会参画の取組みを推進するとともに、「子ども・若者会議」の開催拡充などにより、子ども・若者の意見表明の機会を確保するほか、地域経済を支える次世代の人材を育成するため、産学官が連携したアントレプレナーシップ教育の充実を図ります。

### 計画事業

子ども・若者の社会参画の推進		子ども企画課、 観光プロモーション課	
子どもや若者の社会参画を推進するため、子どもや若者の意見表明の機会を確保し、まちづくりなどに関する提案を行う場である「子ども・若者会議」の開催を拡充し、施策などへの反映を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
子ども・若者会議の開催	6回/年	10回/年	10回/年
若者主体の魅力等発信	—	動画制作	動画制作
若者の居場所づくり	—	実証事業	実証事業
若者参画による観光プランの造成(再掲)	—	造成	造成

アントレプレナーシップ教育の推進【再掲】		雇用推進課	
自らの力で社会課題の発見や新たな事業・仕事の創出ができる人材を育成するため、産学官の連携を強化しつつ、次世代を担う子どもたちへのアントレプレナーシップ教育の充実を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
高校生海外・国内派遣プログラム	事前国内研修プログラムの実施	高校生海外・国内派遣プログラムの実施2回	プログラムの定着 1年目:国内研修
		事前国内研修プログラムの実施1回	2年目:海外・国内派遣研修の2か年プログラム
プログラム内容の改良	プログラム7件 出前授業9校	プログラムの改良1件/年	プログラムの改良1年/年



## 分野5 地域社会

分野目標：多様性を力に、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します

### 政策体系

5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る

5-1-1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進

5-1-2 多文化共生社会の実現

5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める

5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進

5-2-2 生涯学習を通じた地域活動の推進

# 5-1

## 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る

### 【関連する SDGs の目標】



市内でフェアトレードの意識醸成を目指す

## 5-1-1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進

### 施策の展開

- 人口減少・少子高齢化により労働人口が減少する中においても、地域社会の活力を維持していくためには、年齢・性別・国籍・障害の有無などに関わらず、市民一人ひとりが、それぞれの違いを認め、個性を活かし、自分らしく活躍できる社会をつくるのがより重要であり、互いの理解や社会参画の促進に、より一層取り組んでいく必要があります。
- そのため、国際社会で弱い立場にある人たちの生活改善と自立を目指す国際ナショナル・フェアトレード、地域で生産された農林水産物を、その地域内で消費する暮らしと調和したものづくりと取引を通し、豊かなまちづくりを目指すローカル・フェアトレード、障害のある人が自分らしく働く場として、自立や社会参加の支援に繋げるチャレンジド・フェアトレードを普及・啓発するとともに、フェアトレードタウン認定を目指します。
- また、現在においても出産や介護等を契機に女性が非正規雇用化する問題が続いており、男女の賃金格差についても縮小傾向であるものの、解消には至っていません。一方、デジタル分野で働く女性は、経験年数に比例する形で年収が伸びており、女性の所得向上の実現を期待できる成長分野となっていますが、IT 技術者における女性の割合は、21%に留まっています。そこで、性別による賃金格差や IT 技術者等デジタル人材の不均衡の解消を目指し、デジタルスキルの習得から就労までの一体的な支援を実施します。
- 加えて、女性をめぐる課題は生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など多様化・複合化・複雑化しており、新たな女性支援強化が喫緊の課題となっています。そこで、困難な問題を抱える女性に対して、民間支援団体と連携し、アウトリーチからの相談対応や居場所の確保、地域での自立・定着など、入口から出口まで切れ目のない支援を実施します。

### 計画事業

フェアトレードの推進【新規】		国際交流課、農政課、障害者自立支援課	
開発途上国の生産者の生活改善、地産地消による地域の農業・産業の振興、障害者の自立や社会参加の支援を図るため、公正で持続可能な取引の仕組みであるフェアトレードの普及・啓発を推進します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
フェアトレードタウンの認定取得	認定申請に向けた準備	認定申請	認定取得
フェアトレード産品取扱店の周知	フェアトレード産品取扱店の調査	ポスター・ステッカー・のぼり作成	ポスター・ステッカー・のぼり作成
組織・団体内でのフェアトレードの普及	—	出前講座 3 回/年 販売会 2 回/年	出前講座 3 回/年 販売会 2 回/年
千葉県フェアトレード推進員制度（仮称）の設置	—	制度創設 推進員認定 20 人	推進員認定 20 人

女性活躍の推進		男女共同参画課	
賃金や IT 技術者等デジタル人材における、性別による不均衡の解消を目指し、就労に直結するデジタルスキルの習得から就労までの一体的な支援を実施します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
女性デジタル人材の育成	—	デジタル人材養成講座の開催 1 回/年 企業マッチング支援 1 回/年	デジタル人材育成養成講座の開催 1 回/年 企業マッチング支援 1 回/年

困難な問題を抱える女性への支援		男女共同参画課、こども家庭支援課	
困難女性支援法に基づく支援を実施するため、民間支援団体と連携し、アウトリーチからの相談対応や居場所の確保、地域での自立・定着など、入口から出口まで切れ目のない支援を実施します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
困難な問題を抱える女性への支援	アウトリーチ支援（訪問）、電話及び SNS 相談、居場所の確保	アウトリーチ支援（巡回等）、自立支援・アフターケアの拡充、ステップハウスの運営 関係機関連携会議の開催 2 回/年	困難な問題を抱える女性への支援体制の強化 関係機関連携会議の開催 2 回/年

## 5-1-2 多文化共生社会の実現～外国人住民の地域社会への適応に向けて～

### 施策の展開

- 我が国においては、人口減少により物流、介護、建設、小売、製造業等広い業種で深刻な人手不足が発生しており、今や外国人材がいなければ人材確保がままならず、個々の企業等の事業継続が困難となり、全体として社会サービスの切り上げを受け入れなくてはならない状況にあります。このため、国も労働力不足の解消や国際競争力強化を図るため、在留制度を段階的に見直し・拡充し、外国人材を積極的に受け入れている状況です。
- そうした社会情勢を背景に、本市においても現在、外国人住民は全人口の4%を超える状況であり、今後も外国人住民の増加、多国籍化が進むことが見込まれています。
- 一方で、外国人住民の増加により、地域に様々な課題が発生しており、外国人住民が地域社会に馴染んでいくためにも、日本語や日本の文化、社会制度、生活ルールを学ぶ機会を支援する必要があります。
- そこで、日本人にとっても外国人にとっても安心・安全に暮らせる社会を目指すため、日本に入国して間もない外国人住民が早期に日本や地域社会に馴染むために必要な日本語や生活ルールの知識習得促進のほか、外国にルーツを持つ若者の学習やキャリアの支援を行うとともに、コミュニティ通訳・翻訳サポーターの活動を強化する取組みなどを実施します。

### 計画事業

外国人住民の地域社会への適応		国際交流課	
誰もが安心・安全に暮らせる社会を目指すため、日本に入国して間もない外国人住民が早期に日本や地域社会に馴染むために必要な日本語や生活ルールの知識習得促進のほか、外国にルーツを持つ若者の学習やキャリアの支援を行うとともに、コミュニティ通訳・翻訳サポーターの活動を強化する取組みなどを実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
日本の生活に馴染むためのスタートアップ支援	—	初期日本語学習支援 生活オリエンテーション 12回/年	初期日本語学習支援 生活オリエンテーション 12回/年
外国にルーツを持つ若者の進路・キャリア支援	—	進路ガイダンス・進路相談会 3回/年 高校生年代向け夏季集中日本語講座 10日間/年	進路ガイダンス・進路相談会 3回/年 高校生年代向け夏季集中日本語講座 10日間/年
言葉のサポートと災害時の外国人支援	コミュニティ通訳・翻訳サポーターや災害時語学ボランティアの派遣	コミュニティ通訳派遣 45件増/年 翻訳サポーター派遣 20件増/年 災害時語学ボランティア派遣 12回/年 多言語防災ガイドブック作成	コミュニティ通訳派遣 45件増/年 翻訳サポーター派遣 20件増/年 災害時語学ボランティア派遣 12回/年 多言語防災ガイドブック作成

## 5-2

# 多様な主体の連携によるまちづくりを進める

### 【関連する SDGs の目標】



こども・若者会議

## 5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進

### 施策の展開

- 少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少に伴い、地域の担い手不足が深刻化する中、地域コミュニティを維持していくためには、市民をはじめとした多様な主体が、「ジブンゴト」としてまちづくりに参画できるよう、地域活動への参加のしやすさを確保していく必要があります。
- そのため、町内自治会への加入を促進するとともに、市から依頼している業務の棚卸しやデジタル技術の活用などにより、町内自治会業務の負担軽減を推進します。
- また、次代を担うこどもや若者の意見を表明する機会を確保するとともに、市政への意見反映に取り組むため、「こども・若者会議」を開催し、こどもや若者の社会参画を推進します。

### 計画事業

町内自治会業務の負担軽減の推進		市民自治推進課	
地域活動への参加のしやすさを向上し、担い手確保を支援するため、業務の棚卸しやデジタル技術の活用などにより、町内自治会の負担軽減を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタルツール展示・相談会	検討	1回/年	1回/年
こども・若者の社会参画の推進【再掲】		こども企画課、観光プロモーション課	
こどもや若者の社会参画を推進するため、こどもや若者の意見表明の機会を確保し、まちづくりなどに関する提案を行う場である「こども・若者会議」の開催を拡充し、施策などへの反映を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
こども・若者会議の開催	6回/年	10回/年	10回/年
若者主体の魅力等発信	—	動画制作	動画制作
若者の居場所づくり	—	実証事業	実証事業
若者参画による観光プランの造成(再掲)	—	造成	造成

## 5-2-2 生涯学習を通じた地域活動の推進

### 施策の展開

- これからの時代を見据え、「学びたい」という思いをもった全ての市民が、学びを通して成長できる環境をつくること、また、市民一人ひとりが地域の支え合いに主体的に参画する意欲を高め、個人の学習成果を地域社会の活力や千葉市の持続的な発展につなげていく必要があります。
- そこで、地域の活動拠点となる公民館や図書館の社会教育施設等について、老朽化への対応や計画的な再整備により、学びの場の確保と利便性の向上に取り組めます。

### 計画事業

千城台公民館・若葉図書館再整備			生涯学習振興課、 中央図書館管理課
地域の活動拠点の利便性向上を図るため、老朽化した千城台公民館及び若葉図書館の一体的な整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
複合施設整備	実施設計	建築工事	建築工事、外構工事
		外構工事	
土気公民館・土気市民センター・土気いきいきセンターの再整備			生涯学習振興課、 緑区総務課、高齢福祉課
地域の活動拠点の利便性向上を図るため、老朽化した土気公民館・土気市民センター・土気いきいきセンターの一体的な整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新複合施設の建設	—	基本設計	建築工事
		実施設計	
		建築工事	
土気市民センターの 解体工事	—	解体設計	解体工事完了
		解体工事	



## 分野6 文化芸術・スポーツ

分野目標：市民の文化芸術・スポーツ活動が広がる、創造性豊かなまちを実現します

### 政策体系

6-1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る

6-1-1 文化芸術活動の創出と支援

6-1-2 文化財の保全・活用

6-2 スポーツに親しむ環境を創る

6-2-1 市民スポーツ活動の促進・支援

6-2-2 スポーツを核とした地域の活性化

## 6-1

# 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る

### 【関連する SDGs の目標】



千葉国際芸術祭 2025 (33年後のかえる)

## 6-1-1 文化芸術活動の創出と支援

### 施策の展開

- 文化芸術は、人々の創造性を育み、豊かな人間性を涵養するとともに、心豊かで多様性と活力のある社会を形成するための源泉となるものです。市民が文化芸術にふれ合い、想像力を高め、活動する環境を整えるとともに、まちづくりや人づくりとの連携を図ることにより、社会活動や経済活動の活性化や市民生活を充実させることが期待されます。
- そこで、市民が、芸術活動への参加を通じて創造性を発揮し、まちや地域の魅力・価値を再認識できるよう、千葉国際芸術祭を市民参加型の芸術祭として、トリエンナーレ形式により定期開催するとともに、アーティストや民間企業、地域住民などの多様な主体との連携により、アートの力を活用した地域課題の解決や地域活性化に取り組みます。
- また、市民が多彩な文化芸術に触れるとともに、自身が発表できる機会を提供するため、市民会館を千葉市の文化芸術の中心施設として再整備します。

### 計画事業

アートのまちづくりの推進【新規】		文化振興課	
創造的な地域空間及び地域活動を創出するため、アートを活用した地域課題解決や地域活性化に取り組みます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
緑町アートパークプロジェクト	事業者決定	公園整備等 イベント実施	公園整備完了 イベント実施
花見川団地商店街北街区におけるアーティスト・イン・レジデンス	事業者決定	アーティスト・イン・レジデンス 準備 アーティスト・イン・レジデンス 運営	アーティスト・イン・レジデンス 運営

千葉国際芸術祭の定期開催			文化振興課
まちの魅力を高め、地域の魅力を再認識するため、千葉国際芸術祭を定期開催します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
千葉国際芸術祭の開催	千葉国際芸術祭2025の実施	千葉開府900年企画の実施	トリエンナーレ形式による定期開催
		トリエンナーレ形式による定期開催	

文化芸術活動支援の充実			文化振興課
専門人材を活用して、文化芸術に関する相談や情報の収集・発信など、地域の文化芸術活動に対する支援の充実を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
専門人材を活用した活動支援の充実	—	実施	実施

市民会館の再整備			文化振興課
多彩な文化芸術に触れる機会を提供するため、市民会館の再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
市民会館の整備	基本計画修正	基本計画修正	実施設計
		基本設計	
実施設計			
用地取得	—	用地測量・境界確定	不動産鑑定
		不動産鑑定	

## 6-1-2 文化財の保全・活用

### 施策の展開

- 千葉市は、貝塚では日本初の特別史跡となる加曽利貝塚をはじめとして、多数の文化財を擁するとともに、本市の礎を築いた千葉氏等、豊かな歴史的な背景を有しています。
- 市民がさらにまちへの誇りや愛着を培えるよう、市内に残る貴重な文化財の保存と活用を推進します。
- また、加曽利貝塚の史跡の整備や発掘調査・研究、資料のデジタルアーカイブ化を進めるとともに、加曽利貝塚の魅力と集客力向上に向け、学習・研究活動の拠点と観光資源の両面を持つ特別史跡加曽利貝塚新博物館の整備を推進します。
- さらに、郷土博物館においては、千葉開府 900 年記念千葉氏展など、郷土の歴史を学べる魅力的な企画展を実施します。
- 加えて、市民の郷土に対する理解を深めるため、本市の近現代の歴史的史料を編纂した市史史料編近現代を刊行します。

### 計画事業

文化財の保存・活用の推進			文化財課
市内に残る文化財を先の世代まで守り伝えていくため、千葉市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存と活用を推進します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
文化財の調査	千葉市文化財保存活用地域計画策定	文化財調査	文化財調査実施
加曽利貝塚の史跡整備			文化財課
特別史跡加曽利貝塚の魅力と集客力の向上を図るため、縄文時代の景観復元を目指した史跡の整備を進めます。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
史跡整備(第 2 期)	検討	基本計画策定	史跡整備基本計画策定 北貝塚貝層断面観覧施設 実施設計完了 史跡環境整備実施設計完了
		基本設計	
		実施設計	

特別史跡加曽利貝塚新博物館の整備			文化財課
縄文文化の研究とその成果を市民などに発信する拠点とするため、史跡のガイダンス機能などを備えた、新たな博物館の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新博物館の整備	事業者決定	基本設計	工事
		実施設計	
		工事	
		解体工事	
周辺環境の整備	(連絡歩道橋及び周遊路)測量 不動産鑑定	(連絡歩道橋及び周遊路)用地取得・設計・工事	(連絡歩道橋及び周遊路)工事 (歩道改良)詳細設計
		わくわく検討委員会運営	
		(歩道改良)予備設計	
		(歩道改良)詳細設計	
加曽利貝塚博物館の機能強化			千葉市立加曽利貝塚博物館、文化財課
博物館に求められる社会的役割を達成するため、新たに、博物館資料のデジタルアーカイブ構築、県立中央博物館との連携などに取り組みます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタルアーカイブの構築	—	構築	構築
連携企画展の開催	包括連携協定締結	開催	開催 1回/年
特別史跡指定10周年イベントの開催	—	開催	開催
千葉市史編さん事業の推進			千葉市立郷土博物館
本市のあゆみを示す史料を市民の財産として伝えるため、『千葉市史史料編近現代』の刊行とともに、新しい通史編の編集に着手します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
『千葉市史史料編近現代』第3巻の刊行	編集	編集	刊行
		刊行	
『千葉市史』通史編の編集	編集	編集	編集
郷土理解の促進【再掲】			千葉市立郷土博物館
郷土の歴史について、市民の理解を促進するため、開府900年記念千葉氏展など郷土史に関する魅力的な企画展を開催します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
郷土史に関する企画展の実施	企画展 1回/年	開府900年記念企画展 2回	開府900年記念企画展 2回
		企画展の実施 4回	企画展 2回/年
専門人材の配置	5人	配置拡充	配置拡充

## 6-2

# スポーツに親しむ環境を創る

### 【関連する SDGs の目標】



X Games Chiba 2024

## 6-2-1 市民スポーツ活動の促進・支援

### 施策の展開

- 本市は、温暖な気候、豊かな緑と水辺をなど、スポーツに適した自然環境を持ち、多くのプロスポーツチームの本拠地となっています。こうした恵まれた都市環境を活かし、スポーツを通じて、市民一人ひとりの心身の健全な発展を促し、活力ある質の高い暮らしを支えるために、性別、年齢、障害の有無等にかかわらず、スポーツ・レクリエーションに親しめる環境を整えることが必要です。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機として醸成されたパラスポーツ推進の取組みをレガシーとして発展させるため、パラスポーツの国際大会の開催支援のほか、パラスポーツを身近に親しめる機会の創出やパラスポーツに参加しやすい環境づくりを進めるとともに、パラスポーツを支える人材を育成します。
- 市民がスポーツに親しむ環境の整備として、プールの改築等を進めます。

### 計画事業

パラスポーツの推進		スポーツ振興課	
パラスポーツを推進し、障害の有無に関わらずスポーツに親しむことができるようにするため、パラスポーツを身近で体験・体感できる機会の創出や環境づくりを進めます。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
ワールドトライアスロンパラカップ千葉開催支援	—	開催支援	開催支援
パラスポーツ指導員フォローアップ研修会	1 回/年	2 回/年	2 回/年
市民プールの更新		スポーツ振興課、廃棄物施設整備課	
北谷津新清掃工場整備と一体的に周辺環境を整備するため、北谷津温水プールの建替え工事を行い、市民の健康増進に寄与する施設整備を進めます。また、老朽化した施設の環境を改善し、市民のスポーツ振興・競技力向上を図るため、千葉公園水泳プールの改築を進めます。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
北谷津温水プールの建替え	PFI 導入可能性調査	事業者選定	整備工事
		基本設計	
		実施設計	
		整備工事	
千葉公園水泳プールの改築	基礎調査	基礎調査	基礎調査

## 6-2-2 スポーツを核とした地域の活性化

### 施策の展開

- 千葉市には、千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉、ジェフユナイテッド市原・千葉レディース、アルティéry千葉という、千葉市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームが多くあり、ホームゲーム開催時には、市内外からの多くの観客で賑わいます。引き続き、「みるスポーツ」としてのスポーツ観戦や、トップスポーツチームとふれ合う機会を創出するなど市民のスポーツに親しむ環境を作ることにより、シビックプライドの醸成や地域活性化・賑わいの創出を目指します。
- その中でも、幕張新都心においては、千葉ロッテマリーンズの本拠地である千葉マリスタジアムを、まちとシームレスにつながる「エンターテインメントスタジアム」として再構築するとともに、アルティéry千葉の新たな本拠地となるアリーナ整備の支援を進めます。あわせて、公園、展示施設、商業・宿泊機能など多様な都市機能が集積する幕張新都心全体を舞台に、各施設が役割を分担しながら連携し、試合やイベントに合わせた回遊や滞在を楽しめる環境づくりを進めます。平日の日常利用と週末や試合時の非日常を重ね合わせ、国際大会や合宿、展示会、観光などを連動させることで、幕張新都心の新たな都市イメージの形成につなげます。
- また、市内全域においても、大規模な国際・全国大会の誘致を推進するとともに、その開催を支援し、アーバンスポーツイベントの開催・支援を進めます。こうした取組により、新たなスポーツ文化を育てながら、千葉市全体の都市としての魅力向上や賑わいの創出を図ります。

### 計画事業

トップスポーツチームとの連携によるスポーツに親しむ機会の充実		スポーツ振興課	
若年層がスポーツに親しむとともに、シビックプライドを育むため、トップスポーツチームとの連携によるスポーツに親しむ機会を創出します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
トップスポーツふれあい交流事業	100校/年	3校/年増	109校/年

千葉マリスタジアムの再構築【再掲】		マリスタジアム再整備推進課	
幕張新都心の更なる魅力向上を目指すため、新たなまちづくりの拠点となるスタジアムの再構築を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
千葉マリスタジアムの再構築	検討	基本計画策定	基本設計完了
		基本設計	

アルティéry千葉新アリーナの整備支援【新規】		スポーツ振興課	
スポーツ・文化芸術の良質な鑑賞・体感機会を創出し、県立幕張海浜公園の魅力向上を図るとともに、幕張新都心の防災機能の向上、回遊性・滞在快適性向上を図るため、アルティéry千葉のホームアリーナ整備を支援します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
アリーナ整備	基本協定締結	アドバイザー業務委託	民間事業者による整備
		事業者選定	
		基盤整備負担金	
		民間事業者による整備	

国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援		スポーツ振興課	
スポーツを活用した地域活性化を図るため、国際・全国的な大規模スポーツ大会の開催・支援を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
スポーツ大会の誘致	負担金支援1件/年	負担金支援1件/年	負担金支援1件/年 補助金支援2件/年
		補助金制度創設	
		補助金支援2件/年	

アーバンスポーツの振興		スポーツ振興課	
新たなスポーツ文化の創出や都市の魅力向上を図るため、アーバンスポーツに対する理解の促進と普及啓発を目的として、アーバンスポーツイベントの開催および支援を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
イベントの開催支援	—	1回	1回



## 分野7 都市・交通

分野目標：市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します

### 政策体系

#### 7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める

- 7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進
- 7-1-2 3都心などの魅力向上
- 7-1-3 地域資源の発掘・活用
- 7-1-4 広域連携の深化

#### 7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する

- 7-2-1 持続可能な交通ネットワークの形成
- 7-2-2 道路ネットワークの形成
- 7-2-3 安全・安心な移動環境の整備

#### 7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす

- 7-3-1 スマートシティの推進
- 7-3-2 新しい技術・しくみの社会実装の加速化

#### 7-4 暮らしを支える基盤を創る

- 7-4-1 住環境・生活基盤の充実
- 7-4-2 持続可能な上下水道事業の推進

# 7-1

# 持続可能で魅力あるまちづくりを進める

## 【関連する SDGs の目標】



ウォーカー（千葉公園通りのダンス）

## 7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進

### 施策の展開

- 人口減少や少子高齢化が進む局面においても、変化への対応を図りつつ、充実した都市機能の集積とゆとりある空間、豊かな緑と水辺及び都市の利便さが共存する千葉市を未来に引き継ぎ、持続可能で魅力ある都市空間を育むことが重要です。
- 良好な居住環境の形成を図るため、寒川第一、検見川・稲毛、東幕張地区の土地区画整理事業を推進するとともに、長期にわたり事業化されていない土地区画整理事業の未施行区域について、都市計画の見直しを進めます。
- また、人口減少や少子高齢化が進む中でも、安全で安心な住環境の形成を図るため、空き家・空き地の発生予防、利活用の促進、管理不全な空き家等の解消などに取り組みます。

### 計画事業

土地区画整理事業の事業展開			市街地整備課、建築指導課
社会情勢や周辺状況などの変化に対応するため、長期間にわたり事業化されていない土地区画整理未施行区域について、都市計画の見直しを行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
見直しに向けた地元説明と都市計画手続き	地元説明・調整 7ブロック	地元説明会 7ブロック	14ブロック完了
	都市計画手続き 4ブロック	都市計画手続き 7ブロック	11ブロック完了
代替方策制度設計・運用	検討	制度設計・運用	運用
		狭あい道路拡幅整備 48m	
寒川第一土地区画整理			寒川土地区画整理事務所、公園建設課
良好な居住環境の形成を図るため、建物移転、道路や下水道施設などの公共施設の整備を進めるとともに、換地処分に向けた準備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	4,700m	800m	整備完了
出来形確認測量	5.4ha	12.3ha	測量完了
換地計画の準備	—	換地計画作成	住民理解の醸成
		換地処分へ向けた住民説明会の開催	

検見川・稲毛地区土地区画整理		検見川稲毛土地区画整理事務所	
良好な居住環境の形成を図るため、建物移転、道路、下水道施設などの公共施設の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	14,642m	1,292m	15,934m
東幕張土地区画整理		東幕張土地区画整理事務所、公園建設課	
良好な居住環境の形成を図るため、建物移転、道路、下水道施設などの公共施設の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	4,929m	741m	5,670m
空き家・空き地対策の推進		都市安全課	
安全で安心な住環境の形成を図るため、管理不全な空き家等に対する指導を行うとともに、空き家の発生予防及び利活用の促進に取り組みます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
管理不全な空き家及び空き地の解消(なくす)	空家等所有者の意向把握等調査完了	空家等実態現地調査	調査完了
発生予防・利活用・流通促進(つかう・へらす)	新たな助成制度	検討	実施
	空家等管理活用支援法人	指定方針の決定、募集・決定	運用
	新たな流通促進策	検討	実施

## 7-1-2 3都心などの魅力向上

### 施策の展開

- 政令指定都市である千葉市は、東京圏の主要都市として、また、県内における生活圏・経済圏の中心都市として、県内随一の拠点性を有し、経済・文化等の中枢・中核を担う都市の役割を果たしていく必要があります。そのため、都市構造上枢要な場所として位置する千葉都心、幕張新都心、蘇我副都心の3都心は、周辺都市を含めた圏域の中核として、市域を越える広域的な商業・業務・文化の拠点を目指し、魅力を高めていく必要があります。
- 千葉都心では、中央公園プロムナード沿道をはじめ、駅周辺の多くの建築物が更新の時期を迎えており、今後の商業・業務機能の集積や居住機能、都市景観の在り方などについても、行政・企業・大学・市民などまちに関わる様々な方々と議論・連携しながら、多様な視点から中央公園プロムナードの将来像を検討するとともに、千葉都心全体の将来像を示す「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」を改定し、魅力あるまちづくりを推進します。
- グランドデザインの先行整備プログラムである、千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るための公園全体の再整備や中央公園・通町公園の連結強化のほか、西銀座周辺の再開発を促進するとともに、官民の連携による、居心地の良く歩きたくなるまちなかの形成や、リノベーションまちづくりの推進によりエリアの価値向上に向けた取組みを推進し、まちづくりを支える人材を育成します。また、本市の文化の拠点として JR 千葉駅前へ市民会館の再整備を進めます。
- 「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市として発展を遂げてきた幕張新都心では、中長期的な将来を見据えた「幕張新都心まちづくり将来構想」を策定し、新たなまちづくりの方向性として、既存資源の柔軟な活用・回遊性の向上、市民参加、基盤・持続可能性を位置づけ、多様な関係者による主体的な連携の下でまちづくりを進めてきました。
- 幕張新都心のさらなる魅力向上に向けて、民間の投資と参加を促し実効性のあるまちづくりを進めるための基本的な方針を検討・策定するとともに、千葉マリスタジアム再構築について基本計画の策定に取り組むほか、アルティアリー千葉の新アリーナの整備促進や幕張海浜公園における活性化施設の整備を行います。
- また、これらの整備を見据え、官民連携による回遊性や滞在快適性の向上を図るため、中心地区におけるエリアマネジメントや豊砂地区におけるウォークブルの取組みを進めるほか、国家戦略特区制度を活用した自動運転などの社会実装を目指します。
- 蘇我副都心については、JR 蘇我駅が京葉線、内房線・外房線の結節点であるとともに、商業機能が集積し、また、その立地特性を活かしスポーツ・レクリエーション機能の充実や音楽イベントの開催地となる等、副都心として相応しいまちづくりを進めています。
- 蘇我副都心における交通結節点としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一體的な再編を進めます。

<b>千葉駅周辺の活性化推進</b>	<b>都市計画課</b>
--------------------	--------------

魅力ある千葉都心の形成のため、千葉駅周辺の活性化グランドデザインを改定するとともに、中央公園プロムナードの将来像を検討し、その実現に向けた取組みを推進します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
グランドデザイン改定、 (仮)中央公園プロムナード 周辺のまちづくりビジョン策定	グランドデザイン改定(案)作成 (仮)中央公園プロムナード周辺 のまちづくりビジョン(案)作成 社会実験	計画改定・計画策定  社会実験	グランドデザイン改定 (仮)中央公園プロムナード周辺 のまちづくりビジョン策定 社会実験
中央公園プロムナード再編	駅前広場等概略検討 実証実験検討	基本計画、基本設計、実施 設計  実証実験設計、実証実験	実施設計完了
意見交換の場等 (中プロ・デザインラボ)の開催	意見交換の場開催	中プロ・デザインラボの開催 4回/年	中プロ・デザインラボの開催 4回/年
魅力ある景観の形成	機能や将来像の把握、 課題の共有	現況調査、目標・基準の検討  景観形成推進地区指定 (中央公園プロムナード周辺)	地区基準の運用開始

<b>中央公園・通町公園の連結強化</b>	<b>まちづくり課</b>
-----------------------	---------------

歴史的資産を活かした「千葉らしさ」を感じるまちづくりのため、中央公園や通町公園、千葉神社を一体的に捉え、賑わいと回遊性を高める空間の整備を進めます。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
公園再整備 西区域	中区域再整備完了 東区域再整備着手 対象街区の一部取得	詳細設計  整備  用地取得	整備完了
周辺道路の再整備 (中央21号線ほか)	道路占用物件移設一部完了	実施設計 中央29号線安全対策工事 整備 200m	整備完了

<b>千葉駅北エリアにおける官民連携まちづくり（ウォーカーブル推進）</b>	<b>まちづくり課</b>
--	---------------

多様な魅力のあるまちづくりを実現させるため、千葉公園通りにおいて、公共空間や民地などのオープンスペースを一体的に活用し、多様な人が多様な使い方のできる「居心地の良い空間づくり」を推進します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	関係機関協議完了	道路整備 338m	道路整備完了
未来ビジョンの具現化に向けた エリアプラットフォームの運営	未来ビジョンの策定	エリアプラットフォームの運営	エリアプラットフォームへの 段階的な移行

<b>千葉駅東エリア（西銀座周辺）の再開発</b>	<b>市街地整備課</b>
---------------------------	---------------

千葉駅から中心市街地に賑わいを誘引するため、千葉駅東エリア(西銀座周辺)における再開発を促進します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
再開発の促進	再開発準備組合との協議	実施	実施
市道富士見14号線の 整備	協議・調整	整備	整備完了

官民連携まちづくり（リノベーションまちづくり）の推進		まちづくり課	
民間主導により地域課題の解決や地域経営の改善を図るため、既存資源等を活用し自立した事業を創出する人材の持続的輩出や域内ネットワークの増幅を目指します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
市内各エリアにおける人材発掘及び事業創出	ちば会議・裏ちば会議	2回/年	4回/年
	リノベーションスクール	1回/年	1回/年
	家守セミナー	—	2回/年

千葉公園の再整備【再掲】		緑政課、公園建設課、生涯学習振興課、中央図書館管理課	
千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
やすらぎゾーン整備	やすらぎゾーン（第1期）整備	施設整備	やすらぎゾーン（第2期）施設整備完了
遊びゾーン整備	拡張区域整備	拡張用地引渡し	拡張区域整備完了
		測量・基本設計	
		実施設計	
		施設整備	
		実施設計	実施設計完了
水辺ゾーン整備	—	基本設計・実施設計	多目的広場実施設計完了 関係者との意見交換実施 サウンディング調査完了
		関係者との意見交換・調整	
		サウンディング調査	

市民会館の再整備【再掲】		文化振興課	
多彩な文化芸術に触れる機会を提供するため、市民会館の再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
市民会館の整備	基本計画修正	基本計画修正	実施設計
		基本設計	
		実施設計	
用地取得	—	用地測量・境界確定	不動産鑑定
		不動産鑑定	

幕張新都心のまちづくりの推進		幕張新都心課	
幕張新都心まちづくり将来構想の実現に向け、多様な主体の連携の下、民間主体のエリアマネジメント活動への支援を行うとともに、幕張新都心活性化に向けた方向性や取組みの検討を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
(仮称)幕張新都心まちづくり基本方針の策定	まちづくりの方向性検討(中心地区)	まちづくりの方向性検討(公園・拡大地区等)	(仮称)幕張新都心まちづくり基本方針・アクションプランの策定
		基本方針検討	
		アクションプラン検討	
中心地区エリアマネジメントの支援・連携	エリアマネジメント組織の組成	公共空間利活用実証実験 公共空間利活用調査 公共空間利活用支援	エリアマネジメント組織による主体的な活動の実施
幕張豊砂ウォークブルの推進	民間主体の体制確立 人工芝・ベンチの設置	滞在環境社会実験	民間主体の体制によるウォークブル推進
		滞在環境整備	
		サイン手法等社会実験	
千葉マリスタジアムの再構築		マリスタジアム再整備推進課	
幕張新都心の更なる魅力向上を目指すため、新たなまちづくりの拠点となるスタジアムの再構築を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
千葉マリスタジアムの再構築	検討	基本計画策定	基本設計完了
		基本設計	
アルティアリー千葉新アリーナの整備支援【新規・再掲】		スポーツ振興課	
スポーツ・文化芸術の良質な鑑賞・体感機会を創出し、県立幕張海浜公園の魅力向上を図るとともに、幕張新都心の防災機能の向上、回遊性・滞在快適性向上を図るため、アルティアリー千葉のホームアリーナ整備を支援します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
アリーナ整備	基本協定締結	アドバイザー業務委託	民間事業者による整備
		事業者選定	
		基盤整備負担金	
		民間事業者による整備	

国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進【再掲】			国家戦略特区推進課
国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進により、市民の利便性向上や社会課題の解決を図るとともに関連産業の集積を促進するため、自動運転などの社会実装を目指します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
自動運転車サービスの導入	公道における自動運転車実証実験実施	実証支援	レベル4での自動運転車サービス実装
		実装支援	
国家戦略特区制度の活用推進	11件	3件増	14件
JR稲毛駅東口周辺のまちづくり			市街地整備課
JR稲毛駅東口における慢性的な駅前広場の混雑などの課題を改善するため、駅前広場や周辺交差点の再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
駅前広場改修	予備設計	詳細設計	改修
		用地調整	
		改修	
JR蘇我駅東口駅前地区のまちづくり			市街地整備課
蘇我副都心の交通結節点としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一体的な再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
再開発の検討促進	コーディネート支援	実施	実施

## 7-1-3 地域資源の発掘・活用

### 施策の展開

- 千葉市固有の歴史や文化を市民に知ってもらい、郷土への愛着を醸成し、「千葉市らしさ」を確立するとともに、市外からも「訪れたい」、「住みたい」と思ってもらえる都市を目指し、「加曽利貝塚」、「オオガハス」、「千葉氏」、「海辺」などの地域資源の魅力向上を図り、都市アイデンティティの確立に向けた取組みを進めています。
- 令和8年（2026年）、千葉市は、千葉開府900年の記念期間を迎えます。この機を捉え、本市の持つ自然・文化・歴史・地域の魅力に改めて触れながら、未来のまちづくりのきっかけとするため、多様な主体と連携し、パレードをはじめとした多様な記念事業などを実施し、市民のまちへの誇りと愛着の醸成と主体的なまちづくりへの基盤づくりを進めます。
- また、郷土の歴史への理解を深めるため、『千葉氏』をはじめとする郷土史に関する魅力ある企画展を開催します。
- このほか、「オオガハス」への愛着を感じられるよう魅力の発信や「海辺」の賑わい創出の取組みのほか市内に残る貴重な文化財の保存・活用の推進とともに、特別史跡加曽利貝塚の魅力と集客力の向上のため、史跡や新博物館の整備を進めていきます。

### 計画事業

千葉開府900年を契機とした市民の地域への誇り・愛着の醸成と主体的なまちづくりへの基盤づくり	都市アイデンティティ推進課
--	---------------

まちの魅力を高め、未来のまちづくりのきっかけとするため、多様な主体と連携し、記念パレードのほか、若者が主役となる各種事業を実施します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
開府900年記念事業	準備	実施	実施
都市アイデンティティの定着状況調査	—	実施	実施

郷土理解の促進	千葉市立郷土博物館
---------	-----------

郷土の歴史について、市民の理解を促進するため、開府900年記念千葉氏展など郷土史に関する魅力的な企画展を開催します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
郷土史に関する企画展の実施	企画展 1回/年	開府900年記念企画展 2回	開府900年記念企画展 2回
		企画展の実施 4回	企画展 2回/年
専門人材の配置	5人	配置拡充	配置拡充

オオガハスの魅力発信【再掲】		緑政課	
市の花「オオガハス」をより身近に感じられるようにするとともに、魅力を世界へ発信するため、身近な観賞環境の整備や新たな都市へのオオガハスの分根、国際園芸博覧会への出展を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
オオガハスの 拠点整備	小さな 拠点整備	—	3か所 (緑区・美浜区・若葉区)
	観賞用ア クセスル ート整備	—	1か所
オオガハスで繋がる都市 間交流	実施	新たな分根・再分根先の 開拓6都市	新たな分根・再分根先の 開拓6都市
国際園芸博覧会への出展 によるオオガハスの情報 発信	出展準備	実施	実施

海辺の活性化【再掲】		緑政課、 中央・美浜公園緑地事務所	
やすらぎとにぎわいのある海辺の創出のため、いなげの浜における50周年記念イベントを実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
いなげの浜オープン50 周年記念イベント等の 実施	民間事業者との意見交換 記念イベントの方向性・ 推進体制決定	記念イベント等の実施	記念イベント等の実施

文化財の保存・活用の推進【再掲】		文化財課	
市内に残る文化財を先の世代まで守り伝えていくため、千葉市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存と活用を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
文化財の調査	千葉市文化財保存活用 地域計画策定	文化財調査	文化財調査実施

加曽利貝塚の史跡整備【再掲】		文化財課	
特別史跡加曽利貝塚の魅力と集客力の向上を図るため、縄文時代の景観復元を目指した史跡の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
史跡整備(第2期)	検討	基本計画策定	史跡整備基本計画策定 北貝塚貝層断面観覧施設 実施設計完了 史跡環境整備実施設計完了
		基本設計	
		実施設計	

特別史跡加曽利貝塚新博物館の整備【再掲】			文化財課
縄文文化の研究とその成果を市民などに発信する拠点とするため、史跡のガイドンス機能などを備えた、新たな博物館の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新博物館の整備	事業者決定	基本設計	工事
		実施設計	
		工事	
		解体工事	
周辺環境の整備	(連絡歩道橋及び周遊路)測量 不動産鑑定	(連絡歩道橋及び周遊路)用地取得・設計・工事	(連絡歩道橋及び周遊路)工事 (歩道改良)詳細設計
		わくわく検討委員会運営	
		(歩道改良)予備設計	
		(歩道改良)詳細設計	

加曽利貝塚博物館の機能強化【再掲】			千葉市立加曽利貝塚博物館、文化財課
博物館に求められる社会的役割を達成するため、新たに、博物館資料のデジタルアーカイブ構築、県立中央博物館との連携などに取り組みます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタルアーカイブの構築	—	構築	構築
連携企画展の開催	包括連携協定締結	開催	開催 1回/年
特別史跡指定10周年イベントの開催	—	開催	開催

千葉市史編さん事業の推進【再掲】			千葉市立郷土博物館
本市のあゆみを示す史料を市民の財産として伝えるため、『千葉市史史料編近現代』の刊行とともに、新しい通史編の編集に着手します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
『千葉市史史料編近現代』第3巻の刊行	編集	編集	刊行
		刊行	
『千葉市史』通史編の編集	編集	編集	編集

## 7-1-4 広域連携の深化

### 施策の展開

- 高い交通利便性や拠点性を有する千葉市は、地域における経済や文教の拠点都市としての性格が強いまちであり、しごと、学び、癒しやスポーツの場として圏域内で大きな役割を担っています。今後、社会全体で人口減少局面は避けられない状況のなかで、圏域全体の活力を維持するためには、それぞれの地域の特性を活かしながら、それぞれが持つ強みを生かし、地域を越えて連携する必要性が増しています。
- 関係自治体が連携した東京湾と印旛沼をつなぐ花見川・新川流域一体の河川を活用したまちづくりや近隣自治体と連携する有害鳥獣対策など、千葉市とのつながりの深い周辺自治体との連携を強化します。

### 計画事業

河川を活用したまちづくり【再掲】		都市政策課、緑政課	
新たな賑わいや活力を創出し、河川を市民にとって身近で開かれた空間とするため、河川を活用したまちづくりを推進し、河川空間とその周辺の地域資源を一体的に活用する取組みを進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
花見川の利活用	花見川千本桜緑地の活性化	利活用社会実験実施 トライアルサウンディング 民間活力導入可能性調査	利活用社会実験実施 利活用方針の策定
	花見川サイクリングコースの充実	サイン計画策定	サイン設置 サイン設置完了
都川の利活用	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施 かわまちづくり計画策定に係る調査検討	利活用社会実験実施 かわまちづくり計画策定・登録
鹿島川の利活用	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施

有害鳥獣対策の推進【再掲】			環境保全課、 農政センター農業経営支援課		
有害鳥獣による生活被害及び農作物被害を抑制するため、近隣市との連携した集中捕獲や捕獲用わなの台数を拡充し、生息域の拡大などが見られる獣種を中心に捕獲を強化します。					
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
生活被害関係	捕獲の強化 (イノシシ)	捕獲わな	55基	15基増	70基
		わな動作 監視機器	28基	10基増	38基
		出没地域 周辺の調査の強化	試行実施	36回/年	36回/年
	(アライグマ等)	箱わな	85基	15基増	100基
農業被害関係	捕獲従事者の確保に向けた実践研修		3回/年 (基礎1回、実践2回)	内容拡充 2回/年増	5回/年 (実践3回、実践内容拡充版2回)
	捕獲の強化 (アライグマ等)	電気柵 設置補助	8件	7件/年増	15件/年
		箱わな	地域協議会用 27基	地域協議会用 61基増	地域協議会用 88基
生活・農業共通	周辺市との連携によるイノシシ集中捕獲		—	佐倉市・四街道市・市原市・大網白里市と連携実施	連携実施

## 7-2

# 都市の力を底上げするネットワークを整備する

### 【関連する SDGs の目標】



グリーンスローモビリティ

## 7-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの形成

### 施策の展開

- 千葉市には、JR、京成電鉄、千葉都市モノレールや、幹線的なバス路線等で形成される公共交通ネットワークが、市の中心部から各方面に向けて張り巡らされています。
- 一方で、人口減少・少子高齢化の影響による利用者の減少や運転手不足が進み、公共交通が不便な地域における交通ネットワークの維持・確保といった課題に直面しています。
- そこで、市民生活や経済活動に必要な交通手段を確保するため、路線バスの維持・再編に向けた取組みを推進するとともに、グリーンスローモビリティ等の支え合い交通の導入を進めるほか、国家戦略特区制度を活用し、自動運転などの社会実装を目指します。

### 計画事業

必要な移動手段の確保に向けた取組み		交通政策課	
市民生活や経済活動に必要な交通手段を確保するため、交通事業者などが連携・協働して、路線バスの維持・再編に向けた取組みを推進するとともに、支え合い交通の導入支援など地域の移動手段を維持・確保します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
路線バスの維持・再編	バス路線維持支援 バス路線の再編に向けた 路線見直しの方向性検討	生活交通バス路線維持支援 バス運行便数利用者数調査 バス路線の再編見直し	生活交通バス路線維持、 先行エリアでのバス路線の 再編見直し
運転手不足対策	2種免許取得支援 50人/年	2種免許取得支援 50人/年 新たな運転手確保支援 (就職支援など)	2種免許取得 50人/年 新たな運転手確保支援の 実施
グリーンスローモビリティの 導入	本格運行 3地区 実証調査 1地区	1台	本格運行 4地区
コミュニティバスの収支改善	泉地域、大宮台 コミュニティバス運行	泉地域、大宮台コミュニティバス運行 コミュニティバス収支改善調査	泉地域、大宮台コミュニティバス運行
新たな地域公共交通導入 に向けた社会実験	本格運行 1地区 社会実験 3地区	本格運行 3地区 社会実験 2地区	本格運行 3地区 社会実験 2地区
公共交通の利用促進 (GTFS化支援)	—	5社	5社

国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進【再掲】		国家戦略特区推進課	
国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進により、市民の利便性向上や社会課題の解決を図るとともに関連産業の集積を促進するため、自動運転などの社会実装を目指します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
自動運転車サービスの導入	公道における自動運転車 実証実験実施	実証支援 実装支援	レベル4での自動運転車 サービス実装
国家戦略特区制度の 活用推進	11件	3件増	14件

## 7-2-2 道路ネットワークの形成

### 施策の展開

- 千葉市の幹線道路網は、千葉都心部を中心とした放射・環状道路で構成されていますが、主要幹線道路を中心に交通渋滞が発生し、都市・経済活動に影響を及ぼしています。
- このため、人と物が円滑に移動・交流できる円滑な道路ネットワークの構築に向け、地域間の連携の強化や市のポテンシャルを高める観点から、広域的な道路ネットワークを整備するとともに、地域のまちづくりの観点から、市内ネットワークの形成を図る道路整備を着実に進めるほか、交通の整流化を図る交差点の改良を行います。

### 計画事業

広域ネットワークを構築する道路整備			道路計画課、街路建設課
近隣都市との連携強化及び物流・観光など社会経済活動を支えるため、広域道路ネットワークの道路を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
(仮称)検見川・真砂スマートICの整備	調査・検討	道路整備 400m (オンランプ) 調査検討(オフランプ)	道路整備 400m (オンランプ)
新湾岸道路の整備	調査・検討 一式	調査・検討	調査・検討
国道の整備(直轄事業負担金)	国事業への負担金拠出	継続	国事業への負担金拠出
主要地方道生実本納線の整備(ほか7路線)	用地取得 道路整備 370m (令和7年度事業量)	用地取得 道路整備 2,660m	道路整備 2,660m
市内ネットワークを構築する道路整備			街路建設課、道路建設課
市内拠点間を連携し、市民生活の利便性向上や物流の効率化を図るため、市内ネットワークの道路を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
(都)誉田駅前線(誉田町地区)の整備(ほか9路線)	用地取得 (令和7年度事業量)	用地取得 道路整備 490m	道路整備 490m
交差点の改良			道路計画課、道路建設課
交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交通の整流化を図る交差点改良を実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
調査・設計	5か所 (令和7年度事業量)	6か所	6か所
用地取得	4か所 (令和7年度事業量)	7か所	7か所
整備	1か所 (令和7年度事業量)	5か所	5か所 (供用開始1路線)

## 7-2-3 安全・安心な移動環境の整備

### 施策の展開

- ノーマライゼーションの理念のもと、「共生社会」の実現に向けて、誰もが安全に安心して円滑に移動できることは、市民がいきいきとした暮らしを送るうえで必要であり、千葉市バリアフリーマスタープラン（令和3年（2021年）3月策定）に基づき、市域内のバリアフリー化を推進しています。
- 高齢者や障害のある人など、あらゆる人の移動の円滑化を図るため、駅前広場の乗降施設の整備や歩道のバリアフリー化を行うとともに、狭あいな生活道路を安全で通行しやすい道路環境に改善します。
- また、利用者にとって安全・安心かつ快適な移動を確保するため、生活に密着した道路環境の改善を図ります。
- さらに、環境にやさしく健康にも良い自転車を楽しく安全に、自発的に利用する千葉市らしい生活スタイル「ちばチャリストایل」を実現するため、自転車を活用したまちづくりを推進します。

### 計画事業

生活道路の整備		道路建設課、 道路計画課、街路建設課	
生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、狭あいな生活道路を安全で通行しやすい道路環境に改善します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
調査・設計	1か所 (令和7年度事業量)	5か所	5か所
用地取得	8か所 (令和7年度事業量)	10か所	10か所
整備	6か所 (令和7年度事業量)	10か所	10か所 (供用開始2路線)
自転車を活用したまちづくりの推進		自転車政策課	
環境にやさしく健康にもよい自転車を楽しく安全に利用する千葉市らしい生活スタイル「ちばチャリストایل」を実現するため、自転車を活用したまちづくりを総合的に推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
自転車利活用の拠点設置	16か所	60箇所	76か所
自転車走行環境の整備	自転車レーン等整備 88.9 km	予備設計 1.8km	自転車レーン等整備 97.9km
		詳細設計 3.3km 整備 9km	
放置自転車対策	自転車駐車場等整備 147か所	一時利用駐輪場 10か所	自転車駐車場設備の充実
		自動二輪受け入れ 8か所	
		立体駐輪場整備 1か所	
		駐輪場用地取得 1か所	

安全で安心な道路環境の整備【再掲】		土木保全課	
道路利用者の安全性・利便性の向上及び交通の円滑化を図るため、交通安全施設等の整備や道路のバリアフリー整備などを行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
安全施設の整備	区画線・防護柵等の整備	整備	区画線・防護柵等の整備
通学路の安全対策	通学路交通安全対策プログラムに基づく合同点検及び対策の実施	実施	通学路交通安全対策プログラムに基づく合同点検及び対策の実施
バリアフリー整備	段差解消	整備	整備
	視覚障害者誘導用ブロック	整備	整備
	都賀駅東口エレベーター	設置協議	設置完了
駅前広場の改良	整備	整備	整備
ベンチ設置	整備	120基	120基

## 7-3

# まちの発展にテクノロジーを活かす

### 【関連する SDGs の目標】



自動運転バス

## 7-3-1 スマートシティの推進

### 施策の展開

- 今後、千葉市も人口減少局面を迎える中、まちづくりや地域経済を支える担い手の不足などをはじめとした様々な課題を解決していくためには、ICT等のテクノロジーや官民各種のデータを効果的に活用したスマートシティの推進により、持続可能なまちづくりを進める必要があります。
- そのため、急速に進むデジタル社会に対応できる人材の育成に取り組むとともに、消防団業務や救急業務のほか、教育現場・町内自治会業務におけるDXの推進、スマート農業技術等の先端技術の活用により、業務負担軽減や生産性の向上に取り組み、市民の生活利便性の向上を図ります。

### 計画事業

デジタル人材育成		スマートシティ推進課、 保健体育課、こども企画課	
急速に進むデジタル社会に対応できる人材の育成を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタル人材育成 (こどもや若者の学びの場の創出)	デジタル人材育成プログラム 実施	デジタル人材育成プログラム 学びの場の環境整備	実施・環境整備
消防団業務のDX推進【新規・再掲】		消防局総務課	
消防団員の負担軽減及び活動環境の改善を行うため、消防団業務のDXを推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
消防団アプリの導入	—	仕様検討、試行運用 導入・運用	運用

ICT技術を用いた情報共有資器材の充実【再掲】			警防課	
大規模災害発生時の効率的な災害対応体制の構築のため、映像伝送により情報共有を行うアプリケーションの拡充や電子黒板を導入します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
映像伝送システム	配信用 (同時通信)	7アカウント	継続	7アカウント
	視聴用	8アカウント	6アカウント増	14アカウント
	配信可能	26アカウント	29アカウント増	55アカウント
電子黒板のリース	—	4基	4基	

救急業務のDX推進（ICTを活用した救急業務の推進）【再掲】			救急課	
救急業務の効率化を図るため、マイナ救急を運用するための端末を未配備の救急車に導入します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
マイナ救急の運用（救急車）	27台	7台増	34台	

防火管理講習等のオンライン化【再掲】			予防課	
受講者及び行政の負担軽減・利便性向上を図るため、防火管理講習などを対象にオンライン講習システムを導入します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
オンライン講習システムの導入・運用	Web会議方式による一部講習の実施	導入検討 導入・運用	オンライン運用	

第4次CABINETの整備【再掲】			教育改革推進課	
GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒がギガタブを最大限に活用できる最適なネットワーク環境を構築するため、次期CABINET整備計画の策定を進めます。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
CABINET整備計画の策定	—	技術動向や現状の問題点等の調査・分析 整備計画策定	CABINET調達契約完了	

学校教育におけるICT活用推進【再掲】			教育センター	
学校教育におけるICT活用の新たなニーズや課題に対応するため、教育センターに専門的な知見を持つ人材を配置します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
ICT活用教育アドバイザーの配置	—	配置	配置	

女性活躍の推進【再掲】		男女共同参画課	
賃金やIT技術者等デジタル人材における、性別による不均衡の解消を目指し、就労に直結するデジタルスキルの習得から就労までの一体的な支援を実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
女性デジタル人材の育成	—	デジタル人材養成講座の開催 1回/年 企業マッチング支援 1回/年	デジタル人材育成養成講座の開催 1回/年 企業マッチング支援 1回/年
町内自治会業務の負担軽減の推進【再掲】		市民自治推進課	
地域活動への参加のしやすさを向上し、担い手確保を支援するため、業務の棚卸しやデジタル技術の活用などにより、町内自治会の負担軽減を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタルツール展示・相談会	検討	1回/年	1回/年
スマート農業技術等の活用に向けた農業者への支援【再掲】		農政センター農業生産振興課	
先端技術を活用した生産力向上と農業経営の持続性を図るため、スマート農業技術の普及や付加価値を生み出す農業を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
スマート農業技術体験機会の創出	スマート農業展示会 1回	体験会 2回/年 レンタル品の拡充	体験会 2回/年 レンタル品の拡充
データ活用型農業経営に係る農業技師・農業者育成研修の実施	農業技師向けに実施	実施	実施
スマート農業機器・機械の導入助成	4件/年	1件/年増	5件/年
有機栽培技術の実証	2品目	1品目増	3品目

## 7-3-2 新しい技術・しくみの社会実装の加速化

### 施策の展開

- 急速に進展するテクノロジーを活用し、地域課題の解決や新たな価値の創造につなげていくためには、地域における先駆的な取組みを支援し、社会への実装を促進していく必要があります。
- 国家戦略特区制度を活用し、自動運転などの社会実装を目指すとともに、メニューの活用や新規提案を促進します。

### 計画事業

国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進		国家戦略特区推進課	
国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進により、市民の利便性向上や社会課題の解決を図るとともに関連産業の集積を促進するため、自動運転などの社会実装を目指します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
自動運転車サービスの導入	公道における自動運転車実証実験実施	実証支援 実装支援	レベル4での自動運転車サービス実装
国家戦略特区制度の活用推進	11件	3件増	14件

スマート農業技術等の活用に向けた農業者への支援【再掲】		農政センター農業生産振興課	
先端技術を活用した生産力向上と農業経営の持続性を図るため、スマート農業技術の普及や付加価値を生み出す農業を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
スマート農業技術体験機会の創出	スマート農業展示会 1回	体験会 2回/年 レンタル品の拡充	体験会 2回/年 レンタル品の拡充
データ活用型農業経営に係る農業技師・農業者育成研修の実施	農業技師向けに実施	実施	実施
スマート農業機器・機械の導入助成	4件/年	1件/年増	5件/年
有機栽培技術の実証	2品目	1品目増	3品目

# 7-4

# 暮らしを支える基盤を創る

## 【関連する SDGs の目標】



市営住宅

## 7-4-1 住環境・生活基盤の充実

### 施策の展開

- 千葉市はこれまで、一定の期間に特定の世代が流入し、人口増加に伴う住宅等の整備を実施してきました。その結果、開発から 40～50 年が経過した現在、居住者の高齢化が進むとともに、住宅や関連施設の老朽化が進んでいます。このような状況の中でも、将来にわたって持続可能なまちを実現するため、高経年団地の適切な維持と活性化の支援、住宅セーフティネットの充実、さらに、公共施設の適正管理を推進し、効率的・効果的に行政サービスを提供できる体制を整えることが求められています。
- そこで、高経年住宅団地への若年層の流入を図るため、子育て世帯や新婚世帯などへの転居費用の助成や、民間事業者・専門家等と連携した取組みを行います。また、花見川団地では、団地を拠点とした地域生活圏の活性化を推進するため、UR 都市機構などと連携し、多様な世代が安心して住み続けられる環境整備を進めます。
- さらに、住宅セーフティネットの充実を図るため、住宅確保要配慮者への円滑な入居支援を進めます。
- また、公共施設について、中長期的な視点から、施設の利用状況を踏まえた複合化や集約化等の効率的な利用を進め、千葉中央コミュニティセンター等建物の長寿命化や改修費用の最適化を図ります。

### 計画事業

花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化の推進		都市政策課	
高経年化した花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化を推進するため、UR 都市機構等と連携し、多様な世代が安心して住み続けられる環境整備、花見川などの地域資源の活用に取り組めます。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
多様な世代が安心して住み続けられる環境整備	団地内移動手段の検討	団地内移動手段の検討・社会実験	方策実施の検討
地域資源の活用	花見川と団地商店街の連携実施	花見川サイクリングコースと団地商店街の連携等	花見川サイクリングコースと団地商店街の連携等

若年層の流入による住宅団地の活性化			住宅政策課
高齢化の進む住宅団地の活性化を図るため、若年層の流入を促進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
団地住替え支援	45件/年	5件/年増	50件/年
民間事業者や専門家等と連携した住宅団地活性化	—	モデル事業実施・効果検証 効果検証を踏まえた施策の立案	モデル事業の効果検証を踏まえた施策の立案

住宅確保要配慮者への円滑な入居支援			住宅政策課
住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を図るため、家賃債務保証料などの助成を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
家賃債務保証料等助成	7件/年	5件/年増	12件/年

千葉中央コミュニティセンターの再整備			資産経営課
千葉中央コミュニティセンターの耐震性を確保した上で、引き続き公用及び公共用の建物として利用するため、再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
建物の再整備	改修工事着手	減築大規模改修工事	改修工事完了

## 7-4-2 持続可能な上下水道事業の推進

### 施策の展開

- 市民が良好な環境で生活を送るには、安定した上下水道サービスの供給が欠かせません。しかし、今後、更新時期を迎える施設等が急増することから、計画的な更新が必要となっています。
- そこで、未普及地区の水道管路、汚水管渠の整備を行うとともに、下水道施設における水処理施設の改築・ダウンサイジング・統廃合を考慮し、排水施設の整備、改築を実施し、持続可能な水環境づくりを推進します。
- また、大規模地震にも上下水道機能を維持・確保するため、上下水道施設の耐震化等を進めます。

### 計画事業

水道管路の整備		水道事業事務所、 廃棄物施設整備課	
安全・安心な水を提供するため、水道管路の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
配水管の整備	—	管網計算・実施設計	配水管の整備 2.3km
	—	配水管の整備 2.3km (富田町他)	
下水道未普及地域の解消（汚水管渠の整備）		下水道整備課、 下水道経営課	
衛生的で快適な生活環境の実現と、海や河川などの水質保全を図るため、未普及地区の汚水管渠の整備を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
汚水管渠の整備	下水道整備面積 12,610ha	4.5ha	12,615ha
農業集落排水施設の再編整備		下水道整備課	
農村の生活環境を保全するため、農業集落排水施設の更新を行うとともに、各地区を統合し公共下水道へ接続する施設の再編を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
農業集落排水施設の再編	施設の再編 3 地区	施設の再編 2 地区	施設の再編 5 地区

下水道施設の再構築	下水道施設建設課、 下水道経営課、下水道整備課
-----------	----------------------------

下水道施設の適正な機能を確保するため、老朽化したポンプ場及び浄化センター施設の再構築を、高度処理化や施設のダウンサイジング・統廃合などを考慮しながら行います。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
中央処理区ポンプ場及び 中央浄化センターの再構築	水処理躯体改築4箇所・ 移設3箇所・撤去2箇所 暫定滞水池改造1箇所	水処理施設躯体撤去 (中央浄化) 1箇所	水処理躯体改築4箇所・ 移設3箇所・撤去3箇所 暫定滞水池改造2箇所 雨水滞水池・分配槽撤去2箇所
		暫定滞水池改造 (中央浄化) 1箇所	
		雨水滞水池・分配槽撤去 (中央浄化) 2箇所	
		沈砂池・ポンプ棟実施設計 (中央処理区ポンプ)	

地震時における水道機能の確保（水道施設の耐震化）【再掲】	水道事業事務所
------------------------------	---------

地震発生時の安定給水を確保するため、水道施設の耐震化を進めます。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
管路の耐震化	耐震管率 72.6%	整備 5.84km 管網計算、実施設計	耐震管率 79.2%
施設の耐震診断 (大木戸浄水場)	—	耐震詳細診断	耐震詳細診断

地震時における下水道機能の確保（下水道施設の耐震化）【再掲】	下水道整備課、下水道経営課、 下水道施設建設課
--------------------------------	----------------------------

大規模地震発生時においても、下水道の流下機能や処理機能を確保するため、管渠、処理場・ポンプ場の耐震化およびマンホール浮上防止対策、マンホールトイレの整備を推進します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
管渠の耐震化	742.2km	工事 9.0km	751.2km
処理場・ポンプ場の耐震化	3か所	工事 9か所	12か所
マンホールトイレの整備	172か所	工事 26か所	198か所



## 分野8 地域経済

分野目標：地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します

### 政策体系

#### 8-1 地域の産業を支え・育てる

- 8-1-1 地域経済の新たな担い手の創出
- 8-1-2 持続可能な地域経済の確立に向けた経営力強化
- 8-1-3 雇用の確保・拡大と人材育成の強化
- 8-1-4 産学官等の連携強化

#### 8-2 観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める

- 8-2-1 観光資源の価値向上
- 8-2-2 MICEの推進

#### 8-3 農林業の持続的な発展を支える

- 8-3-1 農業の成長産業化
- 8-3-2 農業の担い手の確保・育成
- 8-3-3 農と森林が持つ多面的機能の保全と活用

# 8-1

## 地域の産業を支え・育てる

### 【関連する SDGs の目標】



産業用地の整備（ネクストコア千葉誉田）  
【令和 5 年（2023 年）9 月】

## 8-1-1 地域経済の新たな担い手の創出

### 施策の展開

- これまで培った都市機能の集積を活かし、今後も千葉市が東京圏の主要都市及び県内における経済の中心として地域経済を牽引していくためには、その原動力となる企業や創業者から選ばれる環境を整備する必要があります。また、地域経済の担い手不足等の課題も顕在化するなか、本市が中心となって圏域全体で経済・雇用を支えていく必要があります。
- そのため、社会情勢や環境の変化に対応しながら本市経済に新たな活力をもたらすため、地域経済の担い手となる創業者の支援や創業そのものへの支援のほか事業成長支援を実施します。
- また、更なる新規企業の誘致や既存企業の追加投資を促進するほか、ネクストコア千葉誉田の利便性向上を図るため、周辺環境を整備するとともに、新たな産業用地確保に向けた取組みを進めます。

### 計画事業

創業及びイノベーション創出の支援		産業支援課	
本市経済に新たな活力をもたらす企業の集積とイノベーションによる新たな価値を創出するため、創業及び事業成長支援を実施します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
アルムナイに対するフォローアップ及び交流機会の提供	—	1 回/年	1 回/年
女性向け特定創業者研修の充実	1 コース/年	1 コース/年増	2 コース/年
起業家海外展開実践研修の実施	国内研修の実施	海外研修の実施 5 者	海外研修の実施 5 者
企業立地の促進		企業立地課	
更なる雇用の創出や税源涵養を図るため、市外企業の新規立地及び市内企業の追加投資を促進します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
企業立地促進事業支援（補助制度、融資制度）	465 件	66 件増	531 件

産業用地の整備		企業立地課、 道路計画課、道路建設課		
更なる企業の進出ニーズに応えるため、新たな産業用地の確保とネクストコア千葉誉田周辺の交通利便性の向上を図ります。				
取組項目		令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
新たな産業用地の確保	第 1 期 ネクストコア 千葉生実	造成工事開始	造成工事	供用開始
	次期産業用地	整備検討	公募 許認可手続	造成工事
ネクストコア千葉誉田 周辺道路	高田 IC	フル IC 化整備 (道路整備 3 工区中 2 工区整備)	フル IC 化 整備	フル IC 化完了・供用開始
	大膳野町 誉田町線・ 誉田町 264 号線	用地取得	用地取得	用地取得

## 8-1-2 持続可能な地域経済の確立に向けた経営力強化

### 施策の展開

- 千葉市の地域経済は、市内企業の持続的な発展・成長に支えられています。しかし、人口減少・少子高齢化の進展により、地域市場の規模が縮小し、また、経営者の高齢化や後継者不足等により、事業継続や経営環境がますます厳しくなっていくことが見込まれるため、本市が中心となって圏域全体で経済を支えていく必要があります。
- そこで、地域商業の維持を図るため、意欲ある商業者を支援するほか、M&A 起業による創業希望者の事業引継ぎを支援します。
- また、公設市場として生鮮食料品等の安定的な供給を行うため、老朽化した地方卸売市場の再整備を推進します。

### 計画事業

事業者の販売力向上への支援		産業支援課	
地域商業の維持を図るため、意欲ある商業者を支援します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
販売力向上支援の強化	販売力向上支援	制度拡充 助成 6 件	制度拡充 助成 6 件
事業承継及び創業者への支援		産業支援課	
事業承継による M&A 起業を推進するため、創業希望者の事業引継ぎを支援します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
事業承継による創業者の支援	—	1 者/年	1 者/年
地方卸売市場の再整備		地方卸売市場	
将来にわたり市民及び千葉経済圏へ生鮮食料品を安定供給するため、老朽化した施設の再整備を推進します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
市場施設の再整備	検討	事業者公募・選定 調査・設計	再整備の着工
創業及びイノベーション創出の支援【再掲】		産業支援課	
本市経済に新たな活力をもたらす企業の集積とイノベーションによる新たな価値を創出するため、創業及び事業成長支援を実施します。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
アルムナイに対するフォローアップ及び交流機会の提供	—	1 回/年	1 回/年
女性向け特定創業者研修の充実	1 コース/年	1 コース/年増	2 コース/年
起業家海外展開実践研修の実施	国内研修の実施	海外研修の実施 5 者	海外研修の実施 5 者

## 8-1-3 雇用の確保・拡大と人材育成の強化

### 施策の展開

- 千葉市は、高い交通利便性と産業集積により、市内外の人々にとっての就労の場として、大きな役割を担っています。しかし、労働力人口の減少による人手不足は、市内中小企業においても課題となっており、企業側の人材確保・育成に関するノウハウを培う必要があります。
- そのため、就職氷河期世代をはじめとした幅広い世代の多様な求職者の就労・転職を支援するとともに、市内企業の経営基盤強化につなげられるよう、資格取得費用や人材育成に係る研修費用などの人材確保・定着支援に取り組みます。
- また、次世代の産業人材・地域経済の担い手を育成するため、産学官の連携を強化し、アントレプレナーシップ教育の充実を図ります。

### 計画事業

就職氷河期世代をはじめとした求職者の就労・転職支援			雇用推進課
就職氷河期世代をはじめとした幅広い世代の多様な求職者の就労・転職を後押しするため、就職活動に必要な基礎知識に関する講座と就労相談などを一体的に行う伴走型支援に取り組みます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
就活スクールの実施拡充	実施場所 1か所 実施回数 2期/年	実施場所 1か所増 実施回数 1期/年増	実施場所 2か所 実施回数 3期/年
市内企業の人材確保支援			雇用推進課
企業における人材確保と人材定着を図るため、資格取得費用や人材育成に係る研修費用などを助成するとともに、高校生向けのセミナーを開催します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
人手不足業種の資格取得費用助成	50件/年	10件/年増 対象資格の拡充	60件/年 対象資格の拡充
中小企業の研修費用助成	通常支援 10件/年 拡充支援 20件/年	制度の見直し 見直し後の拡充支援 20件/年	制度の見直し 見直し後の拡充支援 20件/年
高校生向けキャリア形成支援	—	セミナー開催 2回/年	セミナー開催 2回/年
アントレプレナーシップ教育の推進			雇用推進課
自らの力で社会課題の発見や新たな事業・仕事の創出ができる人材を育成するため、産学官の連携を強化しつつ、次世代を担う子どもたちへのアントレプレナーシップ教育の充実を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
高校生海外・国内派遣プログラム	事前国内研修プログラムの実施	高校生海外・国内派遣プログラムの実施 2回 事前国内研修プログラムの実施 1回	プログラムの定着 1年目:国内研修 2年目:海外・国内派遣研修の2か年プログラム
プログラム内容の改良	プログラム7件 出前授業9校	プログラムの改良 1件/年	プログラムの改良 1年/年

## 8-1-4 産学官等の連携強化

### 施策の展開

- 人口減少・少子高齢化や、人々のライフスタイルの変化等により、地域課題は多様化・複雑化しており、行政だけでなく、民間企業や大学等が持つ知見を活用し、多様な主体の連携により、解決に取り組む必要があります。
- 地域課題や行政課題の解決に向けて、産学官の連携を強化し、健康づくりやアントレプレナーシップ教育事業を実施します。

### 計画事業

青年期・壮年期等の健康な食習慣づくり【再掲】			健康推進課
青年期・壮年期等の誰もが健康な食習慣を獲得するよう促すため、産学官などが協働し効果的な啓発を検討・実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
健康な食習慣づくりに資する商品化や啓発	—	媒体作成 2回/年	媒体作成 2回/年
アントレプレナーシップ教育の推進【再掲】			雇用推進課
自らの力で社会課題の発見や新たな事業・仕事の創出ができる人材を育成するため、産学官の連携を強化しつつ、次世代を担う子どもたちへのアントレプレナーシップ教育の充実を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
高校生海外・国内派遣プログラム	事前国内研修プログラムの実施	高校生海外・国内派遣プログラムの実施 2回	プログラムの定着 1年目:国内研修
		事前国内研修プログラムの実施 1回	2年目:海外・国内派遣研修の2か年プログラム
プログラム内容の改良	プログラム7件 出前授業9校	プログラムの改良 1件/年	プログラムの改良 1年/年

## 【関連するSDGsの目標】



幕張新都心

## 8-2-1 観光資源の価値向上

## 施策の展開

- 千葉市は成田空港、東京都心からともに近いという地理的優位性を有しているほか、日本最大級のコンベンション施設である幕張メッセを擁し、東京湾に面した日本一の長さを誇る人工海浜や内陸部の緑豊かな里山などの自然にも恵まれています。また、プロスポーツ観戦、スポーツイベント、音楽フェス、コンベンション等で多くの人を訪れるまちです。
- 一方で、認知度の高い観光資源の不足等の課題もあることから、本市を来訪される方々に本市を宿泊先として選んでいただくとともに、滞在時間の延長を促進する取組みが必要であり、今後、本市ならではの地域資源の磨き上げや市内外の事業者と連携した新たな観光コンテンツの造成を進めていく必要があります。
- また、外国人観光客の増加に向けたプロモーションや夜間の賑わい創出のためのナイトタイムエコノミーを推進します。

## 計画事業

国内向け観光プロモーションの推進		観光プロモーション課	
交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため、本市特有の地域資源の磨き上げ及び効果的な情報発信を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
異業種連携による観光コンテンツの造成	3件/年	1件/年増	4件/年
スポーツツーリズムの推進	—	サポーターおもてなし事業の実施	サポーターおもてなし事業の実施
グリーンツーリズムの推進	イベント開催・出展 2回/年	サイクリングマップの改訂 イベント開催・出展回数 1回/年増	千葉県里山サイクリングマップの改訂 イベント開催・出展 3回/年
若者参画による観光プランの造成	—	造成	造成

インバウンドの推進		観光プロモーション課	
外国人観光客の増加による地域経済の活性化を図るため、データ分析などを踏まえた、コンテンツの造成や効果的な情報発信を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
インセンティブ施策の強化 (団体旅行者)	インバウンド団体バスツアー造成支援金交付数 30件/年	OTAサイトでの市内ツアー販売支援事業 15件	OTAサイトでの市内ツアー販売支援事業 5件/年
インバウンド向けプロモーションの実施	千葉県観光振興取組方針 (仮称)の策定	取組方針に基づく プロモーション施策の検討 プロモーション施策の実施	プロモーション施策の実施

ナイトタイムエコノミーの推進		観光プロモーション課	
魅力のあるナイトコンテンツを市内に増やすため、街の課題や強み、ポテンシャルを把握するとともに、専門知識を有するアドバイザーを活用します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
文化資源を活用したナイトコンテンツ創出	—	調査	文化資源を活用したナイトコンテンツ創出 1件
		文化資源を活用したナイトコンテンツ創出 1件	
ナイトコンテンツの魅力・集客力の維持向上のためのアドバイス機会の提供	—	アドバイザー派遣 50件	アドバイザー派遣 50件

## 8-2-2 MICEの推進

### 施策の展開

- これまでも各種支援施策によりMICEの誘致を図っていますが、今後もMICE開催都市として選ばれ続けるためには、時勢を捉えた効果的な支援を実施する必要があります。
- MICEの開催を通じた地域経済の活性化を図るため、アフターMICEへの支援の強化を行うとともに、ビッグデータの収集・活用により市内観光客の動向を調査分析し、その結果に基づいた確かな観光施策を展開します。

### 計画事業

MICE誘致へ向けた開催支援及び効果的な観光施策展開のための観光ニーズの把握		観光MICE企画課	
MICEの開催を通じた地域経済の活性化を図るため、アフターコンベンション補助を拡充するとともに観光動向分析を実施し、観光資源の磨き上げや、効果的なPRにつなげます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
アフターコンベンション補助の拡充および造成・PR	—	補助拡充	補助拡充
		造成・PR	
ビッグデータの活用による観光客動向分析	—	分析結果を踏まえた取組み	観光客動向分析実施

# 8-3

## 農林業の持続的な発展を支える

### 【関連する SDGs の目標】



インキュベーションファームでの研修（農政センター）

## 8-3-1 農業の成長産業化

### 施策の展開

- 本市の農業経営体は減少傾向にあり、農業従事者の約7割が65歳以上、約3割が75歳以上と、高齢化が著しく、今後も農業従事者の減少が見込まれています。そのため、スマート農業技術等の先端技術の活用や農産物の高付加価値化などにより、生産力や販売力を強化し、農業の収益性を高めるとともに、農業の担い手を確保し、農業の持続性を高めて行く必要があります。
- そこで、市民が誇れる食のブランド「千」を確立し、ブランド認定品の充実や認知度を向上させ、市内産農畜産物や加工品の高付加価値化を図り、販路拡大を進めます。
- また、環境への負荷を軽減した農業への支援を行うとともに、「耕畜連携」の推進や乳用後継牛の確保に向けた支援により、畜産農家の経営向上や持続性確保を図ります。
- さらに、経営規模拡大のほか、高齢化等にも対応できる農作業の効率化や生産性の向上が図れるスマート農業技術の普及を図り、農業者の所得向上を目指します。

### 計画事業

食のブランド化の推進		農政課	
市民が誇れる千葉市の食のブランド「千」を確立するため、ブランド認定品の創出を支援するとともに、プロモーション活動の支援などによる認知向上や首都圏マーケットでの販路の拡大を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
販路拡大支援	カタログギフト制作	有力店での販売会 1回/年	有力店での販売会 1回/年
		カタログギフトの自走 バイヤー・消費者ツアー 各1回/年	カタログギフトの自走 バイヤー・消費者ツアーの 実施 各1回/年
ブランド認知度向上	認定証授与式及び販売会 の実施 プロモーション支援 5件/年	認定証授与式&販売会の 規模拡大 プロモーション支援 5件/年増	認定証授与式&販売会の 規模拡大 プロモーション支援 10件/年
認定品の創出支援	6次産業化商品開発補助 1件/年	6次産業化商品開発補助 1件/年増	6次産業化商品開発補助 2件/年

環境負荷軽減に資する農業技術の振興			農政センター農業生産振興課
農業に由来する環境への負荷軽減を図るため、環境負荷を軽減した農業への支援を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
環境保全型農業直接支払交付金の交付	7ha	13ha/年増	20ha/年

持続的な畜産の推進【新規】			農政センター農業生産振興課
畜産農家の持続性確保と経営向上を図るため、「耕畜連携」を推進するとともに、乳用後継牛の確保に向けた支援を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
耕畜連携の推進	スキーム検討	モデル事業の実施 耕畜連携の実装	耕畜連携の実装
飼料生産用機械の導入助成	—	2台	2台
預託料金負担軽減助成	40頭/年(国補助)	40頭/年(市単)	40頭/年(市単)

スマート農業技術等の活用に向けた農業者への支援			農政センター農業生産振興課
先端技術を活用した生産力向上と農業経営の持続性を図るため、スマート農業技術の普及や付加価値を生み出す農業を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
スマート農業技術体験機会の創出	スマート農業展示会 1回	体験会 2回/年 レンタル品の拡充	体験会 2回/年 レンタル品の拡充
データ活用型農業経営に係る農業技師・農業者育成研修の実施	農業技師向けに実施	実施	実施
スマート農業機器・機械の導入助成	4件/年	1件/年増	5件/年
有機栽培技術の実証	2品目	1品目増	3品目

## 8-3-2 農業の担い手の確保・育成

### 施策の展開

- 令和2年（2020年）の千葉市の農業経営体は911経営体で、5年前に比べ213経営体減少するなど、深刻な状況です。そのような中で、農業の持続性を確保するためには、意欲ある担い手を確保・育成していく必要があります。
- 本市農業をけん引する意欲ある担い手を確保するため、施設整備助成等による有力農業法人の戦略的誘致や、未来の農業の担い手となる新規就農者育成に向けた研修実施・初期投資費用への助成を行うほか、耕作放棄地の発生防止と解消を促進するため再生費用を助成し、新たな担い手への農地集約を促進します。
- また、経営規模拡大や農作業の効率化・生産性の向上が図れるスマート農業技術の普及を推進し、農業の担い手の確保と農業者の所得向上を目指すほか、農福連携の取組みに向けた支援を実施し、新たな担い手の確保につなげ、農業経営の安定化を目指します。

### 計画事業

農業法人の誘致		農地活用推進課	
市外で展開する有力農業法人等を誘致し、本市農業をけん引する意欲ある担い手を確保するため、施設整備・機械導入に係る費用を助成します。また、耕作放棄地に参入する場合、再生費用を助成し農地の流動化を促進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
農業法人の誘致支援制度の拡充	誘致支援の実施	耕作放棄地再生費拡充	耕作放棄地再生費拡充
耕作放棄地の再生と利用促進		農地活用推進課、 農政センター農業生産振興課	
耕作放棄地の再生と発生の抑止を図るため、耕作放棄地の再生に係る費用の助成額を拡充するとともに、大型草刈機の更新・貸出等を行うことで、農地の保全や流動化を促進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
耕作放棄地整備事業の助成上限額拡充	助成の実施	上限額拡充	上限額拡充
大型草刈り機の更新・貸出による耕作放棄地化の防止・再生	—	更新1台 耕作放棄地化の防止・再生 1ha/年	大型草刈機の更新1台 耕作放棄地化の防止・再生 1ha/年
緑肥作物の導入促進による農地の保全	緑肥作物71ha/年	緑肥作物9ha/年増	緑肥作物80ha/年
未来の青年農業者の確保・育成		農政センター農業経営支援課、 農政課	
未来の農業の担い手を確保・育成するため、新規就農者を育成する研修を拡充するとともに、新規就農者の施設整備・機械導入に係る費用の助成を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
ニューファーマー育成研修の拡充	実施	研修構成の見直し ・内容の拡充	研修内容の拡充
施設・機械設備等の導入及び改修費用助成拡充	実施	制度要件変更 助成額拡充	助成額拡充
(仮称)ミライの千葉市農業ナビ	—	試行・実施	実施

スマート農業技術等の活用に向けた農業者への支援【再掲】		農政センター農業生産振興課	
先端技術を活用した生産力向上と農業経営の持続性を図るため、スマート農業技術の普及や付加価値を生み出す農業を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
スマート農業技術体験機会の創出	スマート農業展示会 1回	体験会 2回/年 レンタル品の拡充	体験会 2回/年 レンタル品の拡充
データ活用型農業経営に係る農業技師・農業者育成研修の実施	農業技師向けに実施	実施	実施
スマート農業機器・機械の導入助成	4件/年	1件/年増	5件/年
有機栽培技術の実証	2品目	1品目増	3品目

農福連携の推進【再掲】		障害者自立支援課、 農政センター農業経営支援課	
障害のある人が、担い手が不足する農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持った社会参画を実現するため、障害者施設と農業者を支援し、農福連携を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
農福連携を行う障害者施設への支援	—	奨励金 5件/年	奨励金 5件/年
農福連携を行う農業者への支援	—	奨励金 5件/年	奨励金 5件/年

## 8-3-3 農と森林が持つ多面的機能の保全と活用

### 施策の展開

- 農や森林は、食料を安定的に供給する役割や、水源の涵養、土壌の保全、災害防止、景観形成など、貴重な資源としての活用のみならず、市民に憩いや潤いを与えるものとしての様々な効果が期待されています。
- そこで、森林を適切に保全管理するため、保全管理を行う組織を支援するとともに、計画的な森林整備を行います。
- また、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、捕獲用箱わなの貸出台数を増やすとともに、捕獲に関する研修会の充実を図ります。

### 計画事業

緑農住区開発土地基盤整備の推進			農政課、下水道整備課
都市近郊農業の生産基盤と一体的に良好な住宅用地の創出を図るため、周辺道路の整備を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	道路 1,471m	下水道施設整備 道路 160m	道路 1,631m
地域森林の保全管理			農政センター農業経営支援課
森林の適正管理のため、放置竹林対策に取り組む活動団体に対し、活動に係る費用助成を拡充するとともに、計画的に間伐、人工造林、植栽などの森林整備を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
千葉市森林振興ビジョンの策定とこれに基づいた森林整備	—	基礎調査及び森林評価 施業内容設計 森林整備	森林整備
放置竹林対策	活動組織支援 2組織	竹粉碎機貸出の実施 活動組織用粉碎机 購入補助 3台 活動組織支援 2組織増	竹粉碎機貸出の実施 活動組織用粉碎机 購入補助 3台 活動組織支援 4組織

有害鳥獣対策の推進【再掲】			環境保全課、 農政センター農業経営支援課		
有害鳥獣による生活被害及び農作物被害を抑制するため、近隣市との連携した集中捕獲や捕獲用わなの台数を拡充し、生息域の拡大などが見られる獣種を中心に捕獲を強化します。					
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
生活被害関係	捕獲の強化 (イノシシ)	捕獲わな	55基	15基増	70基
		わな動作 監視機器	28基	10基増	38基
		出没地域 周辺の調査の強化	試行実施	36回/年	36回/年
	(アライグマ等)	箱わな	85基	15基増	100基
農業被害関係	捕獲従事者の確保に向けた実践研修		3回/年 (基礎1回、実践2回)	内容拡充 2回/年増	5回/年 (実践3回、実践内容拡充版2回)
	捕獲の強化 (アライグマ等)	電気柵 設置補助	8件	7件/年増	15件/年
		箱わな	地域協議会用 27基	地域協議会用 61基増	地域協議会用 88基
生活・農業共通	周辺市との連携によるイノシシ集中捕獲		—	佐倉市・四街道市・市原市・大網白里市と連携実施	連携実施

# 卷末資料

## 重要目標達成指標（KGI）・重要業績評価指標（KPI）について

総論4（3）「計画の進行管理及び評価」で示したとおり、千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略が、基本計画及び実施計画と統合されたことを踏まえ、第2次実施計画では、千葉市基本計画で掲げる「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」の実現に向け、分野ごとに「ゴール(目標)」を設定しました。また、「ゴール(目標)」の到達度を測る重要目標達成指標（KGI）と、その到達に資する要素を「構成因子」とし、重要業績評価指標（KPI）を設定しました。（主な事業については、計画の各論を参照）

基本計画と地方創生の取組みとの一体的な展開を図るため、「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」を踏まえた総合的かつ戦略的なまちづくりを推進します。

### 全体のゴール

#### 「みんなが輝く、都市と自然が織りなす・千葉市」の実現

指標	生活満足度（Well-being 指標）11段階評価（0～10）のうち6以上を選択する人の割合
目標値	基本計画終了時（2032年度末） 80%以上
現状値	74.3%（2025年）

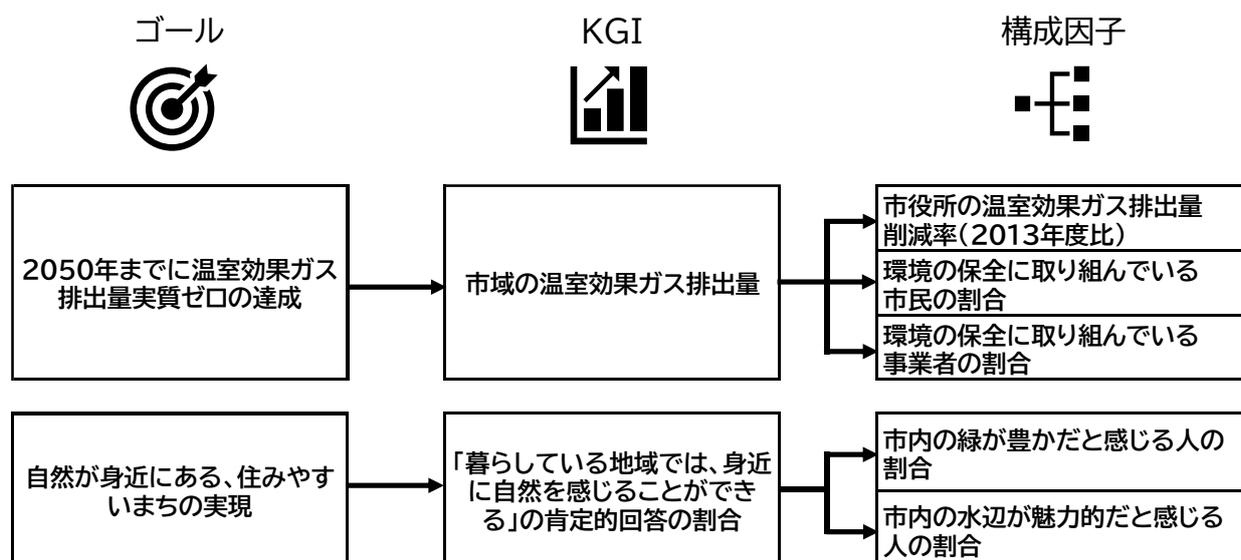
## 分野1 環境・自然

分野目標：気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します

ゴール①：2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロの達成

ゴール②：自然が身近にある、住みやすいまちの実現

種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末	
KGI	市域の温室効果ガス排出量	t-CO <sub>2</sub>	1,329 R3(2021)	1,178 R7(2025)	所管課集計
構成因子	KPI	市役所の温室効果ガス排出量削減率 (2013年度比)	4.4 R5(2023)	41.2 R9(2027)	所管課集計
	KPI	環境の保全に取り組んでいる市民の割合	68.9	89.6	所管課集計
	KPI	環境の保全に取り組んでいる事業者の割合	56.5	85.5	所管課集計
KGI	「暮らしている地域では、身近に自然を感じるができる」の肯定的回答の割合	%	28.9	50.3	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
構成因子	KPI	市内の緑が豊かだと感じる人の割合	77.8 R3(2021)	81.7	緑と水辺のまちづくりプラン2023
	KPI	市内の水辺が魅力的だと感じる人の割合	48.3 R3(2021)	56.0	緑と水辺のまちづくりプラン2023



## 分野2 安全・安心

分野目標：災害など様々なリスクに対応し、安全・安心に暮らせるまちを実現します

ゴール①：自然災害に対し、直接死と関連死を最大限防ぐ

ゴール②：市民が治安が良いと思えるまちの実現

種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末	
KGI	地震や風水害等の災害など、さまざまなリスクに対応した安全・安心への備えが市内にあると感じる人の割合	%	54.3 R3(2021)	70.7	千葉市まちづくりアンケート
構成因子	KPI	「私の暮らしている地域では防災対策がしっかりしている」の肯定的回答の割合	%	26.5	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
	KPI	千葉市の治安が良いと感じる人の割合	%	82.4	所管課集計



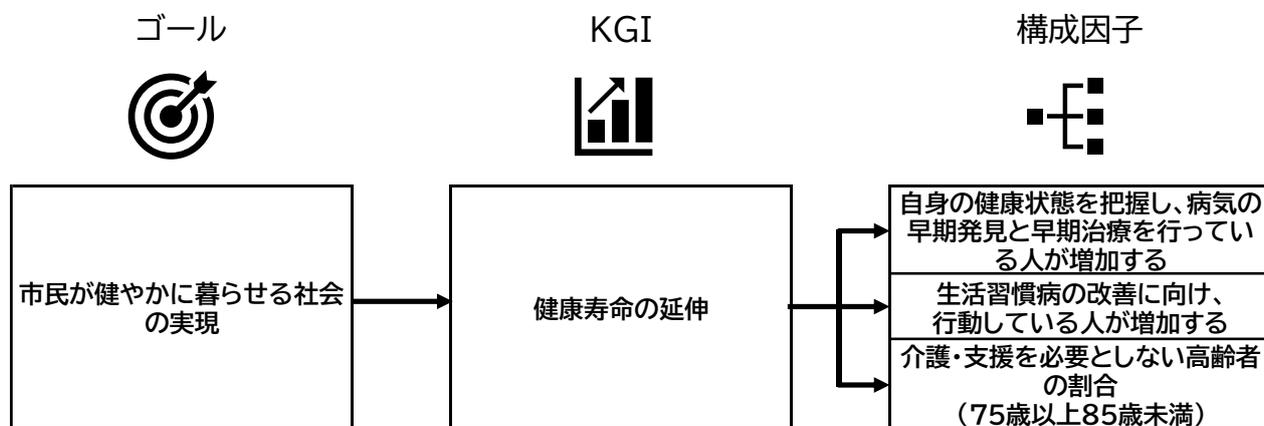
### 分野3 健康・福祉

分野目標：みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します

ゴール：市民が健やかに暮らせる社会の実現

種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末	
KGI	健康寿命の延伸	年	健康寿命 男性 80.04 女性 84.78 平均寿命 男性 81.45 女性 88.10 R2 (2020)	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	国勢調査・人口動態調査・第1号被保険者数及び要介護認定者数を基に健康寿命の算定プログラムにより算定
構成因子	-	自身の健康状態を把握し、病気の早期発見と早期治療を行っている人が増加する。	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
	-	生活習慣病の改善に向け、行動している人が増加する。	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
KPI	介護・支援を必要としない高齢者の割合（75歳以上85歳未満）	%	81.9	82.2	所管課集計

※定性的な評価となる構成因子は、その他客観指標を用いて、進捗状況を分析します。



※上記に加え、当分野（健康・福祉）の事業に関係した構成因子として、以下のものがあります。

### 分野5 地域社会【再掲】

種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末	
構成因子	-	女性・障害者・高齢者・子ども・若者が活躍している	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析

## 分野4 子ども・教育

分野目標：夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子どもたちが育つまちを実現します

ゴール①：子どもを産み・育てやすい環境がある

ゴール②：自ら未来を切り拓いていくことができる子どもが育っている

種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末	
<b>KGI</b>	市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じる人の割合	%	44.9 R3(2021)	64.0	千葉市まちづくりアンケート
<b>構成因子</b>	KPI 保育所待機児童数	人	0	0	所管課集計
	KPI エンゼルヘルパー利用件数	件	4,100	4,500	所管課集計
<b>KGI</b>	一時保護児童一人当たりの平均在所日数	日	68.3	52.0	こどもの福祉と保健に関する状況報告
<b>構成因子</b>	KPI 里親等委託率	%	32.7	52.3	こどもの福祉と保健に関する状況報告
	KPI 里親登録数	件	112	179	こどもの福祉と保健に関する状況報告
<b>KGI</b>	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小学6年生 83.5 中学3年生 64.2	小学6年生 87.0 中学3年生 71.0	全国学力・学習状況調査結果
<b>構成因子</b>	KPI 「授業中にPC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使っている」と答えた児童生徒の割合	%	小学6年生 59.7 中学3年生 65.3	小学6年生 100 中学3年生 100	全国学力・学習状況調査結果
	KPI 1週間の総運動時間が60分以上の割合(体育の授業は含まない)	%	小学5年生男子 91.7% 小学5年生女子 84.9% 中学2年生男子 91.6% 中学2年生女子 79.2%	小学5年生男子 94.6% 小学5年生女子 90.3% 中学2年生男子 93.3% 中学2年生女子 82.5%	全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
	KPI 中学校卒業段階でのCEFR A1(英検3級相当)以上の生徒の割合		50.8	65.0	千葉市英語能力測定テスト
	KPI 学力D層の児童生徒の割合が全国平均より高い教科数	教科	1	0	全国学力・学習状況調査結果(小6:国語・算数、中3:国語・数学のすべての教科)
	KPI 全国学力・学習状況調査における全国平均正答率との比較(市立小・中学校)	ポイント	小学・国語 0 小学・算数+2.0 中学・国語 0 中学・数学-1.0	小学・国語+1.0 小学・算数+1.0 中学・国語+1.0 中学・数学+1.0	全国学力・学習状況調査結果
	KPI 日本語指導を受ける子どもの読み書き・授業中の学習に関する日本語習得状況	%	集計中	集計後設定	特別の教育課程編成実施計画・報告書
	KPI 学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合	%	44.1	38.0	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

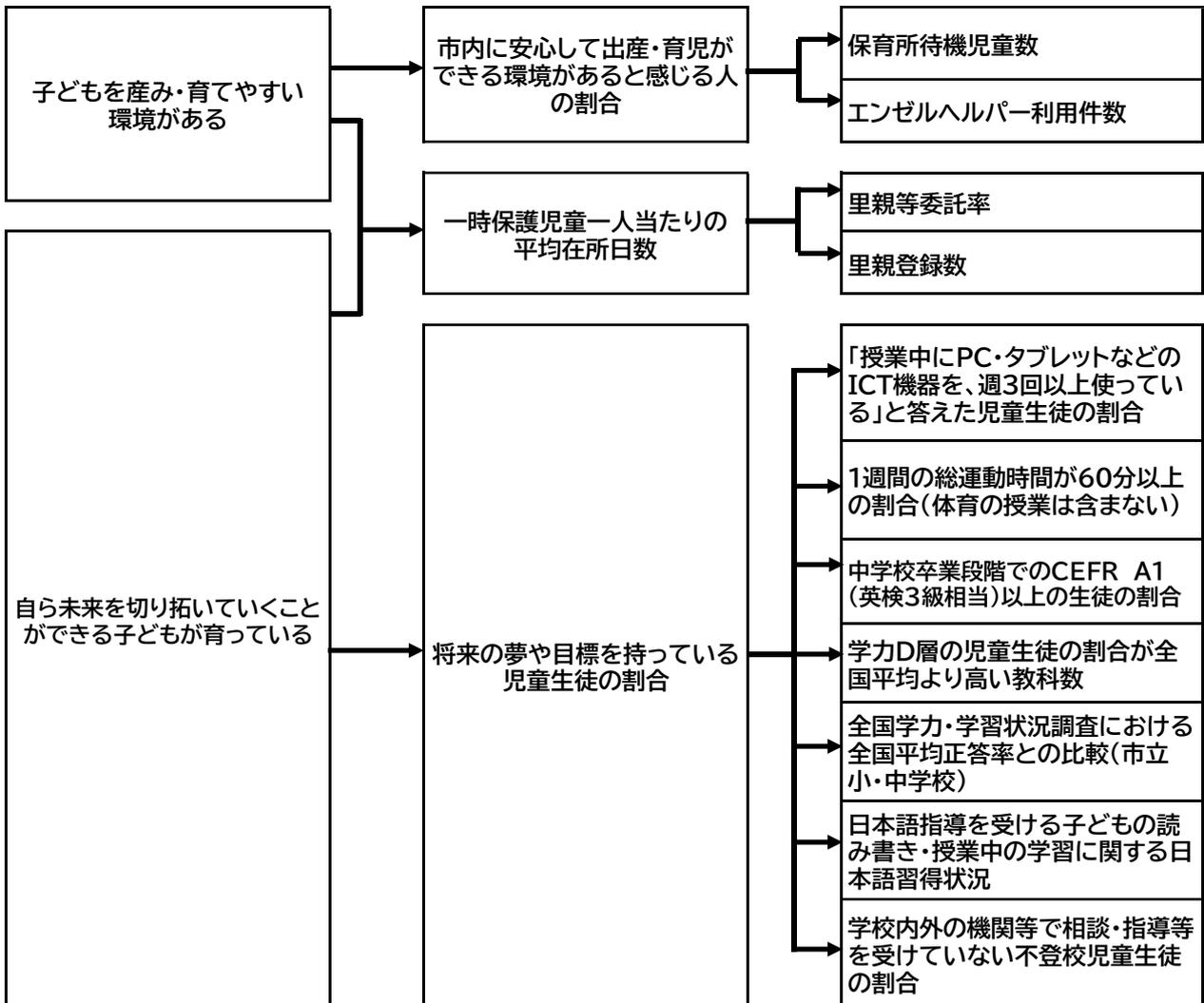
ゴール



KGI



構成因子



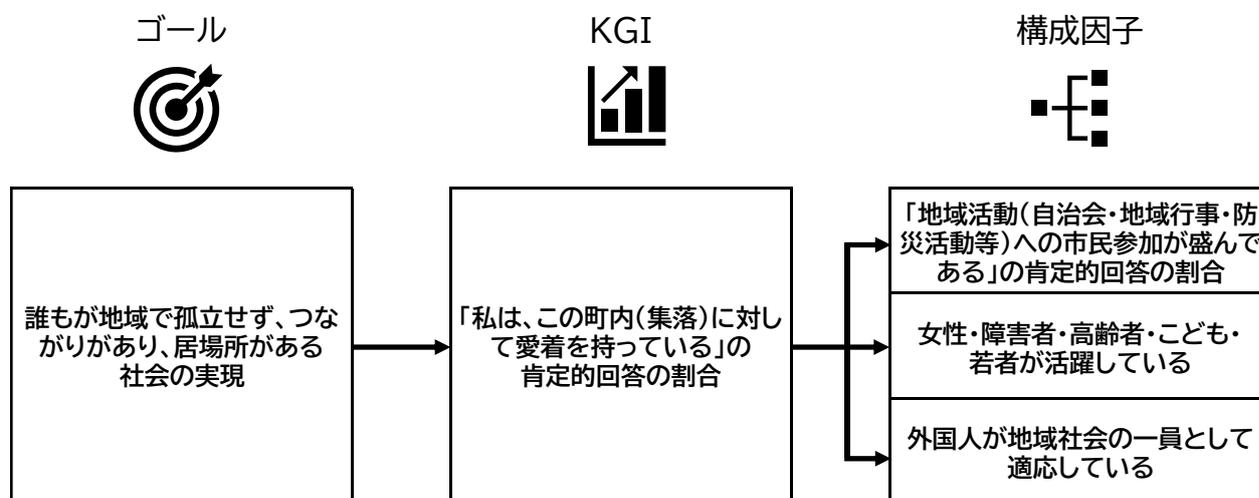
## 分野5 地域社会

分野目標：多様性を力に、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します

ゴール：誰もが地域で孤立せず、つながりがあり、居場所がある社会の実現

種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考	
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末		
KGI	「私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている」の肯定的回答の割合	%	37.8	40.0	地域幸福度 (Well-Being) 指標 (デジタル庁)	
構成因子	KPI	「地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」の肯定的回答の割合	%	21.7	24.8	地域幸福度 (Well-Being) 指標 (デジタル庁)
	-	女性・障害者・高齢者・子ども・若者が活躍している	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
	-	外国人が地域社会の一員として適応している	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析

※定性的な評価となる構成因子は、その他客観指標を用いて、進捗状況を分析します。

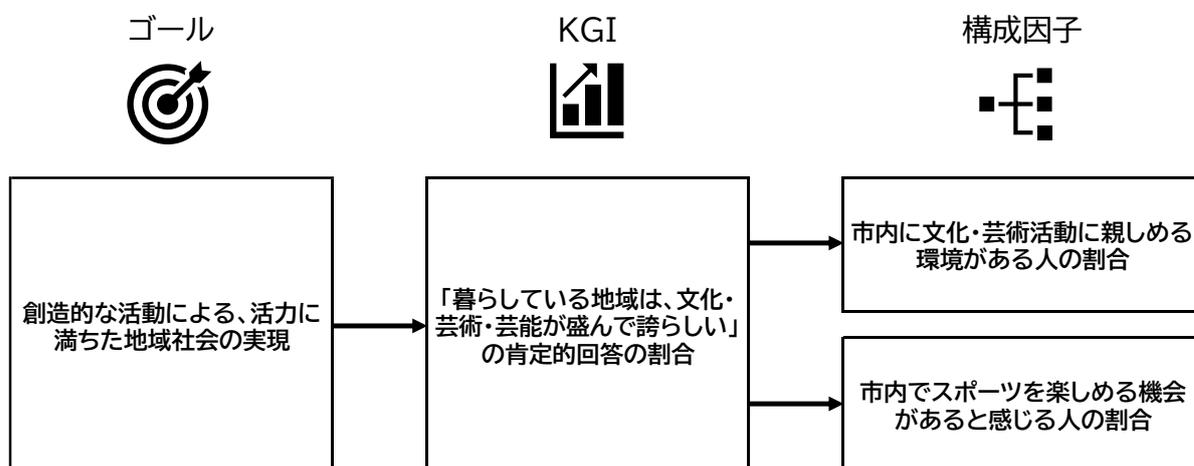


## 分野6 文化芸術・スポーツ

分野目標：市民の文化芸術・スポーツ活動が広がる、創造性豊かなまちを実現します

ゴール：創造的な活動による、活力に満ちた地域社会の実現

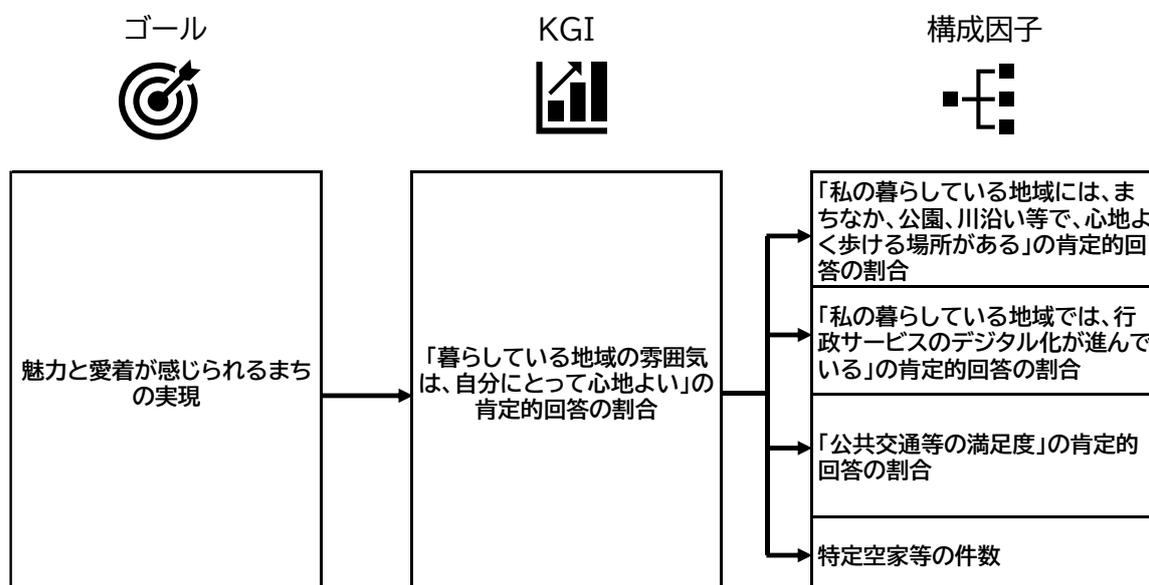
種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末	
<b>KGI</b>	「暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」の肯定的回答の割合	%	14.9	23.1	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
<b>構成因子</b>	KPI	市内に文化・芸術活動に親しめる環境がある人の割合	46.0 R3(2021)	67.6	千葉市まちづくりアンケート
	KPI	市内でスポーツを楽しめる機会があると感じる人の割合	51.8 R3(2021)	70.0	千葉市まちづくりアンケート



## 分野7 都市・交通

分野目標：市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します  
 ゴール：魅力と愛着が感じられるまちの実現

種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考	
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末		
KGI	「暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい」の肯定的回答の割合	%	58.1	61.7	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）	
構成因子	KPI	「私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」の肯定的回答の割合	%	55.7	63.8	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
	KPI	「私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる」の肯定的回答の割合	%	21.9	29.8	地域幸福度（Well-Being）指標（デジタル庁）
	KPI	「公共交通等の満足度」の肯定的回答の割合	%	57.5	59.5	所管課集計
	KPI	特定空家等の件数	件	54	34	所管課集計



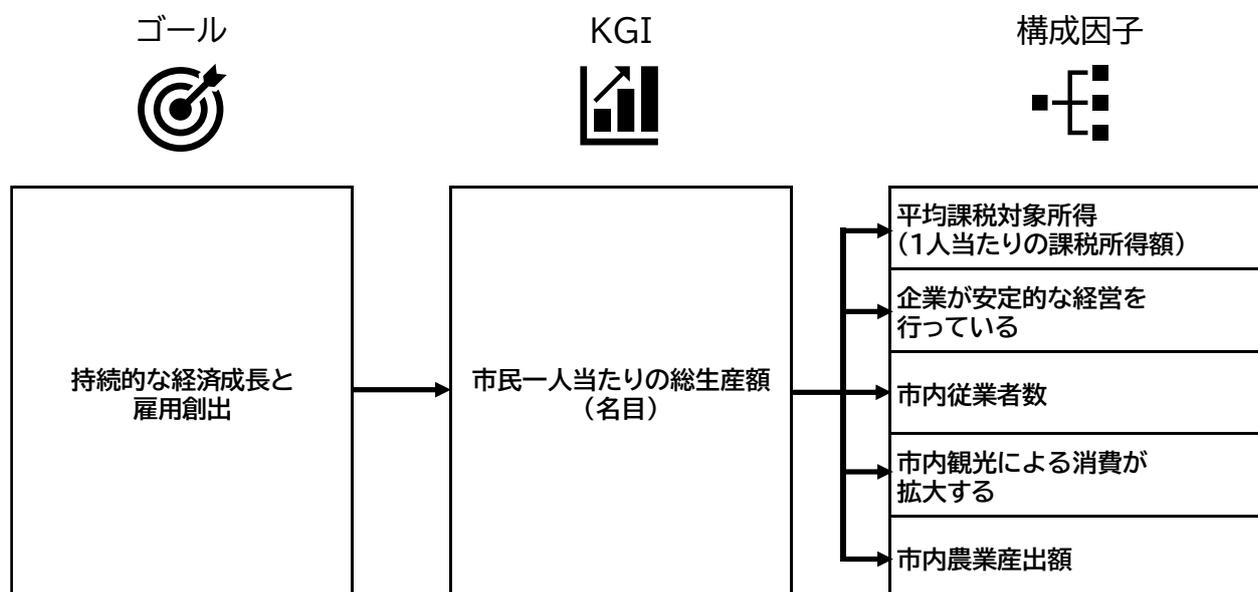
## 分野8 地域経済

分野目標：地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します

ゴール：持続的な経済成長と雇用創出

種別	指標名	単位	指標の値		出典・備考	
			現況値 R6 (2024) 末	目標値 R10 (2028) 末		
KGI	市民一人当たりの総生産額（名目）	千円	4,344 R2(2020)	4,488 R7(2025)	市民経済計算及び各年4月付の推計人口	
構成因子	KPI	平均課税対象所得（1人当たりの課税所得額）	千円	4,289	4,987	市町村課税状況等の調（市町村別内訳）（総務省）
	-	企業が安定的な経営を行っている	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
	KPI	市内従業者数	人	413,696 R2(2020)	419,074 R7(2025)	経済センサス
	-	市内観光による消費が拡大する	-	-	-	定性評価・モニタリング指標にて分析
	KPI	市内農業産出額	億円	90.4 R5(2023)	93.1 R9(2027)	農林水産省市町村別農業産出額（推計）

※定性的な評価となる構成因子は、その他客観指標を用いて、進捗状況を分析します。



### あ行

#### アーティスト・イン・レジデンス（87 ページ）

「作家滞在型制作」とも呼ばれており、作家（美術家、音楽家、建築家など）が一定期間、特定の地域や施設に滞在しながら、その土地の歴史・文化・人々をリサーチ、作品を制作し、成果を展示・発表すること。

#### アウトリーチ（51、81、82 ページ）

支援が必要であるにもかかわらず支援につながっていない人に対して、行政や支援機関等が能動的に働きかけ、情報提供や支援を届ける取組・プロセスのこと。

#### アーバンスポーツ（92、93 ページ）

BMX（フリースタイル）、スケートボード、インラインスケートなどの広い場所を必要とせず、個人が気軽に始められる、都市住民が参加しやすいスポーツのこと。

#### アニマルウェルフェア（26 ページ）

動物の生活環境や扱い方について、ストレスをできる限り少なくし、動物の健康と安全を保ちながら飼育する考え方のこと。

#### アフタースクール（77、78 ページ）

原則として小学校敷地内において、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を一体的に運営するもの。保護者の就労状況等にかかわらず、希望するすべての児童に安全・安心な居場所を提供するとともに、多様な体験・活動の機会を提供する。

#### アルムナイ（121、123 ページ）

組織を離れた「卒業生」や「退職者」のこと。元職員や地域を離れた元住民とのネットワークを築き、外部の視点から地域活性化に協力してもらい取り組みなどで使われる。

#### 泡水溶液消火用資機材（38 ページ）

泡状の消火剤を用いて火災を抑制するための資機材のこと。油火災など水だけでは消火困難な火災に効果を発揮する。

#### アントレプレナーシップ教育（79、124、125 ページ）

起業家精神を育む教育のこと。

#### インクルーシブ（7、25、80、81 ページ）

包摂的な、包み込むという意味。「誰もが孤立したり、排除されたりしないよう援護し、一人ひとりを社会の構成員として包み、支え合う」という理念のこと。

### **インバウンド（127 ページ）**

一般的に訪日外国人旅行のこと。訪日外国人が消費をすることによる経済効果が期待される。

### **インフォグラフィック（22 ページ）**

情報やデータ、知識を視覚的に分かりやすく表現したもののこと。図解やイラスト、チャートなどを用いて直感的な理解を助ける。

### **ウォーカーブル（97、98、100 ページ）**

道路・公園・民有地などを一体的に活用し、ひと中心の豊かな生活を実現するために、都市全体として「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指す取組みのこと。

### **エネルギーシェアリングタウン（17 ページ）**

地域内でエネルギーを融通し合う仕組みを備えたまちのこと。再生可能エネルギーの有効活用と安定供給を図る。

### **エリアエネルギーマネジメントシステム（17 ページ）**

特定の地区全体で、電気や熱などのエネルギー使用状況を IT 技術で一括管理し、最適化する仕組みのこと。

### **エリアプラットフォーム（98 ページ）**

行政をはじめ、まちづくりの担い手でまちづくりや地域課題解決に関心がある企業、町内会、商店街住民、就業者などが集まって、まちの将来像を議論し描き、その実現に向けた取組み（＝まちづくり）について協議調整を行うための場のこと

### **エリアマネジメント（97、100 ページ）**

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組みのこと。

### **エリアリノベーション（25 ページ）**

既存の建物や公園などについて、大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。

### **エンゼルヘルパー（63、67、140 ページ）**

妊娠中や出産後1年未満の、昼間、家事や育児の手伝いをしてくれる人がいない方などを対象に、本市と契約したヘルパーを派遣し、家事や育児を援助し、子育てを支援する制度のこと。

### **温室効果ガス（17、19、137 ページ）**

地球温暖化の原因となる大気中の気体のこと。二酸化炭素やメタンなど様々な種類がある。

## か行

### （看護）小規模多機能型居宅介護事業所（54 ページ）

通い、泊まり、訪問介護に訪問看護を組み合わせ、一つの事業所で一体的に提供する施設のこと。医療的ケアが必要な高齢者が住み慣れた地域で生活を続けることを支える。

### カーボンニュートラル（7、17 ページ）

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量と吸収量が差し引きゼロになること。

### 開府900年（2、88、89、90、102 ページ）

千葉常重が現在の千葉市中央区亥鼻付近に本拠を移し、本市の都市としての歴史が始まった大治元年（1126年）から900年の節目にあたる令和8年（2026年）のこと。

### 学校給食残渣（22 ページ）

学校給食の調理過程で出る野菜のくずや、食べ残しのこと。これらを肥料やバイオマス発電の燃料として活用し、資源の循環を図る。

### 環境アセスメント（50 ページ）

大規模な開発事業などが環境に与える影響を事前に調査・予測・評価し、環境保全のための措置を検討する制度のこと。

### 環境学習拠点（17、18 ページ）

持続可能な社会の担い手となる子どもたちが遊びながら環境学習を体験でき、環境の重要性を発信する場所のこと。

### 感震ブレーカー（40 ページ）

地震時に設定以上の揺れを感知した場合に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具のこと。

### 乾燥野菜くず資源化（22 ページ）

野菜くずを乾燥させて堆肥や飼料などに再利用する取組みのこと。食品ロス削減や循環型社会の推進に寄与する。

### ギガタブ（73、113 ページ）

GIGA スクール構想実現のため、1人に1台貸与しているタブレット端末の千葉市における愛称のこと。

### キャリア教育（71 ページ）

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。

**急傾斜地**（30、31 ページ）

傾斜度が 30 度以上である土地のこと。

**グリーンスローモビリティ**（107 ページ）

時速 20km 未満で公道を走ることができる 4 人乗り以上の電動車のこと。

**グリーンツーリズム**（126 ページ）

若葉区・緑区及びその周辺の自然豊かなグリーンエリア（チバノサト）に存在する自然的・歴史的・文化的観光資源を地域の魅力として活用する滞在型の余暇活動のこと。

**ケアラー**（61 ページ）

高齢、障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話や、その他の援助を行う人のこと。

**下水汚泥固形燃料化**（17、19 ページ）

下水汚泥に含まれる水分を蒸発させたのち、蒸し焼きにすることにより、固形燃料を生成すること。

**圏域**（8、54、97、105、121、123 ページ）

一般的には、単独の行政区画を越えた複数の基礎自治体を包括する地域を指す。本計画では、本市の以東、以南を中心とした本市と経済、雇用などの面で関連の深い周辺自治体を含むエリアの意で用いている。

**健康寿命**（46、139 ページ）

健康上の問題で日常生活が制限されることなく自立して生活できる期間のこと。本市では、日常生活に介護を必要としない（介護保険の要介護 2～5 に該当しない）期間の集団における各人の平均としている。

**耕畜連携**（129、130 ページ）

耕種農家（米や野菜を育てる農家）と畜産農家が連携する取組みのこと。畜産農家が生産する堆肥を耕種農家が利用する、耕種農家が生産した飼料作物を餌として畜産農家が利用する等の取組みがある。

**国際園芸博覧会**（27、103 ページ）

花や緑、庭園などを通じて豊かな社会づくりを目指す、国際的な博覧会のこと。2027 年に横浜市で開催される。

**国家戦略特区**（8、97、101、107、108、115 ページ）

産業の国際競争力の強化や国際的な経済活動の拠点の形成を促進する観点から、規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進するため国が指定する区域のこと。本市は、平成 28 年（2016 年）1 月に指定されている。

### 子ども家庭総合支援拠点（69 ページ）

子どもとその家庭、妊産婦等を対象として、地域の実情把握、調査、継続的支援等を行う拠点のこと。

### こども誰でも通園制度（64、66 ページ）

保護者の就労状況に関わらず、未就園児を定期的に保育所等で預かる仕組みのこと。親の育児負担の軽減や、子どもの集団生活の経験を目的とする。

### 個別避難計画（36 ページ）

災害時に自力での避難が困難な高齢者や障害者などについて、一人ひとりの状況に応じた避難方法や支援者などを定めた計画のこと。

### コミュニティ通訳・翻訳サポーター（83 ページ）

言葉が通じず困っている外国人市民や行政窓口、町内自治会などの当事者間の円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援のために派遣される、千葉市国際交流協会が認定したボランティアのこと。

## さ行

### 再生可能エネルギー（7、17、18 ページ）

太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱、その他の自然界に存する熱、バイオマスなど、エネルギー源として永続的に利用することができるもの。

### サウンディング調査（24、25、26、99 ページ）

市有地の活用などについて、早い段階で民間企業から意見や提案を聴取し、対話を行う市場調査のこと。行政だけでは気づかない効果的な活用のアイデアを得るために行う。

### 支え合い交通（107 ページ）

地域が主体となり、行政や交通事業者等とともに協力して支え合う生活交通で、地域の移動実態やニーズにあった既存公共交通と調和した持続可能な交通サービスのこと。

### サブスクリプションサービス（65、67 ページ）

利用者が定額料金を支払うことで、一定期間サービスや商品を利用できる仕組みのこと。

### 産学官（46、79、120、124、125 ページ）

産業界（民間企業）、学術機関（大学・研究機関）、官公庁（行政）が連携し、地域の課題解決や新技術の開発に取り組む協力体制のこと。

### 実質公債費比率（6 ページ）

地方公共団体が借金返済に充てている額が、標準的な収入に対してどの位の割合を占めているのかを示すもの。

### ジブンゴト（84 ページ）

まちづくりに重要な要素である「地域に関心を持つこと」、「当事者意識を持つこと」、「課題の解決に主体的に取り組むこと」などを凝縮した言葉。市民の地域への関心や当事者意識を喚起する象徴的な言葉として、「千葉市市民自治によるまちづくり条例」において用いており、市民の目に付き、印象に残るようカタカナ表記としている。

### 住宅セーフティネット（116 ページ）

高齢者、障害者、子育て世帯など、住宅の確保に配慮が必要な方に対し、民間賃貸住宅の活用などにより住まいを確保する仕組みのこと。

### 小児慢性特定疾病（68 ページ）

子ども（18歳以降も引き続き治療が必要な場合は20歳未満）が長期にわたり治療を必要とする病気のこと。厚生労働省が定める認定基準に該当していると認められた場合は医療費等の支援が受けられる。

### 将来負担比率（6 ページ）

公社や第三セクターなども加えた連結ベースで、地方公共団体が将来的に負担する可能性のある借金が、1年間の標準的な収入に対してどの位の割合を占めているかを示すもの。

### スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（71 ページ）

将来有望な科学技術系人材の育成のために、文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高等学校を指定する制度のこと。

### スクール・サポート・スタッフ（73 ページ）

学校において教員の業務を補助する職員のこと。事務作業や教材準備などを担い、教員の負担軽減を図る。

### スクールカウンセラー（75、76 ページ）

学校における、児童生徒の悩みや不安を受け止める教育相談体制の充実を図ることを目的に配置された、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する者のこと。

### スクールソーシャルワーカー（76 ページ）

教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、関係機関等とのネットワークを活用するなど、児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけて支援を行う専門家のこと。

### スクラップヤード火災（37、38 ページ）

金属くずや廃プラスチックなどが屋外に積み上げられた保管場所で発生する火災のこと。一度火がつくと消火が難しく、有害な煙が発生する恐れがある。

### スケアードストレート（42 ページ）

スタントマンによる歩行者・自転車と自動車による事故を再現し、交通事故の恐怖を直視できるようにした体験型教育手法のこと。

### ステップルームティーチャー（76 ページ）

様々な理由で教室に入ることができずに、校内教育支援センター（教室以外の別室）に登校する児童生徒に対して、学習支援や相談支援を行う専任の支援員のこと。

### ステップハウス（82 ページ）

DV 被害や貧困、虐待などで居場所を失った女性が、心身の回復を図りながら自立を目指すための中間的な滞在施設のこと。専門員による生活支援や就労支援を受け、安全な環境で生活基盤を整え、地域での再出発に向けた準備を行う。

### スマートシティ（94、112 ページ）

都市の抱える諸課題に対して、デジタル技術等を活用して、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市又は地区のこと。

### スマート農業（112、114、115、129、130、131、132 ページ）

ロボット技術やデジタル技術を活用し、農産物の栽培過程や収穫作業の省力化、品質管理を行う農業のこと。

### 生産緑地（27 ページ）

市街化区域において、生産緑地法に基づき、良好な生活環境の確保等に効果があると認められる農地等を計画的に保全する地区。

### 生成 AI スピーキングソフト（72 ページ）

人工知能（AI）を活用し、自然な対話を通して英会話の練習や発音のチェックができる学習用ソフトウェアのこと。

### 生物多様性（20、27 ページ）

生き物たちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生き物は 40 億年という長い歴史の中で、様々な環境に適応して進化し、3,000 万種ともいわれる多様な生き物が生まれた。これらの生命は一つひとつに個性があり、すべて直接に、間接的に支えあって生きている。

## た行

### 帯状疱疹（52 ページ）

過去に感染した水痘ウイルスが体内に潜伏し、過労やストレスによる免疫力低下で再活性化して起こる疾患のこと。体の片側の神経に沿って帯状の紅斑や水疱、鋭い痛みが生じ、早期の抗ウイルス薬による治療が必要となる。

### 脱炭素化（9、16、17、27 ページ）

地球温暖化の原因となる代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を実質ゼロにしようという取り組みのこと。

### 脱炭素先行地域（17 ページ）

国が選定する、令和 32 年(2050 年)カーボンニュートラルに向けて、令和 12 年（2030 年）に期限を前倒しして、民生部門の電力消費に伴う二酸化炭素排出を実質ゼロにすることなどを目指す地域のこと。

### ダブルケア（61 ページ）

子育てと介護を同時期に行わなければならないこと。

### 地域包括ケアシステム（52、54、61 ページ）

高齢者が要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制のこと。

### 中プロ・デザインラボ（98 ページ）

「中央公園プロムナード（以下、中プロ）」の再編にあたり、ひと中心の再編を検討するため、市民、事業者、大学、行政などが、多様な視点や価値観をもとに、中プロおよびその周辺の課題やテーマについて、意見交換をし、将来像を検討するための「意見交換の場」のこと。

### 地産地消（44、56、81 ページ）

地元で生産されたものを地元で消費すること。

### 地籍調査（33 ページ）

主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のこと。

### 千葉うみさとライン（28 ページ）

東京湾から印旛沼まで、約 30 km にわたる花見川・新川流域一帯の愛称のこと。本市の海辺（うみ）と内陸部（さと）を結ぶ河川やサイクリングコースの周辺に存する地域の魅力をつなぎ、観光や交流の促進及びエリアブランディングを図る。

### 千葉開府 900 年（88、89、102 ページ）

千葉常重が現在の千葉市中央区亥鼻付近に本拠を移し、本市の都市としての歴史が始まった大治元年（1126 年）から 900 年の節目にあたる令和 8 年（2026 年）のこと。

### 千葉氏（89、90、102 ページ）

平安時代の末に千葉のまちの礎を築き、戦国時代まで下総国（現在の千葉県北部一帯）を支配した桓武天皇の血を引く名門武士団。千葉常胤の代には源頼朝を助けて鎌倉幕府の成立に貢献し、全国に所領を得るなど一族は幕府でも屈指の御家人へと成長した。

### デジタルアーカイブ（89、90、104 ページ）

地域の歴史資料や文化財、写真などをデジタル化し、インターネット等を通じて誰もが閲覧・利用できるように保存したデータのこと。

#### **デジタル化（12、44、144 ページ）**

デジタル技術の進化により様々なヒト・モノ・コトの情報がつながることで、利便性の高い新たなサービスやビジネスモデル、プロセスの高度化を実現すること。

#### **デジタル人材（81、82、112、114 ページ）**

デジタル技術を理解し、デジタル技術に関する知識・スキルを活用して、企業や社会に新しい価値を創造する人材のこと。

#### **動物ボランティア（49、60 ページ）**

動物保護指導センターに収容された動物の譲渡活動、正しい飼い方の普及啓発などに協力する市民活動のこと。

#### **特定空家等（144 ページ）**

そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態、その他周辺的生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等のこと。

#### **特別史跡（89、90、102、103、104 ページ）**

国が文化財保護法で指定した史跡のうち、学術上の価値が特に高く、わが国の文化の象徴たるもので、国宝（建造物、美術工芸品、文書などで使われる概念）と同格のもの。

#### **特別緑地保全地区（27 ページ）**

都市緑地法に規定された制度で、都市計画区域内で良好な自然環境を形成している緑地のうち、市町村が都市計画に「地域地区」の一つとしてその区域を定めた緑地のこと。

#### **都市アイデンティティ（102 ページ）**

千葉市固有の「千葉市らしさ」を意味し、本市ならではの魅力や独自性を活かして都市戦略として中長期的に一貫性や統一感をもって市内外にアピールすることで、市民の愛着や誇りの醸成のもとに本市の都市イメージとして定着させていくこと。

#### **トライアルサウンディング（28、105 ページ）**

公共施設の活用を検討する際、民間事業者が一定期間、実際に試験的な事業を行い、その効果や使い勝手を確認する手法のこと。

#### **トリエンナーレ（87、88 ページ）**

3年に1度開催される大規模な芸術祭のこと。地域文化の発信やまちの活性化、観光振興などを目的とする。

## な行

### 認知症損害賠償補償制度（53 ページ）

認知症の方が外出時の事故等により損害賠償責任を負った場合に、その賠償金を補償する制度のこと。

### ネクストコア千葉誉田（121、122 ページ）

緑区にある明治大学誉田農場跡地を、民間活力を導入して整備した産業用地のこと。

### 農福連携（55、131、132 ページ）

障害者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組みのこと。近年では、農業分野に限らず、伝統産業分野など他の分野においても広がりを見せている。

### ノーマライゼーション（110 ページ）

高齢者、障害者等、社会的に不利を受けやすい人々も社会の一員として、お互いに尊重し、支え合いながら、地域の中で共に生活する社会こそが当たり前の社会である、という考え方のこと。

## は行

### バイオマス（19 ページ）

生物資源の量を表す概念で、エネルギーや物質に再生が可能な、動植物から生まれた有機性の資源（化石燃料は除く）のこと。具体的には、農林水産物、稲わら、もみがら、食品廃棄物、家畜排せつ物、木くずなどを指す。

### パラスポーツ（7、55、91 ページ）

一般のスポーツをベースに障害の種類や程度に応じてルール等を工夫しているスポーツ、障害のある人のために考案されたスポーツ、障害の有無に関係なく、ともに楽しめるスポーツなど、広く障害者スポーツを表す言葉のこと。

### ビオトープ（20 ページ）

野生の生き物が生息・生育する空間のこと。学校や公園などに設置し、自然環境の学習や生態系の保全に活用される。

### ビッグデータ（128 ページ）

従来のシステムでは処理が困難なほど、膨大で多様なデータの集まりのこと。分析することで渋滞予測や災害対策、効果的な行政サービスの立案などに役立つ。

### 避難行動要支援者（36 ページ）

災害対策基本法において定義づけられた、高齢者、要介護認定者、重度の障害者、難病患者などのうち、災害が発生し、または災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な方であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者のこと。

#### **病児・病後児保育（65、66 ページ）**

病氣中または回復期の子どもを一時的に預かる保育サービスのこと。保護者の就労支援や子育て支援の一環として実施される。

#### **フェアトレード（44、55、56、81 ページ）**

開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、現地の生産者の生活向上や自立を目指す貿易の仕組みのこと。

#### **フッ化物洗口（46 ページ）**

歯の質を強くし、虫歯を予防するために、フッ化物が入った液体で口をすすぐこと。主に学校などで集団的に実施される。

#### **復興まちづくり（34 ページ）**

大規模な災害が発生した後に、単に元に戻すだけでなく、将来の災害に強く、より魅力的なまちを目指して再建に取り組むこと。

#### **フリースクール（75、76 ページ）**

不登校の子どもに対し、学習活動や体験活動、居場所の提供などを行っている民間の施設のこと。

#### **フルIC化（122 ページ）**

インターチェンジが、特定の方向への出入りが制限されている「ハーフインターチェンジ」から、全方向への出入りが可能な「フルインターチェンジ」に移行すること。

#### **プレーパーク（18 ページ）**

子どもたちの健全な育成を目的とし、「子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ」という理念を基に、地域住民等が主体となって運営する活動のこと。

#### **プレクラス（75、76 ページ）**

外国にルーツを持つ児童生徒が、日本の学校生活にスムーズに適応するため、基礎的な日本語や生活習慣を集中して学ぶ教室のこと。

#### **プロムナード（97、98 ページ）**

歩行者のために整備された散策路のこと。景観形成や回遊性向上に寄与する。

#### **保存樹林（27 ページ）**

地域で親しまれてきた老木や名木、あるいは良好な自然環境を残す樹林などを、区市町村の条例等により、指定し保存するもの。

## ま行

### マイナ救急（39、113 ページ）

マイナンバーカードを活用して救急隊が傷病者の情報を把握し、迅速かつ適切な搬送につなげる救急活動のこと。本人が口頭で説明できない状況でも、過去にかかったことのある病気（やけど）、服用したことのある薬の情報を正確に確認できるため、救命率の向上が期待される。

### マイナ保険証（39 ページ）

健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカードのこと。これまで健康保険証で行っていた医療機関や薬局での受付（医療保険の資格確認）を、マイナンバーカードで行うことができる。

### 学びの多様化学校（75 ページ）

不登校児童生徒などに対し、その実態に配慮した特別の教育課程を編成する学校のこと。令和5年（2023年）に不登校特例校から名称が変更された。

### マンホールトイレ（33、34、119 ページ）

災害時に断水等で水洗トイレが使用できなくなった場合に、プール水等を活用して排泄物を下水道本管に直接流す仕組みの仮設トイレのこと。

### メタバース（59 ページ）

インターネット上に作られた、自分自身の分身（アバター）を使って自由に動き回り、他者と交流できる仮想空間のこと。

## や行

### 谷津田（18、19、20、27 ページ）

谷底部の田んぼのこと。豊かな自然環境や多様な生きものが生息する場所として谷津田を囲む斜面林などとともにも保全が進められている。

### ヤングケアラー（61 ページ）

大人が担うような責任を引き受け、病気や障害などケアが必要な家族の世話や家事などをする18歳未満の子どものこと。

## ら行

### ライトポート（75、76 ページ）

不登校の子供に対して、小集団の活動や学習支援、個別のカウンセリング等を通して、社会性や協調性を育み、集団生活への適応や将来の社会的自立に資するための教室のこと。

### ライフサポートファイル（58、70 ページ）

障害のある人の生活や支援に関する情報を記録し、関係機関で共有することで、切れ目のない一貫した支援を受けられるようにするためのファイルのこと。

### リチウムイオン電池（37、38 ページ）

充電して繰り返し使える小型で高性能な電池のこと。スマートフォンやモバイルバッテリーなどに広く使われているが、破損や高温により発火の危険性がある。

### リノベーションまちづくり（97、99 ページ）

民間主導により、地域課題の解決や地域経営の改善を図るため、既存資源を活用し自立した事業を創出する人材の持続的輩出や域内のネットワークの増幅を目指すもの。

### 流域治水（31 ページ）

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わる関係者が協働して水災害対策を行う考え方のこと。

### レガシー（7、91 ページ）

「遺産」と訳されるが、派生して「世代から次世代へ受け継ぐもの」という意味で用いられる。本計画では東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を通じた取組みの成果による千葉市の財産の意味で用いている。

### レベル4での自動運転（101、108、115 ページ）

米国自動車技術者協会（SAE）が定めた自動運転の区分で、運転の主体や自動運行装置の作動条件、走行可能エリアなどによって、「レベル0」から「レベル5」の6段階に分類されている。レベル4では、特定の走行条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する。

### 路面下空洞調査（32 ページ）

道路の下にある空洞を調査し、陥没などの事故を未然に防ぐための点検作業のこと。地中レーダーなどを用いて実施される。

## 他

### 3R（22 ページ）

リデュース（Reduce）＝ごみの量を減らす、リユース（Reuse）＝ものを繰り返し使う、リサイクル（Recycle）＝資源として再び使う、の3つの行動の総称のこと。

### 6次産業化（129 ページ）

農林漁業者等が必要に応じて農林漁業者等以外の者の協力を得て主体的に行う、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組みのこと。

### **8050問題** (61 ページ)

ひきこもりの長期化により、80代の親が、ひきこもる50代の子どもの生活を支え、経済的にも精神的にも行き詰ってしまう社会問題のこと。

### **CABINET** (73、113 ページ)

千葉市立小・中・特別支援学校と教育委員会を結ぶ学習システムと教職員向けの校務システムのネットワークの総称のこと。

### **DX** (37、39、54、112、113 ページ)

デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術やデータを活用して、市民サービスの向上や業務の効率化、組織や働き方の変革を進めること。

### **EV** (18 ページ)

Electric Vehicle (電気自動車) の略。モーターのみを動力とし、ガソリンエンジンなどを併用しない自動車のこと。

### **GIGAスクール構想** (71、73、113 ページ)

千葉市立小・中・中等教育学校・特別支援学校と教育委員会を結ぶ学習システムと教職員向けの校務システムのネットワークの総称のこと。

### **GTFS** (107 ページ)

General Transit Feed Specification の略。公共交通機関の時刻表や路線情報などを標準的な形式で整備したデータのこと。経路検索サービスなどで活用される。

### **ICT** (38、39、71、74、112、113、140 ページ)

Information and Communication Technology (情報通信技術) の略。

### **ILT** (71 ページ)

「International Language Teacher」の略で、単独で外国語等の授業を実施しリアルタイムで生徒の指導ができ、国際交流の準備等も担うことができる外国人講師のこと。

### **M&A** (123 ページ)

Mergers and Acquisitions の略。企業の合併や買収のこと。後継者不在の中小企業などが事業を継続するための手法としても活用される。

### **MICE** (9、120、126、128 ページ)

企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字をとった言葉で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称のこと。

### **OTAサイト**（127 ページ）

Online Travel Agent の略。インターネット上で宿泊施設や交通機関の予約ができる旅行予約サイトのこと。

### **SDGs**（7、44 ページ）

Sustainable Development Goals の略。平成 27 年（2015 年）9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された令和 12 年（2030 年）までに持続可能でよりよい世界を目指す持続可能な開発目標のこと。貧困の根絶、ジェンダー平等、気候変動対策などの 17 のゴールと 169 のターゲットを定めている。

### **SNS**（44、59、82 ページ）

Social Networking Service の略。登録された利用者同士が交流できる WEB サイトの会員制サービスのこと。

### **RS ウイルス**（47、64 ページ）

RS ウイルスは、呼吸器に感染し炎症を引き起こすウイルスのこと。何度も感染を繰り返すのが特徴で、乳幼児が初めて感染すると細気管支炎や肺炎などの重症に至ることがある。飛沫や接触によって感染が拡大されるため、徹底した手洗いや消毒が予防策として重要。

### **Well-being**（136、137、138、142、143、144 ページ）

心身ともに満たされ、社会的にも幸福で、自分らしく生きられている状態のこと。単なる「健康」だけでなく、生きがいや満足度を含めた広い意味での幸せを指す。

### **地域幸福度（Well-being）指標**（137、138、142、143、144 ページ）

人々の幸福度や生活の質を数値で把握するための指標のこと。政策効果の測定や施策立案に活用される。

千葉市 総合政策局 総合政策部 政策企画課  
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号  
電 話 043-245-5046  
F A X 043-245-5534  
E-mail kikaku.POC@city.chiba.lg.jp